

第 20 回市民意識調査報告書

平成 26 年 3 月

盛 岡 市

目 次

I 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

II 調査結果と考察

テーマ1	盛岡市の広報活動について	
問1	市政の情報を得るために利用している媒体	3
問2	より充実させるべき市の情報	5
問3	情報発信に有効な媒体	8
テーマ2	市民協働について	
問4	市民協働の活動への関わりと関心	11
問5	これまでに関わったことがある活動分野	14
問6	今後関わりたい活動分野	18
テーマ3	男女共同参画施策について	
問7	男女の平等に関する意識	21
問8	平等になっていない分野	24
問9	平等になっていない原因	27
問10	女性が働きやすい環境をつくるために必要なこと	31
問11	家庭生活における夫婦の役割分担	34
問12	男女が対等・平等な社会を築くために必要なこと	37
問13	家庭での介護に関する考え方	40
問14	男女間における暴力の防止に必要なこと	43
テーマ4	盛岡の教育について	
問15	盛岡市の「人材育成教育」で大切にすべきこと	46
問16	盛岡の子どものよい点	50
問17	盛岡の子どもの身に付けさせたい点	53
問18	子どもに伝えたい「盛岡のよさや誇り」	57
問19	地域の教育力を高めるために今後必要なこと	60
テーマ5	生涯学習について	
問20	学習意欲の有無	64
問21	学習したい分野	67
問22	生涯学習を広めるための取組	70
テーマ6	お墓について	
問23	将来自分が入る予定のお墓の有無	73
問24	無縁墓になる可能性	75
問25	無縁墓にならないための対策	77
問26	共同墓や納骨堂に関する考え方	80
問27	共同墓や納骨堂の利用形態	83

I 調査の概要

1 調査の目的

市民意識調査は、市政に対する市民の考えや意見を把握し、市の施策検討の際の基礎資料として活用することにより、「市民とともにつくる行政の実現」を図るため実施しているものです。

2 調査テーマ

- | | |
|------------------------------------|----|
| (1) 盛岡市の広報活動について（担当：市長公室広聴広報課） | 3問 |
| (2) 市民協働について（担当：市民部市民協働推進課） | 3問 |
| (3) 男女共同参画施策について（担当：市民部男女共同参画青少年課） | 8問 |
| (4) 盛岡の教育について（担当：教育委員会事務局総務課） | 5問 |
| (5) 生涯学習について（担当：教育委員会事務局生涯学習課） | 3問 |
| (6) お墓について（担当：保健所企画総務課） | 5問 |

3 調査の設計

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| (1) 実施方法 | アンケート方式による調査 |
| (2) 調査地域 | 盛岡市全域 |
| (3) 調査対象者 | 満20歳以上の市民の2% |
| (4) 標本数 | 4,837人 |
| (5) 抽出方法 | 住民票ファイル（平成25年6月28日）から等間隔無作為抽出 |
| (6) 調査方法 | 郵送による配布・回収 |
| (7) 調査期間 | 平成25年7月22日～7月30日 |

4 調査の回収結果

- | | |
|-----------|--------|
| (1) 対象者数 | 4,837人 |
| (2) 有効回収数 | 2,099人 |
| (3) 有効回収率 | 43.4% |

5 調査回答者の内訳

区分		実数 (人)	比率 (%)
全	体	2,099	100.0
【地区別】			
河	北	649	30.9
河	南	284	13.5
盛	南	274	13.1
厨	川	462	22.0
都	南	339	16.2
玉	山	91	4.3
【性別】			
男	性	877	41.8
女	性	1181	56.3
無	回 答	41	2.0
【年代別】			
20 歳 ～ 29 歳		153	7.3
30 歳 ～ 39 歳		288	13.7
40 歳 ～ 49 歳		297	14.1
50 歳 ～ 59 歳		376	17.9
60 歳 ～ 69 歳		442	21.1
70 歳 以 上		520	24.8
無 回 答		23	1.1

【地区別】の区分について

現行のコミュニティ区分を基本単位とし、市域を次の6地区に区分しています。

1	河北	桜城, 仁王, 上田, 緑が丘, 松園, 山岸, 上米内
2	河南	城南, 加賀野, 中野, 杜陵, 大慈寺, 築川
3	盛南	仙北, 本宮, 太田, 繫
4	厨川	西厨川, 土淵, 東厨川, 青山, みたけ, 北厨川
5	都南	見前, 飯岡, 乙部
6	玉山	好摩, 巻堀姫神, 洪民, 玉山藪川

6 留意事項について

- (1) 比率はすべて百分比で表示し、小数点第2位を四捨五入して算出しました。したがって、百分比の合計が100.0%とならない場合があります。
- (2) 複数回答を求める設問では、その回答枝の数値は延べ回答数に対する百分比ではなく回答者数を100とした場合の百分比です。したがって、百分比の合計は100.0%を超えることがあります。
- (3) 「N」は、その設問の回答者の実数で、比率算出の基礎になります。

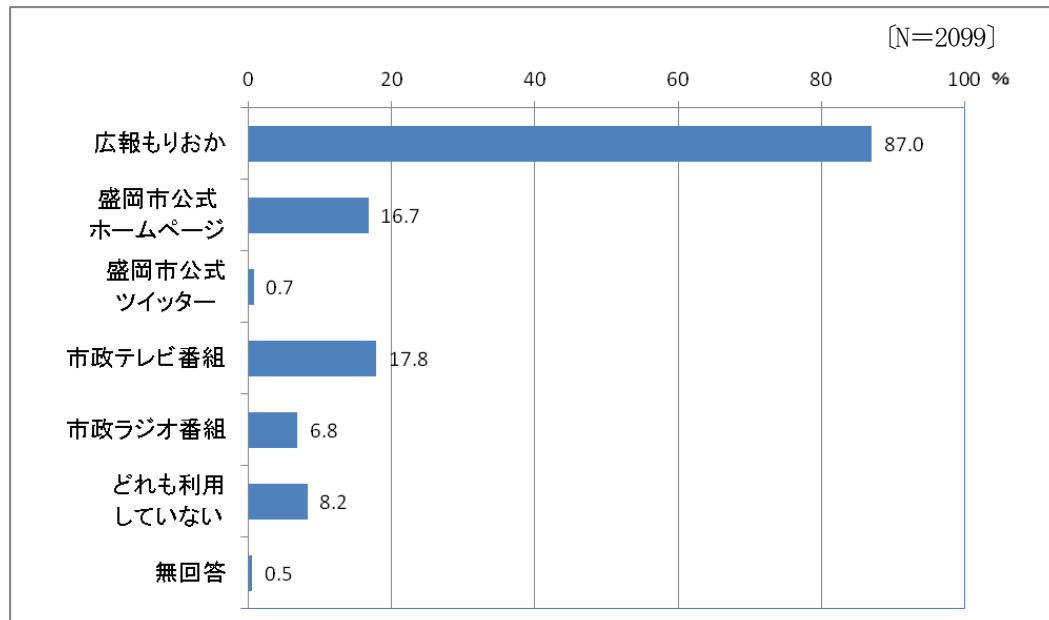
Ⅱ 調査結果と考察

テーマ1 盛岡市の広報活動について

問1 あなたが市政についての情報を得るために、現在よく利用している媒体はどれですか。当てはまるものすべてに○を付けてください。

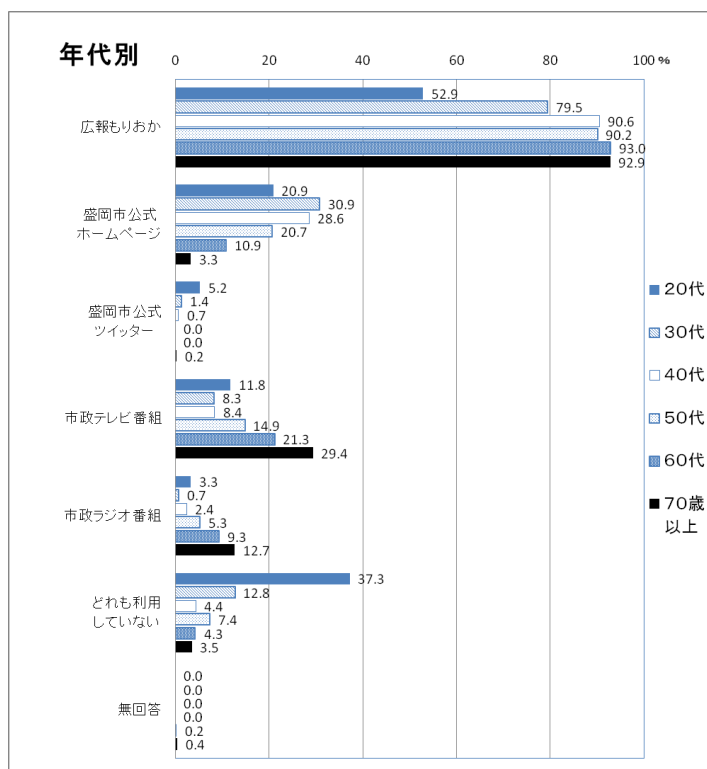
- 1 広報もりおか
- 2 盛岡市公式ホームページ
- 3 盛岡市公式ツイッター
- 4 市政テレビ番組
- 5 市政ラジオ番組
- 6 どれも利用していない

【集計結果】



全戸配布している「広報もりおか」から市政情報を得ている割合は87.0%と非常に高くなっている。一方、「盛岡市公式ホームページ」、「盛岡市公式ツイッター」など他の媒体の利用率はいずれも低くなっており、新たな媒体の活用を含め、より効果的に情報発信していく必要がある。

また、年代別に見ると、20代では「広報もりおか」が他の世代よりも大幅に低くなっているほか、「どれも利用していない」が高く、若い世代への情報発信に課題があることがわかる。



【年代別】

20代では「広報もりおか」が52.9%と他の年代より低いほか、「どれも利用していない」が37.3%と高くなっている。

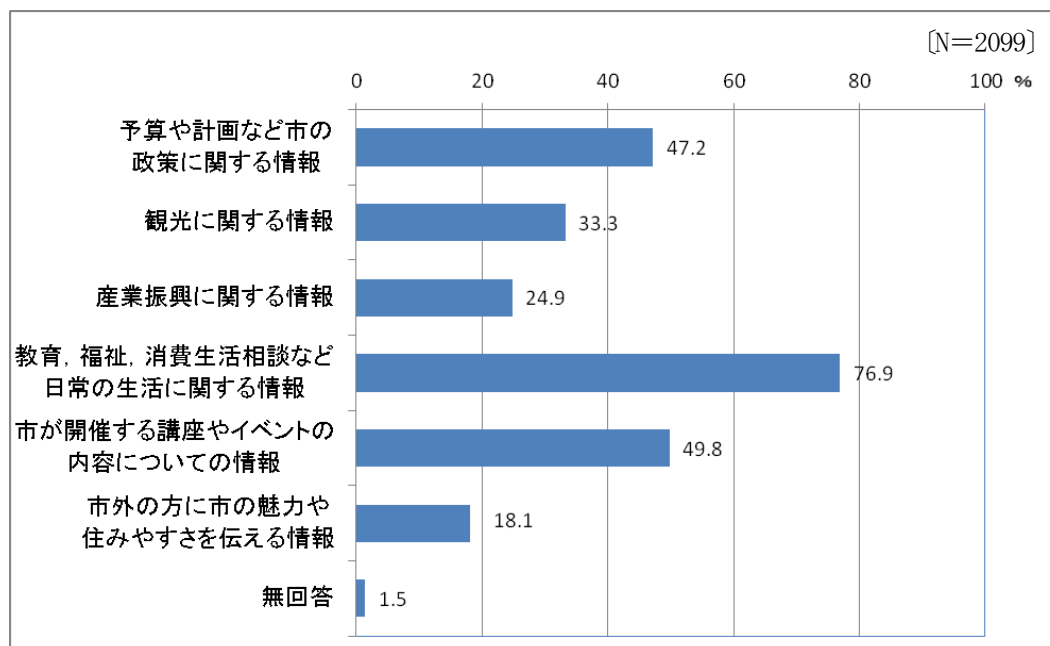
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人)	広報 もり おか	盛岡市 公式 ホーム ページ	盛岡市 公式 ツイ ッター	市政 テレ ビ 番組	市政 ラジ オ 番組	ど れ も 利 用 し て い な い	無 回 答
全 体		2099	1826	350	15	374	143	172	11
地 区	河北	649	567	114	2	124	42	53	2
	河南	284	243	57	7	55	21	26	0
	盛南	274	234	47	3	41	23	26	0
	厨川	462	405	72	1	84	28	32	4
	都南	339	301	54	1	55	24	24	3
	玉山	91	76	6	1	15	5	11	2
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
性 別	男	877	732	168	8	121	51	102	1
	女	1181	1065	179	7	248	88	68	1
	無回答	41	29	3	0	5	4	2	9
年 齢	20～29 歳	153	81	32	8	18	5	57	0
	30～39 歳	288	229	89	4	24	2	37	0
	40～49 歳	297	269	85	2	25	7	13	0
	50～59 歳	376	339	78	0	56	20	28	0
	60～69 歳	442	411	48	0	94	41	19	1
	70 歳以上	520	483	17	1	153	66	18	2
	無回答	23	14	1	0	4	2	0	8

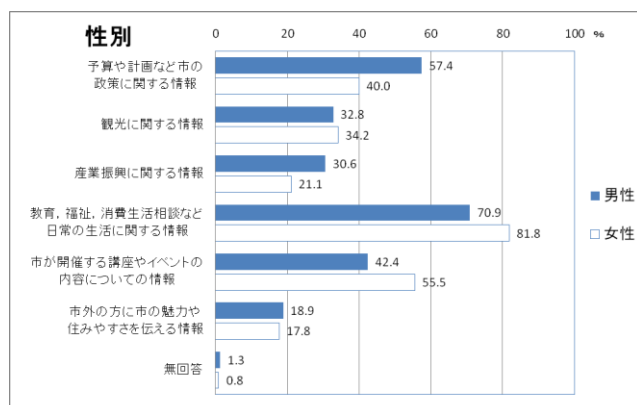
問2 あなたは、市が発信する情報のうち、どのような情報をより充実させたほうがよいと考えますか。最も当てはまるものから**3つまで○を付けてください**。

- 1 予算や計画など市の政策に関する情報
- 2 観光に関する情報
- 3 産業振興に関する情報
- 4 教育、福祉、消費生活相談など日常の生活に関する情報
- 5 市が開催する講座やイベントの内容についての情報
- 6 市外の方に市の魅力や住みやすさを伝える情報

【集計結果】



「教育、福祉、消費生活相談など日常の生活に関する情報」が各年代とも高く、全体で76.9%となっている。また、「市が開催する講座やイベントの内容についての情報」や「予算や計画など市の政策に関する情報」も比較的高くなっている。

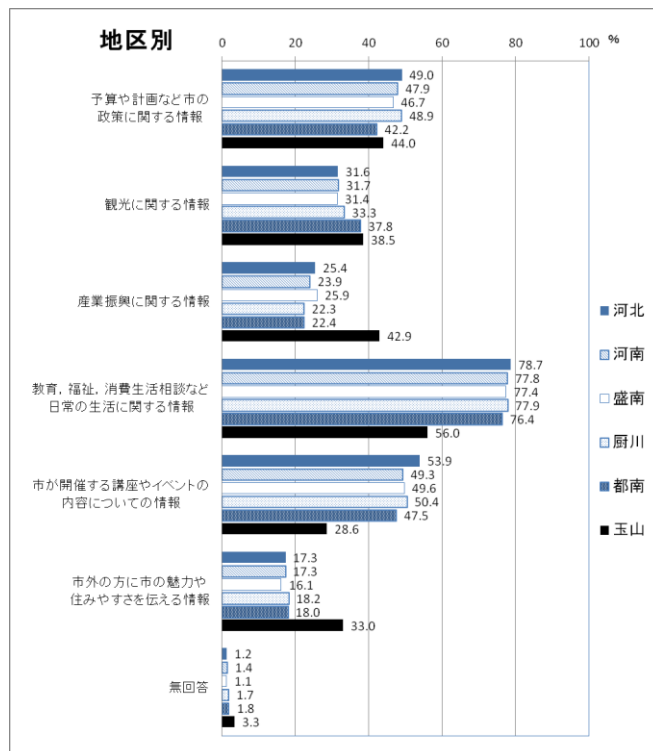
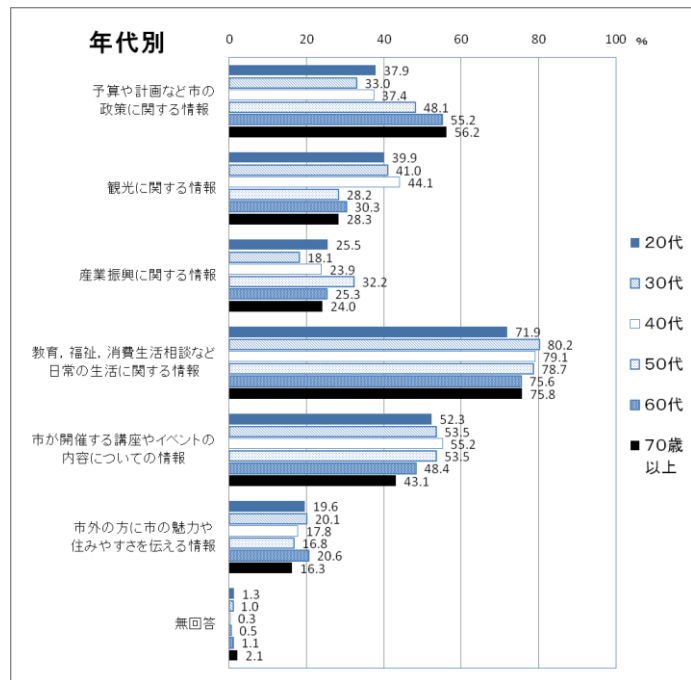


【性別】

男性は女性に比べ、「予算や計画など市の政策に関する情報」が高く、女性は男性に比べ、「教育、福祉、消費生活相談など日常の生活に関する情報」や「市が開催する講座やイベントの内容についての情報」が高くなっている。

【年代別】

若い世代では「観光に関する情報」が、高齢世代では「予算や計画など市の政策に関する情報」が比較的高い傾向が見られる。



【地区別】

玉山区において、「産業振興に関する情報」及び「市外の方に市の魅力や住みやすさを伝える情報」が高く、「市が開催する講座やイベントの内容についての情報」が低い以外、地区間の大きな差異は見られない。

【地区別、性別、年齢別の回答数】

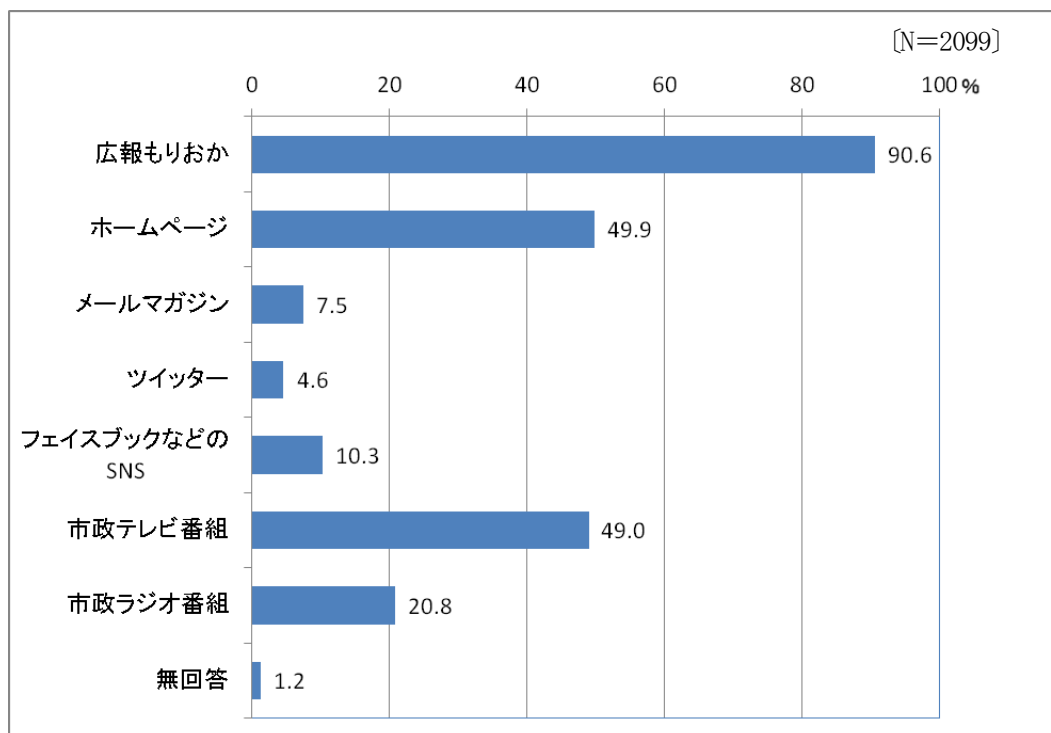
		実数 (人)	予算や計画など市の政策に関する情報	観光に関する情報	産業振興に関する情報	教育、福祉、消費生活相談など日常生活に関する情報	市が開催する講座やイベントの内容についての情報	市外の方に市の魅力や住みやすさを伝える情報	無回答
全 体		2099	991	698	522	1614	1046	380	32
地 区	河北	649	318	205	165	511	350	112	8
	河南	284	136	90	68	221	140	49	4
	盛南	274	128	86	71	212	136	44	3
	厨川	462	226	154	103	360	233	84	8
	都南	339	143	128	76	259	161	61	6
	玉山	91	40	35	39	51	26	30	3
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
性 別	男	877	503	288	268	622	372	166	11
	女	1181	472	404	249	966	656	210	10
	無回答	41	16	6	5	26	18	4	11
年 齢	20～29 歳	153	58	61	39	110	80	30	2
	30～39 歳	288	95	118	52	231	154	58	3
	40～49 歳	297	111	131	71	235	164	53	1
	50～59 歳	376	181	106	121	296	201	63	2
	60～69 歳	442	244	134	112	334	214	91	5
	70 歳以上	520	292	147	125	394	224	85	11
	無回答	23	10	1	2	14	9	0	8

問3 あなたは、市が情報を発信する際に使う媒体としてどれが有効だと思いますか。最も当てはまるものから**3つまで**○を付けてください。

- 1 広報もりおか
- 2 ホームページ
- 3 メールマガジン
- 4 ツイッター
- 5 フェイスブックなどのSNS
- 6 市政テレビ番組
- 7 市政ラジオ番組

注：SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）とは、「友人や知人・共通の趣味を持つ人達との交流を目的としたコミュニティ型の会員制ウェブサービス」のことです。

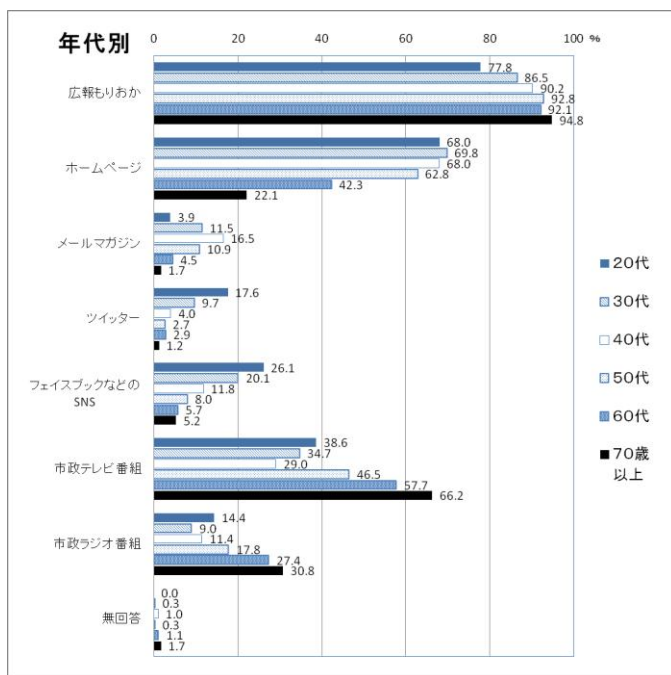
【集計結果】



有効な媒体として、90%を超える人が「広報もりおか」を挙げており、「ホームページ」「市政テレビ番組」もほぼ50%の人が有効としている。

設問1の実際に市政情報を得ている媒体との比較では、「広報もりおか」は、いずれの設問でも同様の割合となっているが、「ホームページ」や「市政テレビ番組」は設問1の約3倍の人が有効とするなど、現状との乖離が見られる。

「広報もりおか」を軸としながら、新たな媒体の活用を含め、各媒体の特性に応じた有効な情報発信が必要である。

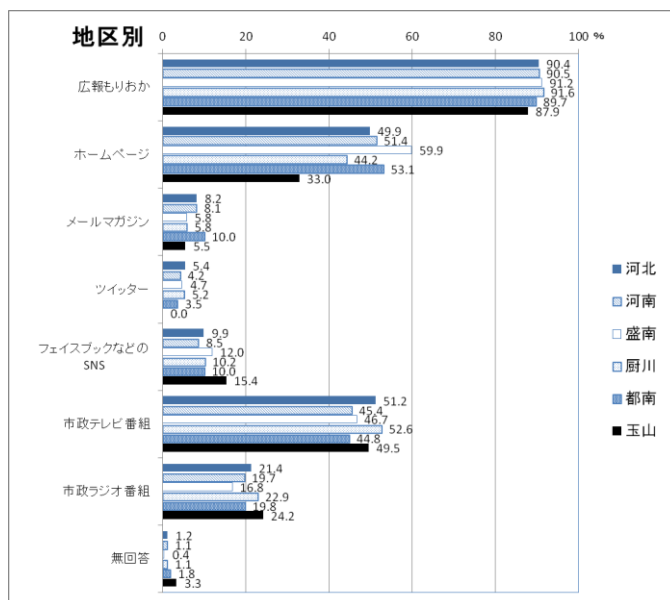


【年代別】

「広報もりおか」を有効としている割合が各年代とも非常に高く、若い世代では「フェイスブックなどのSNS」や「ツイッター」を、高齢世代では「市政テレビ番組」「市政ラジオ番組」を有効としている割合が比較的高い。

【地区別】

玉山区において「ホームページ」が低い以外、地区間の大きな差異は見られない。



【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人数)	広報 もりおか	ホーム ページ	メール マガジン	ツイ ッター	フェイス ブックなどのSNS	市政 テレビ番組	市政 ラジオ番組	無 回 答
全 体		2099	1901	1048	158	96	216	1029	436	26
地区	河北	649	587	324	53	35	64	332	139	8
	河南	284	257	146	23	12	24	129	56	3
	盛南	274	250	164	16	13	33	128	46	1
	厨川	462	423	204	27	24	47	243	106	5
	都南	339	304	180	34	12	34	152	67	6
	玉山	91	80	30	5	0	14	45	22	3
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性別	男	877	771	467	74	42	103	417	170	9
	女	1181	1098	575	82	54	113	593	251	9
	無回答	41	32	6	2	0	0	19	15	8
年齢	20～29 歳	153	119	104	6	27	40	59	22	0
	30～39 歳	288	249	201	33	28	58	100	26	1
	40～49 歳	297	268	202	49	12	35	86	34	3
	50～59 歳	376	349	236	41	10	30	175	67	1
	60～69 歳	442	407	187	20	13	25	255	121	5
	70 歳以上	520	493	115	9	6	27	344	160	9
	無回答	23	16	3	0	0	1	10	6	7

テーマ2 市民協働について

問4 あなたはこれまでに、市民協働の対象となり得る、次のような活動に関わったことがありますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

【活動の例】市民団体が行う花や樹木等の植樹、国際交流の活動

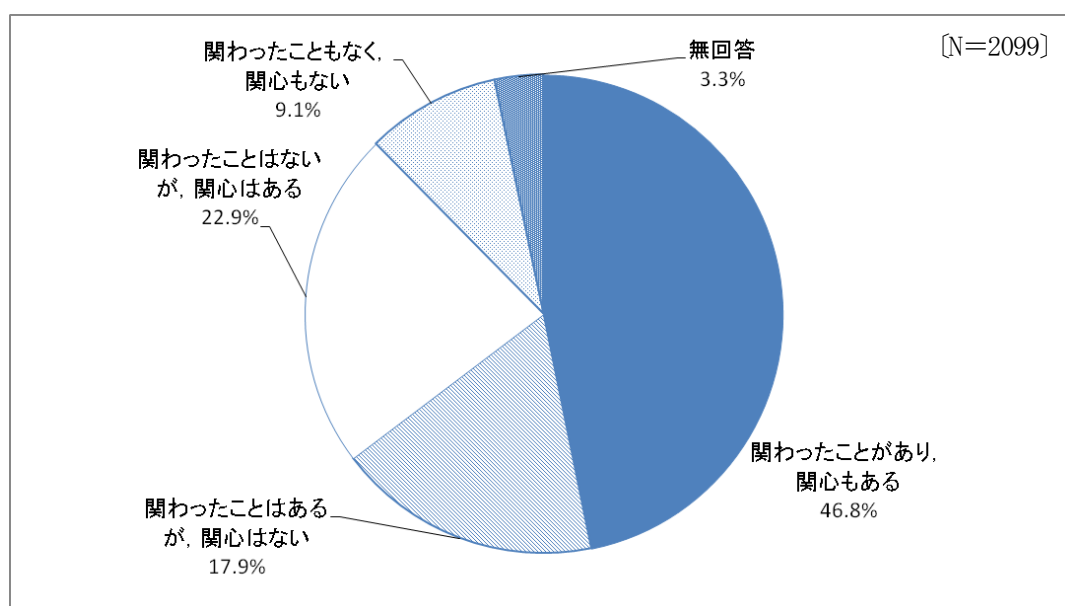
町内会・自治会などを行う清掃活動や盆踊り等の親睦活動

子ども会が行う資源回収やあいさつ運動、地域での通学路の見守り

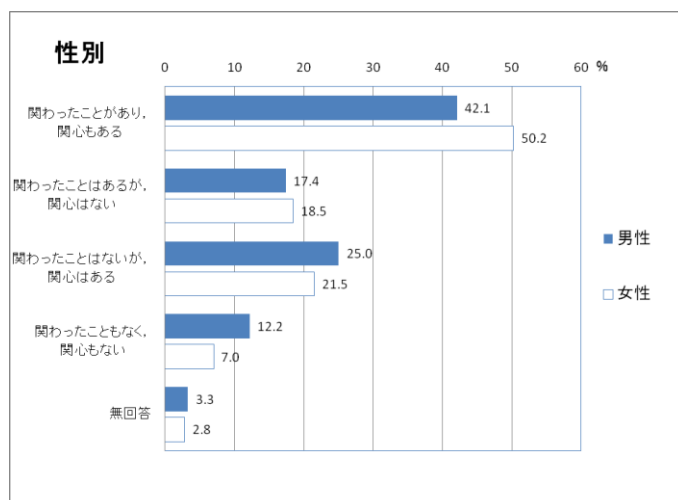
地域での防災訓練、世代間交流、復興支援活動 など

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 関わったことがあり、関心もある | } 1か2を選んだ方は、問5へ進んでください |
| 2 関わったことはあるが、関心はない | |
| 3 関わったことはないが、関心はある | } 3か4を選んだ方は、問6へ進んでください |
| 4 関わったこともなく、関心もない | |

【集計結果】



「関わったことがあり、関心もある」が46.8%であり、「関わったことはないが、関心がある」の22.9%を加えると、69.7%が市民協働の対象となり得る活動に「関心がある」と回答している。



【性別】

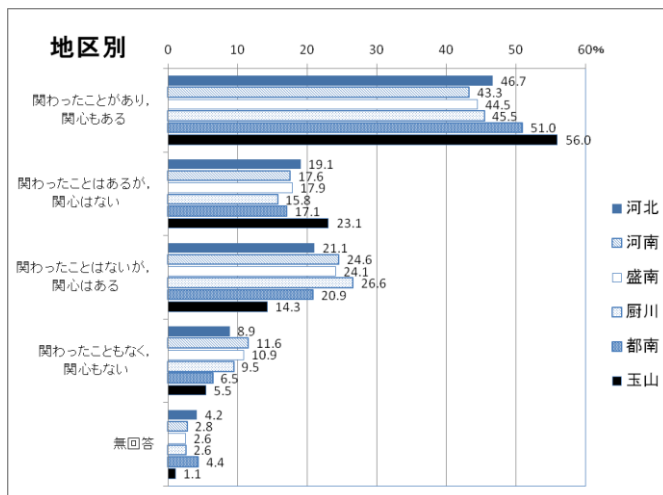
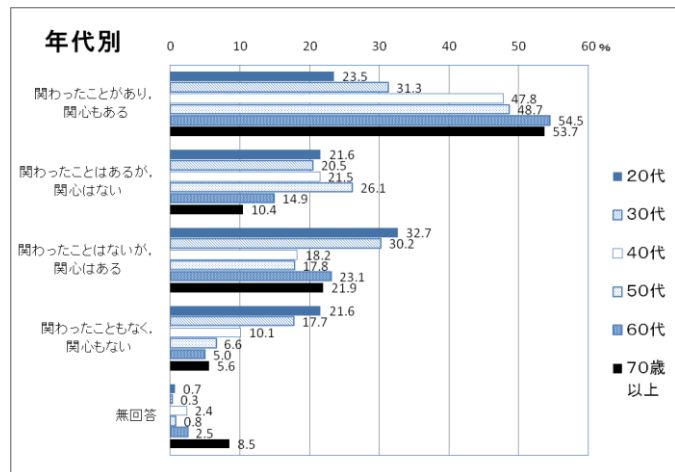
「関心がある」(※1参照)は、男性が67.1%、女性が71.7%であり、女性の方が4.6ポイント高くなっている。

同様に「関わったことがある」(※2参照)は、男性が59.5%、女性が68.7%であり、女性の方が9.2ポイント高くなっている。

このことから女性の方が何らかの活動に比較的参加する傾向にあると考えられる。

【年代別】

「関わったことがある」（※2参照）は、50代が74.8%で最も高い。一方、20代では45.1%にとどまっており、年代により大きな差が生じている。



【地区別】

玉山区においては、「関わったことがある」（※2参照）が79.1%と、他の地区と比較して高くなっているが、「関心がある」（※1参照）については各地区ともほぼ同程度の割合となっている。

- ※1 「関心がある」とは「関わったことがあり、関心もある」と「関わったことはないが、関心はある」の合計。
- ※2 「関わったことがある」とは「関わったことがあり、関心もある」と「関わったことはあるが、関心はない」の合計。

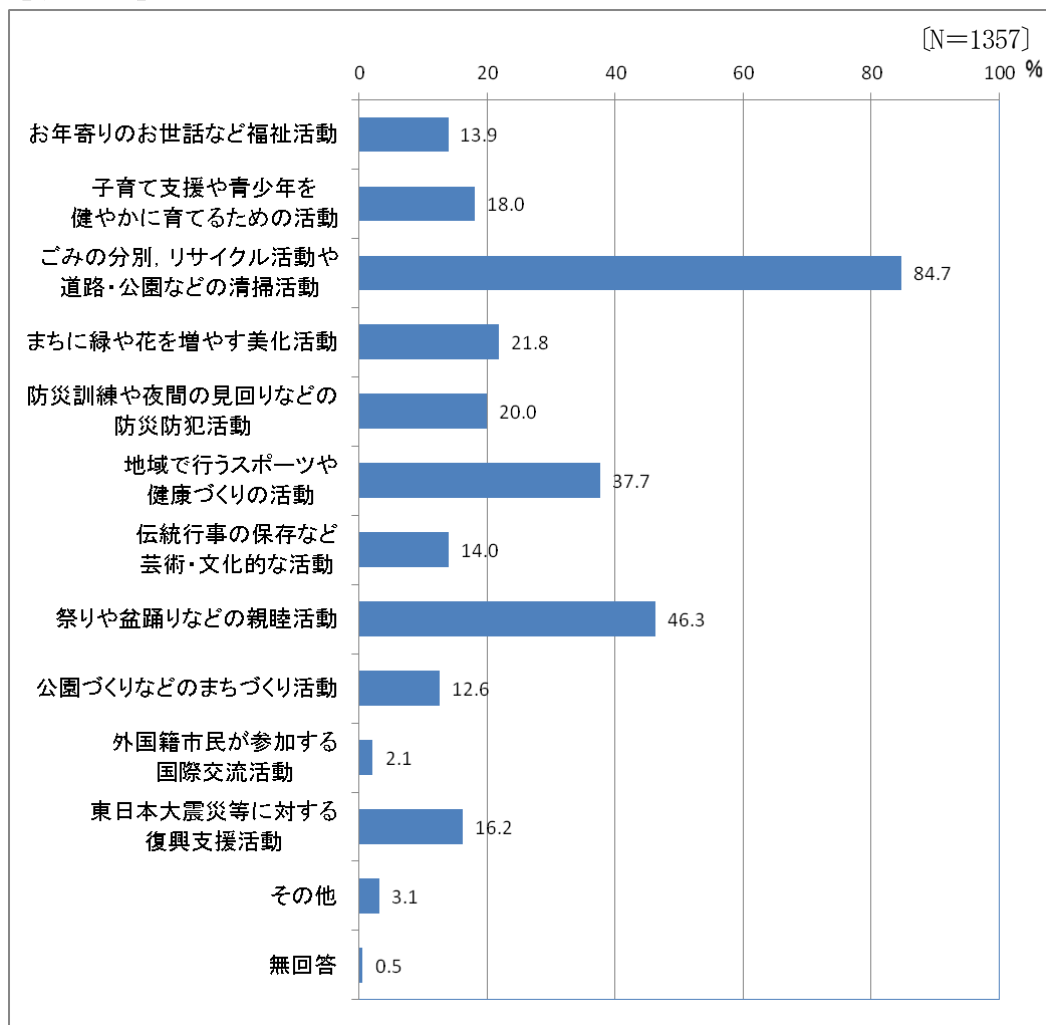
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人)	関わったことがあり、 関心もある	関わったことはあるが、 関心はない	関わったことはないが、 関心はある	関わったこともなく、 関心もない	無回答
全 体		2099	982	375	480	192	70
地 区	河北	649	303	124	137	58	27
	河南	284	123	50	70	33	8
	盛南	274	122	49	66	30	7
	尉川	462	210	73	123	44	12
	都南	339	173	58	71	22	15
	玉山	91	51	21	13	5	1
	無回答	0	0	0	0	0	0
性 別	男	877	369	153	219	107	29
	女	1181	593	218	254	83	33
	無回答	41	20	4	7	2	8
年 齢	20～29 歳	153	36	33	50	33	1
	30～39 歳	288	90	59	87	51	1
	40～49 歳	297	142	64	54	30	7
	50～59 歳	376	183	98	67	25	3
	60～69 歳	442	241	66	102	22	11
	70 歳以上	520	279	54	114	29	44
	無回答	23	11	1	6	2	3

問5 問4で1か2を選んだ方にお聞きます、あなたは、これまでに、次のどの分野に関わったことがありますか。当てはまるものすべてに○を付けてください。

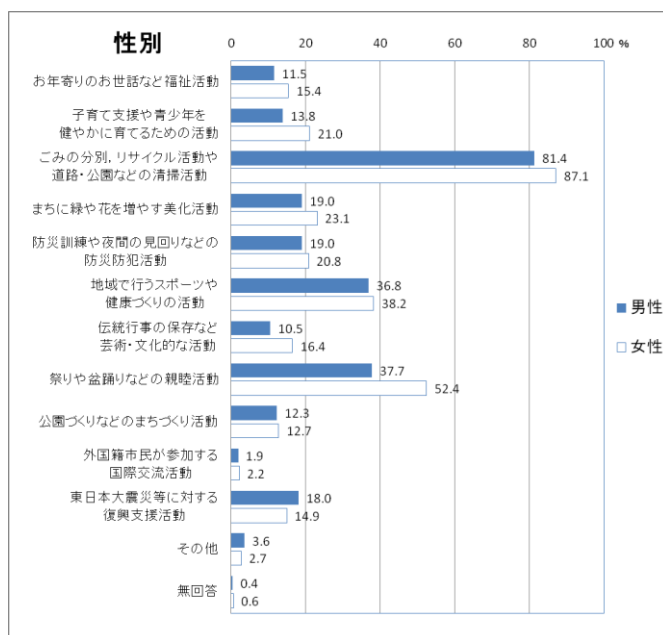
- 1 お年寄りのお世話など福祉活動
- 2 子育て支援や青少年を健やかに育てるための活動
- 3 ごみの分別、リサイクル活動や道路・公園などの清掃活動
- 4 まちに緑や花を増やす美化活動
- 5 防災訓練や夜間の見回りなどの防災防犯活動
- 6 地域で行うスポーツや健康づくりの活動
- 7 伝統行事の保存など芸術・文化的な活動
- 8 祭りや盆踊りなどの親睦活動
- 9 公園づくりなどのまちづくり活動
- 10 外国籍市民が参加する国際交流活動
- 11 東日本大震災等に対する復興支援活動
- 12 その他（ ）

【集計結果】



「ごみの分別、リサイクル活動や道路・公園などの清掃活動」が 84.7%で圧倒的に高く、「祭りや盆踊りなどの親睦活動」が 46.3%、「地域で行うスポーツや健康づくりの活動」が 37.7%と続いている。

これらの活動は、町内会・自治会等やコミュニティ推進地区単位で開催されているものが多く、身近な活動であることから、このような結果になったと考えられる。



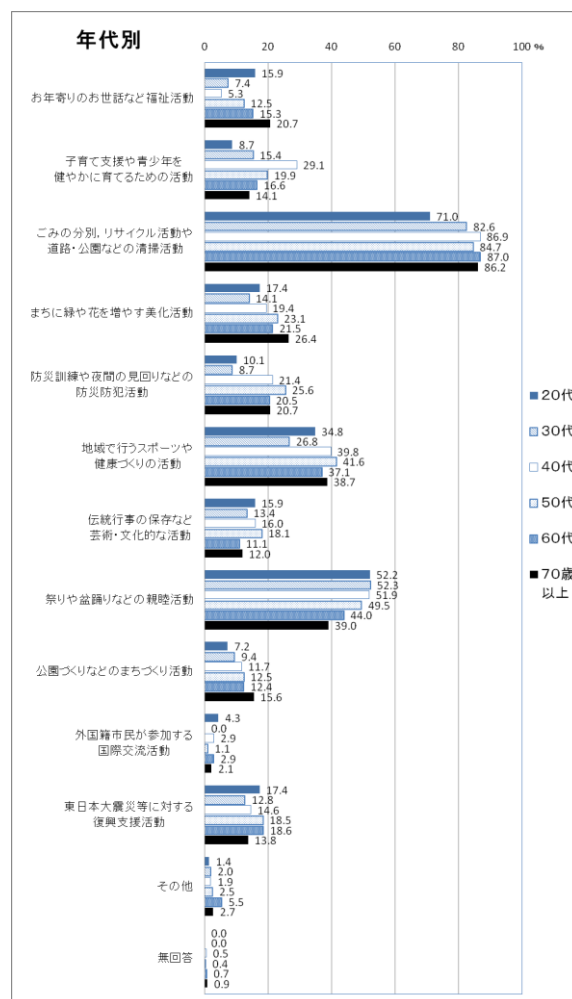
【性別】

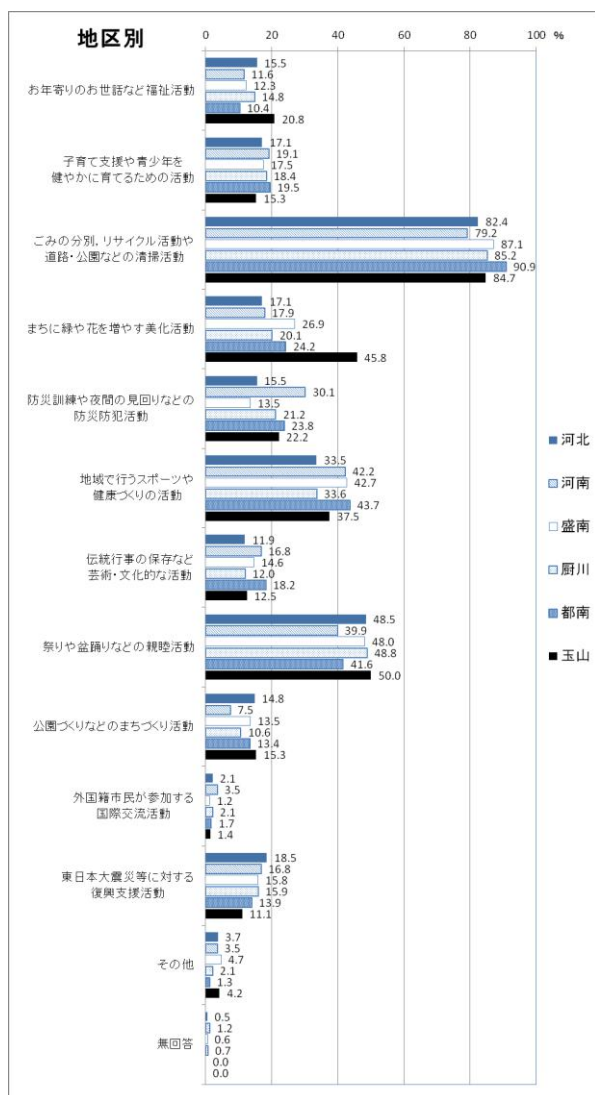
男性・女性とも概ね同様の傾向を示しているが、「祭りや盆踊りなどの親睦活動」が女性は52.4%であったのに対し、男性は37.7%と女性に比べて14.7ポイント低い。

【年代別】

「祭りや盆踊りなどの親睦活動」に関わったことがある割合が、20代から40代の子育て世代で最も高くなっていることが他の選択肢と異なっている。

これらの世代の多くは、子ども会などを通じてこのような活動に参加していると考えられる。





【地区別】

全地区とも同様の傾向を示しているが、玉山区においては「まちに緑や花を増やす美化活動」が、他の地区と比較して約 20 ポイント以上高くなっている。

玉山区が自治会単位で行っている「花いっぱい運動」の取組を通じて、美化活動に触れる機会が多かったためと考えられる。

※「その他」に記載された主なもの

- ・地域の雪かき
- ・地域のあいさつ運動
- ・障がいのある人への福祉活動

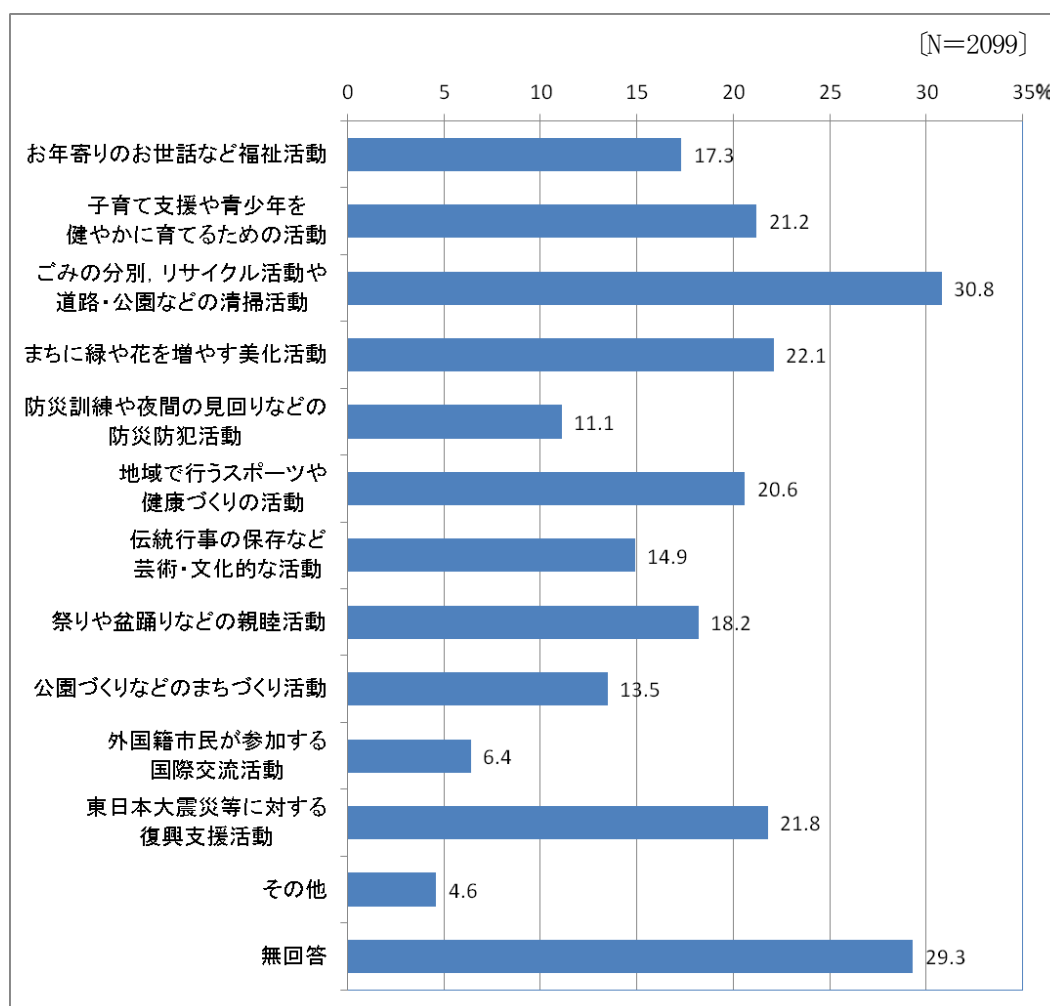
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数（人）	お年寄りのお世話など福祉活動	子育て支援や青少年を健やかに育てるための活動	ごみの分別、リサイクル活動や道路・公園などの清掃活動	まちに緑や花を増やす美化活動	防災訓練や夜間の見回りなどの防災防犯活動	地域で行うスポーツや健康づくりの活動	伝統行事の保存など芸術・文化的な活動	祭りや盆踊りなどの親睦活動	公園づくりなどのまちづくり活動	外国籍市民が参加する国際交流活動	東日本大震災等に対する復興支援活動	その他	無回答
全 体		1357	188	244	1150	296	272	512	190	628	171	28	220	42	7
地区	河北	427	66	73	352	73	66	143	51	207	63	9	79	16	2
	河南	173	20	33	137	31	52	73	29	69	13	6	29	6	2
	盛南	171	21	30	149	46	23	73	25	82	23	2	27	8	1
	厨川	283	42	52	241	57	60	95	34	138	30	6	45	6	2
	都南	231	24	45	210	56	55	101	42	96	31	4	32	3	0
	玉山	72	15	11	61	33	16	27	9	36	11	1	8	3	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性別	男	522	60	72	425	99	99	192	55	197	64	10	94	19	2
	女	811	125	170	706	187	169	310	133	425	103	18	121	22	5
	無回答	24	3	2	19	10	4	10	2	6	4	0	5	1	0
年齢	20～29 歳	69	11	6	49	12	7	24	11	36	5	3	12	1	0
	30～39 歳	149	11	23	123	21	13	40	20	78	14	0	19	3	0
	40～49 歳	206	11	60	179	40	44	82	33	107	24	6	30	4	1
	50～59 歳	281	35	56	238	65	72	117	51	139	35	3	52	7	1
	60～69 歳	307	47	51	267	66	63	114	34	135	38	9	57	17	2
	70 歳以上	333	69	47	287	88	69	129	40	130	52	7	46	9	3
	無回答	12	4	1	7	4	4	6	1	3	3	0	4	1	0

問6 あなたは、今後、次のどの分野の活動に関わりたいと思いますか。当てはまるものすべてに○を付けてください。

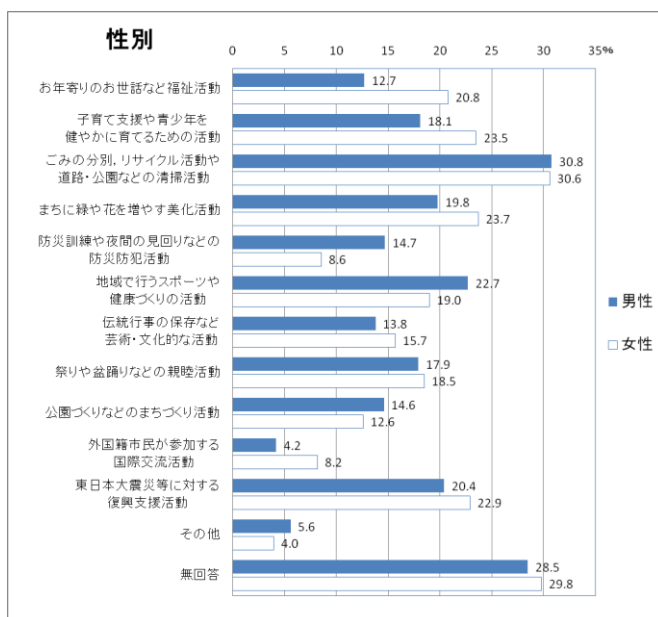
- 1 お年寄りのお世話など福祉活動
- 2 子育て支援や青少年を健やかに育てるための活動
- 3 ごみの分別、リサイクル活動や道路・公園などの清掃活動
- 4 まちに緑や花を増やす美化活動
- 5 防災訓練や夜間の見回りなどの防災防犯活動
- 6 地域で行うスポーツや健康づくりの活動
- 7 伝統行事の保存など芸術・文化的な活動
- 8 祭りや盆踊りなどの親睦活動
- 9 公園づくりなどのまちづくり活動
- 10 外国籍市民が参加する国際交流活動
- 11 東日本大震災等に対する復興支援活動
- 12 その他（ ）

【集計結果】



「ごみの分別、リサイクル活動や道路・公園などの清掃活動」が 30.8%、「まちに緑や花を増やす美化活動」、「子育て支援や青少年を健やかに育てるための活動」、「地域で行うスポーツや健康づくりの活動」がそれぞれ 20%を超えており、地域などで身近に参加できるものの関心が高い。

また、「東日本大震災等に対する復興支援活動」は 21.8%となったが、一方で「防災訓練や夜間の見回りなどの防災防犯活動」は 11.1%となっており、復興支援の関心の高さに比較すると防災活動への関心が低いことがわかる。



【性別】

「お年寄りのお世話など福祉活動」、「子育て支援や青少年を健やかに育てるための活動」では女性の、「防災訓練や夜間の見回りなどの防災防犯活動」では男性の割合が高く、他の項目では男女差は見受けられない。

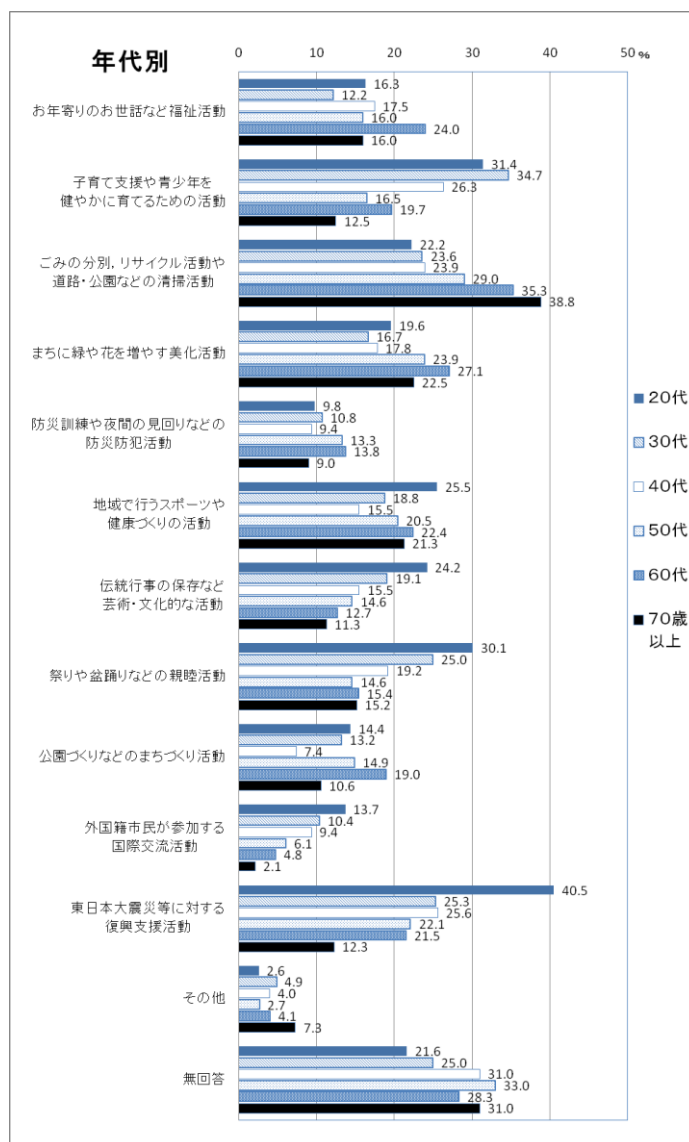
【年代別】

「子育て支援や青少年を健やかに育てるための活動」、「伝統行事の保存など芸術・文化的な活動」「祭りや盆踊りなどの親睦活動」については、他の年代と比べて20代から40代の割合が高くなっている。

この理由としては、子育て世代が子ども会を通じて地域の活動に参加する機会があることが考えられる。

また、「東日本大震災等に対する復興支援活動」に対しては、20代が40.5%と突出して回答しており、この年代の関心の高さがうかがわれる。

さらに「ごみの分別、リサイクル活動や道路・公園などの清掃活動」は、年代が高くなるにつれて、選択された割合も高くなっている。



※「その他」に記載された主なもの

- ・高齢なので参加できません。
- ・音楽演奏訪問。
- ・関心はありますが体力的に困難。
- ・障がい者の生活支援活動。
- ・手助けできることがあれば、分野にかかわらず協力したい。
- ・目の見えない方のための本の音読、録音活動等。

【地区別、性別、年齢別の回答数】

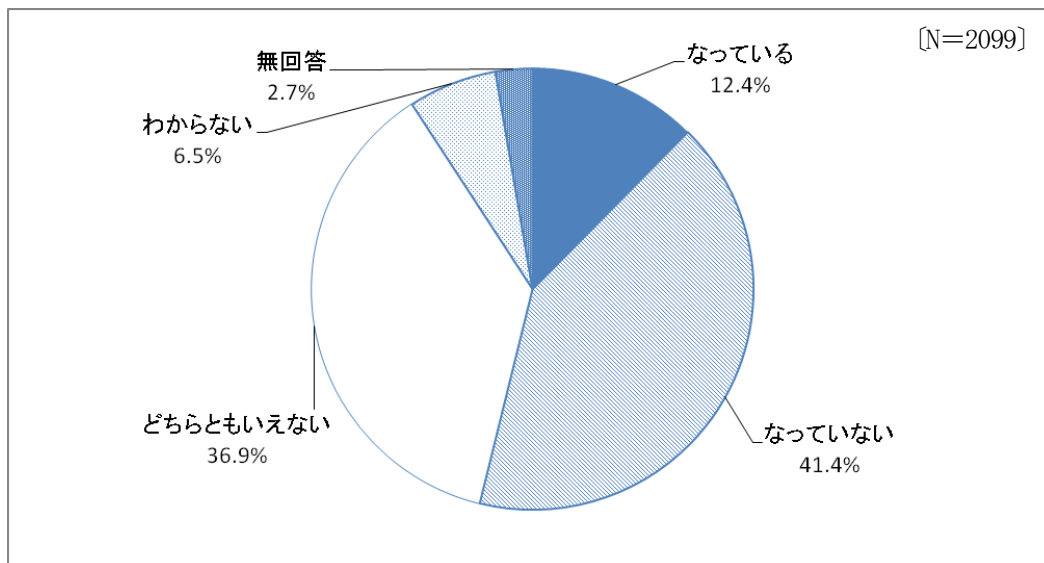
		実数 (人)	お年寄りの お世話など福祉活動	子育て支援や 青少年を健やかに 育てるための活動	ごみの分別、 リサイクル活動や 道路・公園などの 清掃活動	まちに緑や花を 増やす美化活動	防災訓練や夜間の 見回りなどの防災 防犯活動	地域で行うスポーツ や健康づくりの活動	伝統行事の保存など 芸術・文化的な活動	祭りや盆踊りなどの 親睦活動	公園づくりなどの まちづくり活動	外国籍市民が参加する 国際交流活動	東日本大震災等に対する 復興支援活動	その他	無回答
全 体		2099	364	444	646	464	233	432	312	383	283	134	458	96	615
地区	河北	649	120	129	201	132	72	135	90	106	80	47	138	30	189
	河南	284	50	55	79	59	30	48	45	44	34	22	68	15	87
	盛南	274	45	68	76	69	22	67	41	53	48	15	66	8	67
	尉川	462	68	96	147	103	54	85	71	88	58	28	103	25	140
	都南	339	59	79	115	75	43	74	56	67	53	15	68	14	100
	玉山	91	22	17	28	26	12	23	9	25	10	7	15	4	32
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性別	男	877	111	159	270	174	129	199	121	157	128	37	179	49	250
	女	1181	246	278	361	280	102	224	186	219	149	97	270	47	352
	無回答	41	7	7	15	10	2	9	5	7	6	0	9	0	13
年齢	20～29 歳	153	25	48	34	30	15	39	37	46	22	21	62	4	33
	30～39 歳	288	35	100	68	48	31	54	55	72	38	30	73	14	72
	40～49 歳	297	52	78	71	53	28	46	46	57	22	28	76	12	92
	50～59 歳	376	60	62	109	90	50	77	55	55	56	23	83	10	124
	60～69 歳	442	106	87	156	120	61	99	56	68	84	21	95	18	125
	70 歳以上	520	83	65	202	117	47	111	59	79	55	11	64	38	161
	無回答	23	3	4	6	6	1	6	4	6	6	0	5	0	8

テーマ3 男女共同参画施策について

問7 全ての国民は法の下に平等であるとされていますが、実際に男性と女性は平等になっていると思いますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

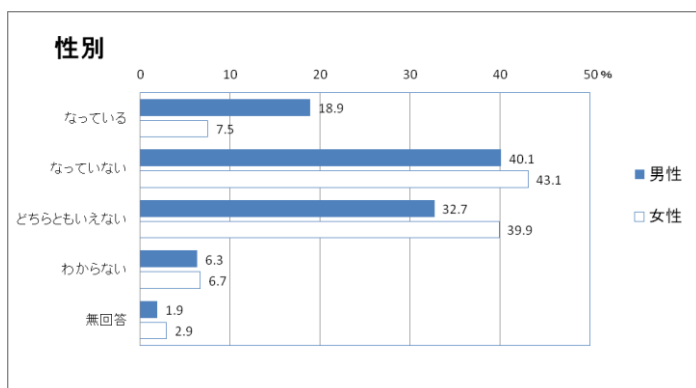
- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1 なっている | → 1を選んだ方は、問10へ進んでください |
| 2 なっていない | → 2を選んだ方は、問8へ進んでください |
| 3 どちらともいえない | } 3. 4を選んだ方は、問10へ進んでください |
| 4 わからない | |

【集計結果】



平成15年度の調査と比べて、平等に「なっていない」が52.3%から41.4%に減少し、「なっている」が8.6%から12.4%に増加している。

このことは、男女共同参画施策が推進された結果によるものと考えられるが、「なっている」が依然10%台前半であり、男女間で差があること、また、30代及び40代の割合も低いことから、勤労世代に対する課題を把握するなど、更なる施策の推進が必要である。



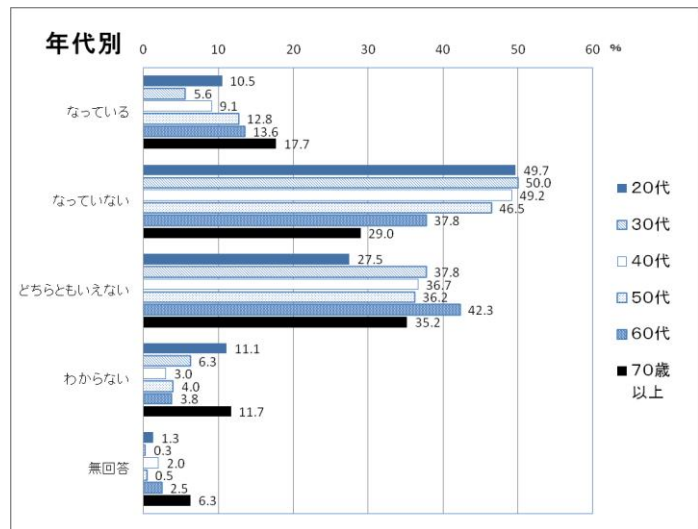
【性別】

平等に「なっていない」の男女の割合がほぼ同じであるのに対し、「なっている」の割合は、女性は男性の半分以下となっている。

女性の方が平等ではないと感じている傾向がある。

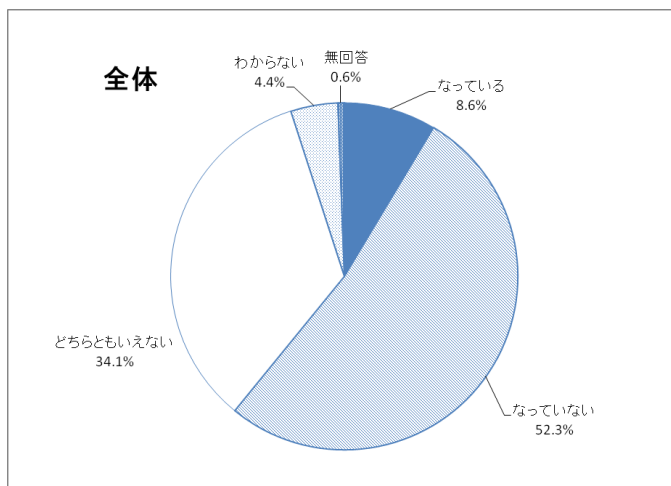
【年代別】

平等に「なっていない」は、20代から40代が高くなっている。一方、「なっている」は、30代が最も低く、年代が高くなるにつれて割合も高くなっている。



【参考】

平成 15 年度市民意識調査の同設問の結果



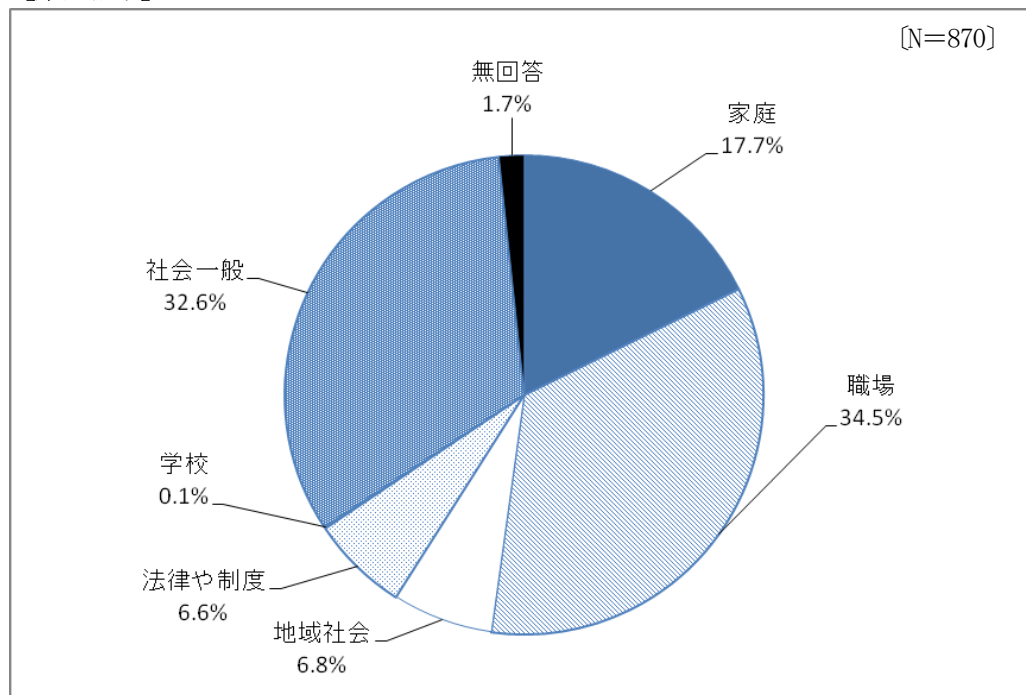
【地区別，性別，年齢別の回答数】

		実数 (人)	な つ て い る	な つ て い な い	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		2099	260	870	775	137	57
地 区	河北	649	73	269	253	37	17
	河南	284	32	134	88	21	9
	盛南	274	40	118	86	23	7
	厨川	462	54	180	184	31	13
	都南	339	48	133	127	21	10
	玉山	91	13	36	37	4	1
	無回答	0	0	0	0	0	0
性 別	男	877	166	352	287	55	17
	女	1181	88	509	471	79	34
	無回答	41	6	9	17	3	6
年 齢	20～29 歳	153	16	76	42	17	2
	30～39 歳	288	16	144	109	18	1
	40～49 歳	297	27	146	109	9	6
	50～59 歳	376	48	175	136	15	2
	60～69 歳	442	60	167	187	17	11
	70 歳以上	520	92	151	183	61	33
	無回答	23	1	11	9	0	2

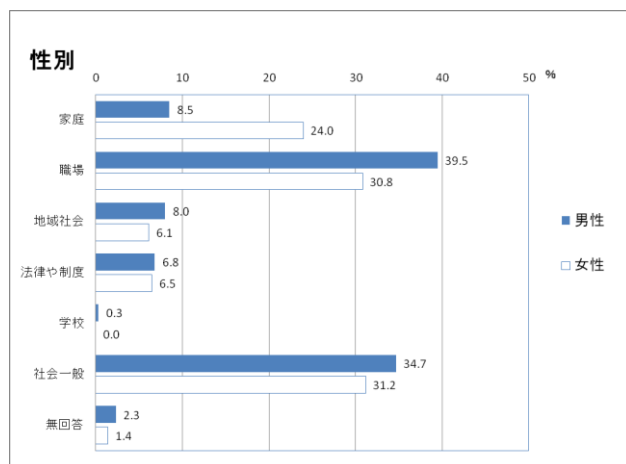
問8 問7で2を選んだ方にお聞きします, 最も平等になっていないのは, どの分野だと思いますか。
当てはまるもの1つに○を付けてください。

- 1 家庭
- 2 職場
- 3 地域社会
- 4 法律や制度
- 5 学校
- 6 社会一般

【集計結果】



平等になっていない分野を平成15年度の調査と比べると、「職場」が28.1%から34.5%、「家庭」が10.7%から17.7%、「法律や制度」が5.2%から6.6%とそれぞれ増加している。一方で「社会一般」が44.7%から32.6%と減少している。



【性別】

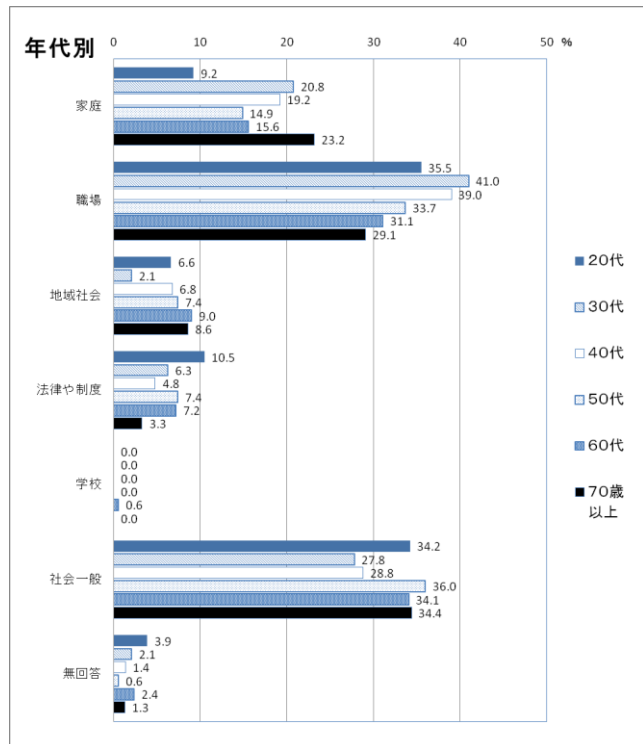
「家庭」と回答した女性は、男性の約3倍となっている。一方、男性は「職場」における不平等を感じる割合がより高いことがわかる。

「家庭」と「職場」の性別による差は平成15年度の調査より広がっており、性別によって不平等を感じる分野の違いを把握することが、男女平等を推進する上で必要と考えられる。

【年代別】

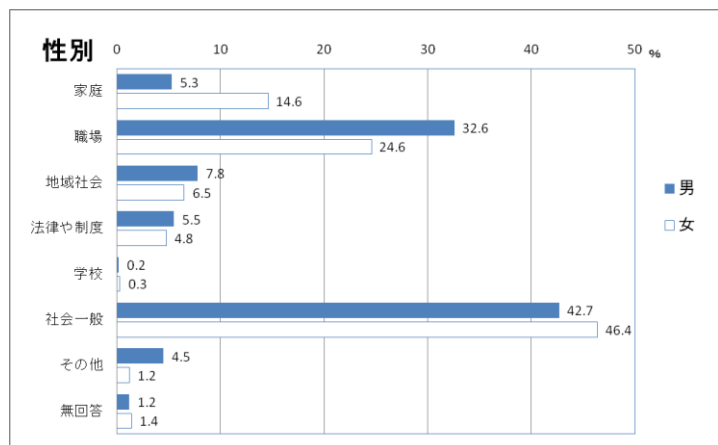
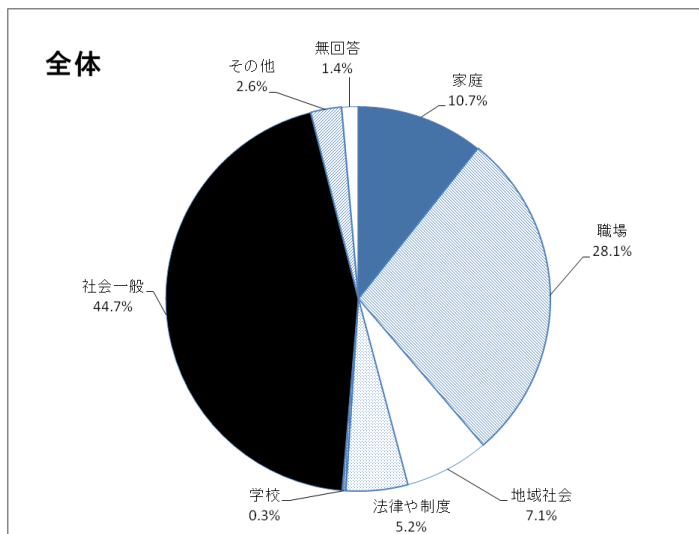
30代と40代で「家庭」，「職場」が高い。

この年代は子どもが幼く，家庭を持ちながら仕事をしていることなどから，不平等であると感じることが多いと考えられる。



【参考】

平成15年度市民意識調査の同設問の結果



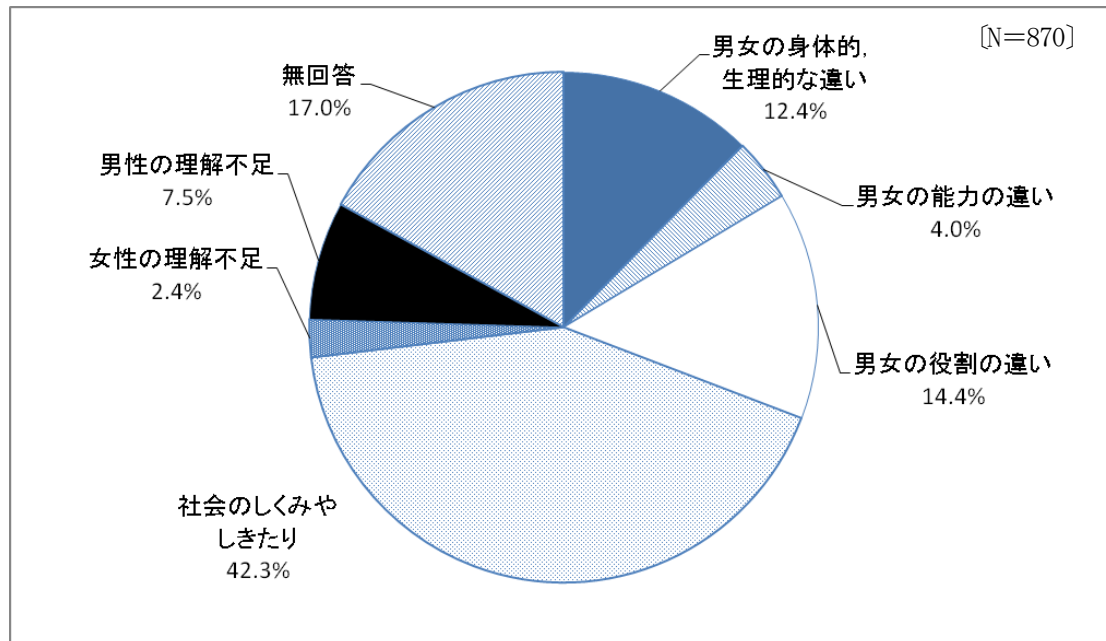
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人)	家庭	職場	地域社会	法律や制度	学校	社会一般	無回答
全 体		870	154	300	59	57	1	284	15
地区	河北	269	55	88	18	17	0	88	3
	河南	134	22	54	6	6	0	41	5
	盛南	118	20	36	9	12	0	36	5
	厨川	180	29	60	15	16	1	58	1
	都南	133	20	51	7	4	0	50	1
	玉山	36	8	11	4	2	0	11	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
性別	男	352	30	139	28	24	1	122	8
	女	509	122	157	31	33	0	159	7
	無回答	9	2	4	0	0	0	3	0
年齢	20～29 歳	76	7	27	5	8	0	26	3
	30～39 歳	144	30	59	3	9	0	40	3
	40～49 歳	146	28	57	10	7	0	42	2
	50～59 歳	175	26	59	13	13	0	63	1
	60～69 歳	167	26	52	15	12	1	57	4
	70 歳以上	151	35	44	13	5	0	52	2
	無回答	11	2	2	0	3	0	4	0

問9 問7で2を選んだ方にお聞きします，平等になっていない主な原因は何だと思いますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- 1 男女の身体的，生理的な違い
- 2 男女の能力の違い
- 3 男女の役割の違い
- 4 社会のしくみやしきたり
- 5 女性の理解不足
- 6 男性の理解不足

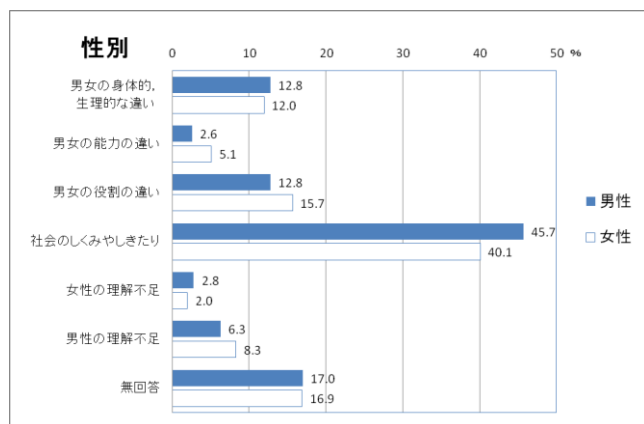
【集計結果】



「社会のしくみやしきたり」が42.3%と最も高くなっている。

平成15年度の調査でも41.8%と最も高い割合であり，依然，社会制度や慣行において不平等を感じていると考えられる。

男女が共に平等になっていないと考えられる主な原因は「社会のしくみやしきたり」であることから，社会に向けて男女平等意識を高める必要がある。



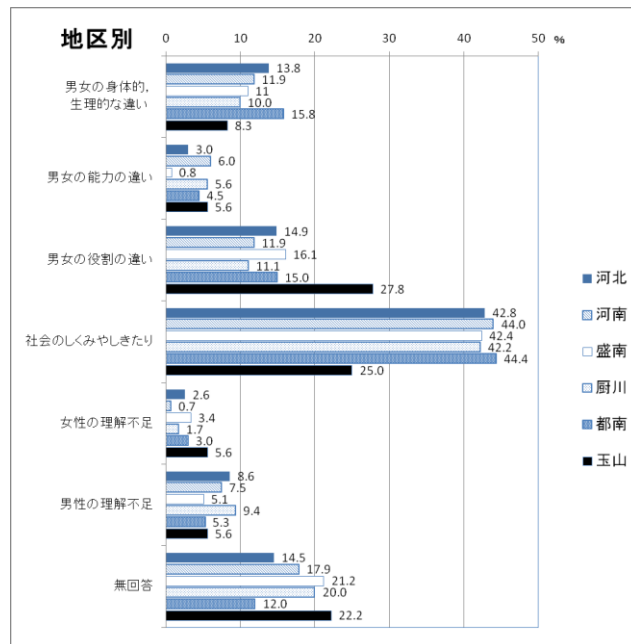
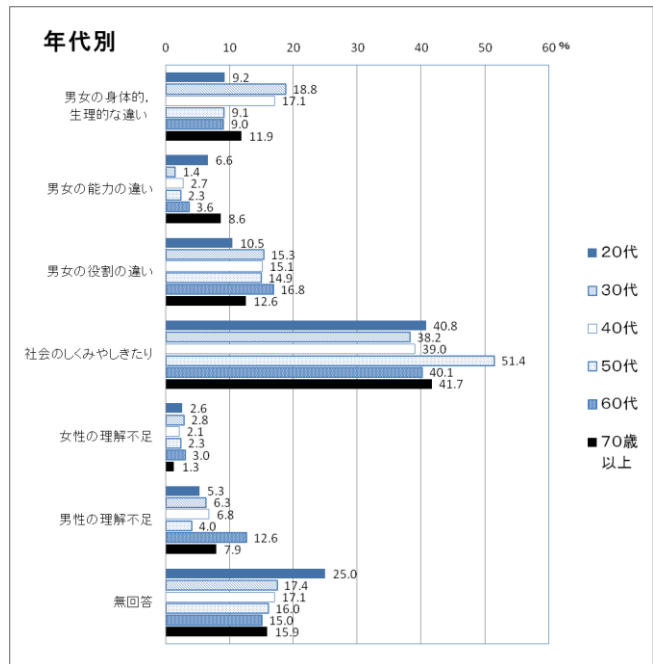
【性別】

男女共に「社会のしくみやしきたり」が最も高い。

「男女の能力の違い」について，平成15年度の同調査では，男性が女性の約2倍になっていたが，今回の調査では，女性が男性の約2倍に逆転したことから，この意識の変化について分析する必要がある。

【年代別】

「男女の身体的、生理的な違い」は30代と40代、「男女の能力の違い」は20代と70歳以上、「社会のしくみやしきたり」は50代、「男性の理解不足」は60代が他の年代より比較的高くなっている。

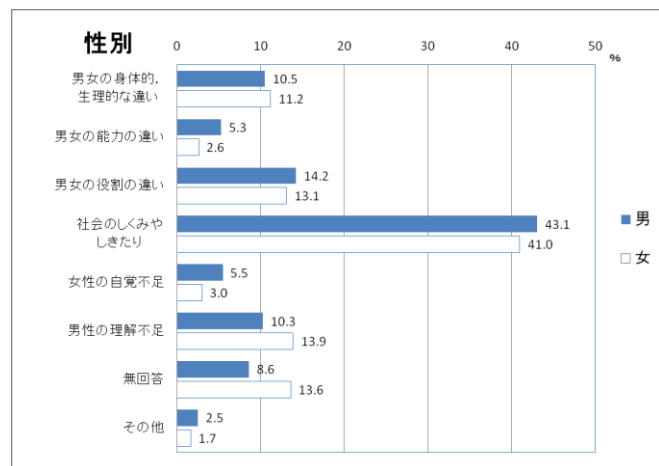
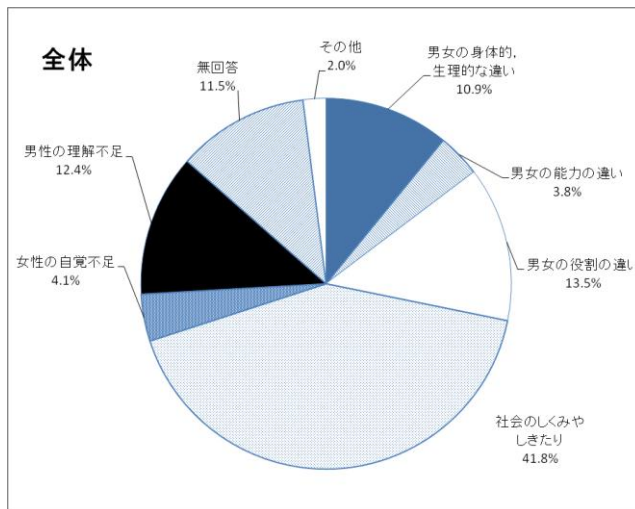


【地区別】

玉山区では、「男女の役割の違い」が、他の地区の約2倍となっている一方、「社会のしくみやしきたり」は約半分となっている。玉山区は、男性女性それぞれが役割を持って生活していることが考えられる。

【参考】

平成 15 年度市民意識調査の同設問の結果



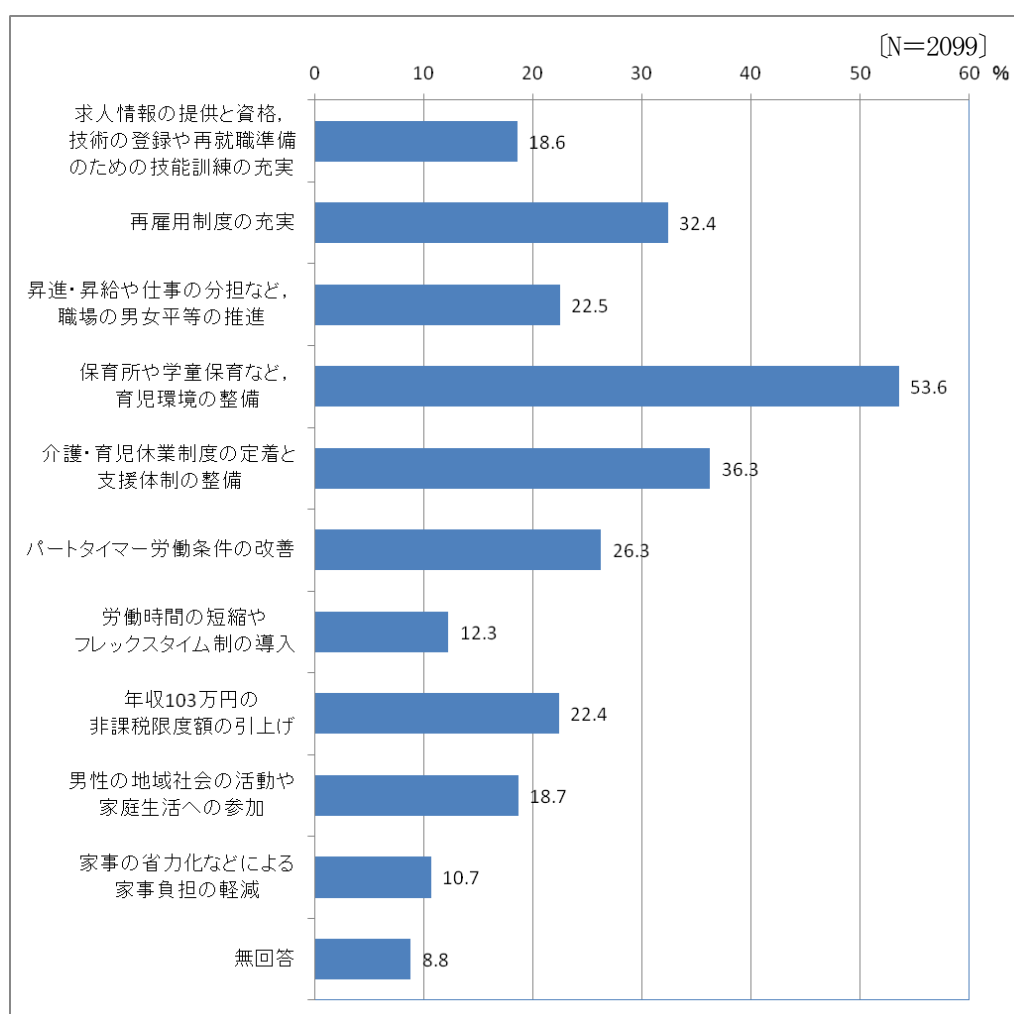
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人)	男女の身体的、 生理的な違い	男女の能力の違い	男女の役割の違い	社会のしくみやしきたり	女性の理解不足	男性の理解不足	無回答
全 体		870	108	35	125	368	21	65	148
地区	河北	269	37	8	40	115	7	23	39
	河南	134	16	8	16	59	1	10	24
	盛南	118	13	1	19	50	4	6	25
	厨川	180	18	10	20	76	3	17	36
	都南	133	21	6	20	59	4	7	16
	玉山	36	3	2	10	9	2	2	8
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
性別	男	352	45	9	45	161	10	22	60
	女	509	61	26	80	204	10	42	86
	無回答	9	2	0	0	3	1	1	2
年齢	20～29 歳	76	7	5	8	31	2	4	19
	30～39 歳	144	27	2	22	55	4	9	25
	40～49 歳	146	25	4	22	57	3	10	25
	50～59 歳	175	16	4	26	90	4	7	28
	60～69 歳	167	15	6	28	67	5	21	25
	70 歳以上	151	18	13	19	63	2	12	24
	無回答	11	0	1	0	5	1	2	2

問 10 女性が働きやすい環境に必要なと思うものは何ですか。最も当てはまるものから
3つまで○を付けてください。

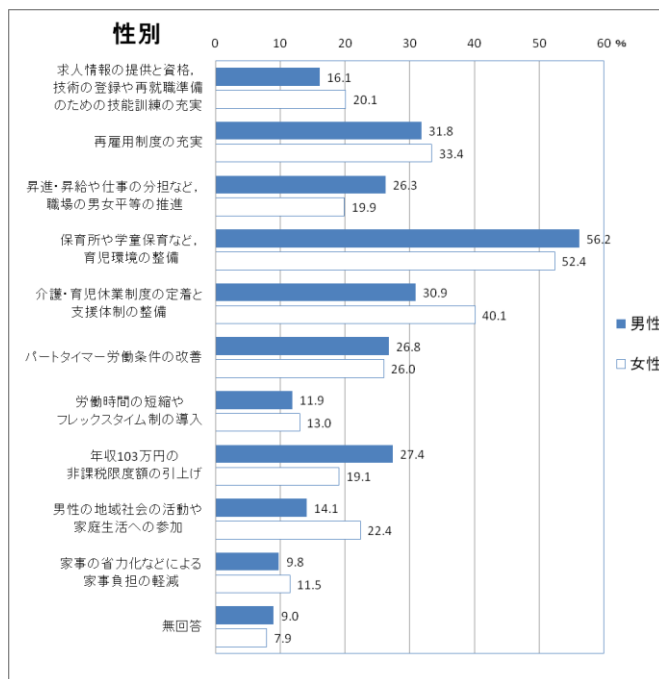
- 1 求人情報の提供と資格、技術の登録や再就職準備のための技能訓練の充実
- 2 再雇用制度の充実
- 3 昇進・昇給や仕事の分担など、職場の男女平等の推進
- 4 保育所や学童保育など、育児環境の整備
- 5 介護・育児休業制度の定着と支援体制の整備
- 6 パートタイマー労働条件の改善
- 7 労働時間の短縮やフレックスタイム制の導入
- 8 年収103万円の非課税限度額の引き上げ
- 9 男性の地域社会の活動や家庭生活への参加
- 10 家事の省力化などによる家事負担の軽減

【集計結果】



平成 15 年度の調査と比べて「求人情報の提供と資格、技術の登録や再就職準備のための技能訓練の充実」は11.0%から18.6%と大きく増加する一方で、「年収103万円の非課税限度額の引き上げ」が26.0%から22.4%に減少しており、結婚や出産などで退職後の再就職の意識が高まっていると考えられる。

また、育児と就労について、社会制度の充実が望まれていると考えられる。



【性別】

男女共に「保育所や学童保育など、育児環境の整備」が高くなっている。

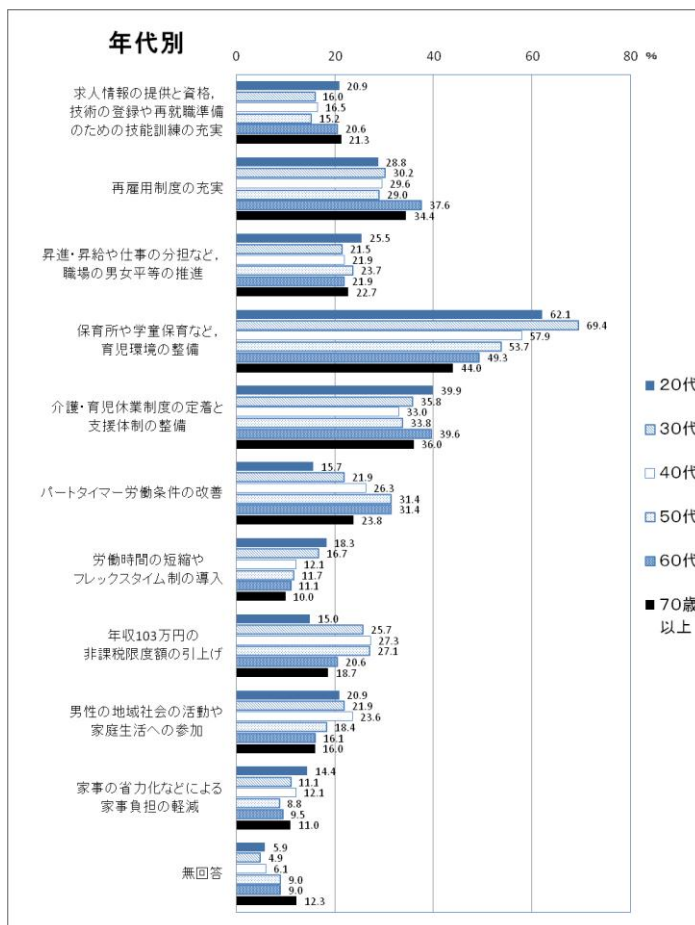
特に女性は「介護・育児休業制度の定着と支援体制の整備」と「男性の地域社会の活動や家庭生活への参加」が男性と比べて高くなっている。

このことから、女性は働き続けるための現実的な課題をあげていると考えられる。

【年代別】

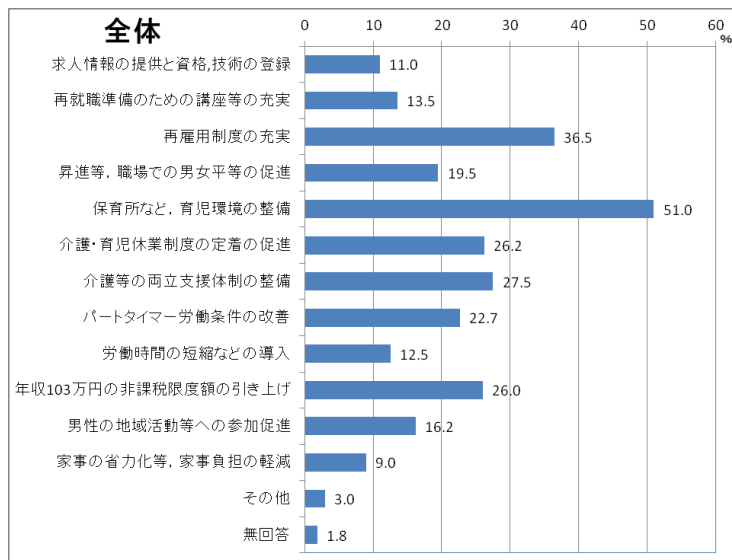
「保育所や学童保育など、育児環境の整備」は20代、30代が突出している。

この年代は子育て世代であり、女性が働きやすい環境のためには、育児環境の整備が必要だと考えていることがわかる。



【参考】

平成 15 年度市民意識調査の同設問の結果



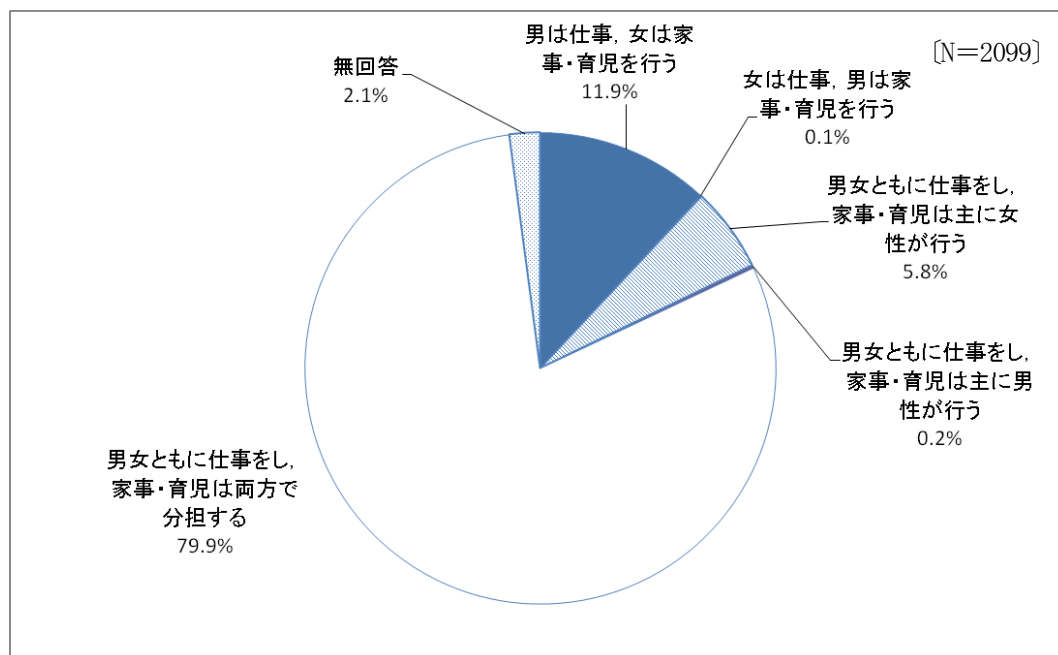
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人数)	求人情報の提供と資格、技術の登録や再就職準備のための技能訓練の充実	再雇用制度の充実	昇進・昇給や仕事の分担など、職場の男女平等の推進	保育所や学童保育など、育児環境の整備	介護・育児休業制度の定着と支援体制の整備	パートタイマー労働条件の改善	労働時間の短縮やフレックスタイム制の導入	年収103万円の非課税限度額の引き上げ	男性の地域社会の活動や家庭生活への参加	家事の省力化などによる家事負担の軽減	無回答
全 体		2099	390	681	473	1125	762	552	259	470	393	224	184
地区	河北	649	103	219	146	363	247	171	83	164	124	62	50
	河南	284	62	87	72	145	95	76	29	54	62	31	30
	盛南	274	40	79	66	152	106	61	39	63	55	29	25
	厨川	462	96	145	95	237	164	117	69	90	89	45	45
	都南	339	67	122	76	188	122	100	32	78	49	47	23
	玉山	91	22	29	18	40	28	27	7	21	14	10	11
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性別	男	877	141	279	231	493	271	235	104	240	124	86	79
	女	1181	237	395	235	619	474	307	153	225	264	136	93
	無回答	41	12	7	7	13	17	10	2	5	5	2	12
年齢	20～29 歳	153	32	44	39	95	61	24	28	23	32	22	9
	30～39 歳	288	46	87	62	200	103	63	48	74	63	32	14
	40～49 歳	297	49	88	65	172	98	78	36	81	70	36	18
	50～59 歳	376	57	109	89	202	127	118	44	102	69	33	34
	60～69 歳	442	91	166	97	218	175	139	49	91	71	42	40
	70 歳以上	520	111	179	118	229	187	124	52	97	83	57	64
	無回答	23	4	8	3	9	11	6	2	2	5	2	5

問 11 家庭生活における夫婦の役割分担をどう考えますか。当てはまるもの 1つ に○を付けてください。

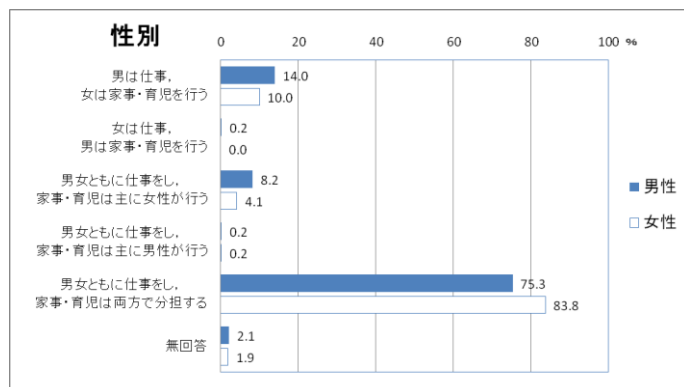
- 1 男は仕事, 女は家事・育児を行う
- 2 女は仕事, 男は家事・育児を行う
- 3 男女ともに仕事をし, 家事・育児は主に女性が行う
- 4 男女ともに仕事をし, 家事・育児は主に男性が行う
- 5 男女ともに仕事をし, 家事・育児は両方で分担する

【集計結果】



「男女ともに仕事をし, 家事・育児は両方で分担する」が 79.9%と最も高く, 平成 15 年度の調査と比べて 13.9 ポイント増加している。一方で「男は仕事, 女は家事・育児を行う」が 11.9%で, 4.5 ポイント減少している。意識としては, 仕事と家庭の調和が浸透してきていると考えられる。

男女共同参画意識が高まり, 性別により特定の役割を分担する意識は減少してきているが, 男性には「家事育児は女性が行うべき」という考えが残っている。



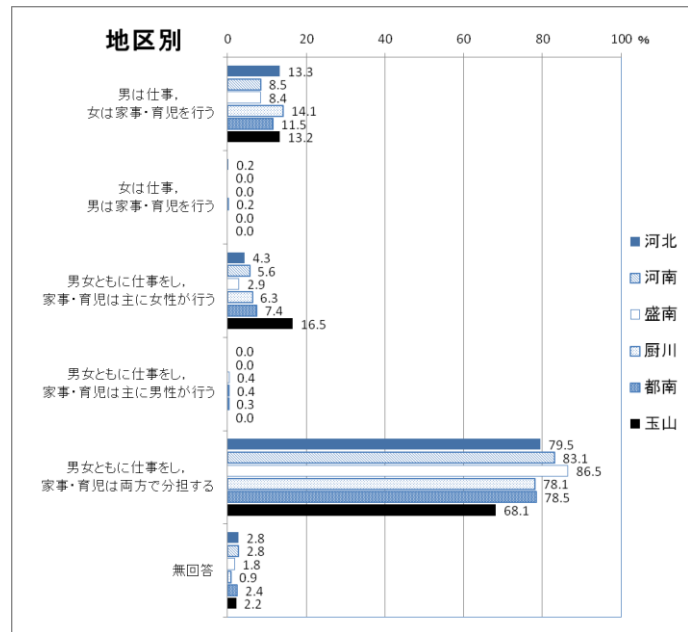
【性別】

「男は仕事, 女は家事・育児を行う」と「男女ともに仕事をし, 家事・育児は主に女性が行う」を合計した割合は, 男性が 22.2%, 女性が 14.1%と性別による意識の差があることがわかる。

一層の男女平等の意識の啓発が必要と考えられる。

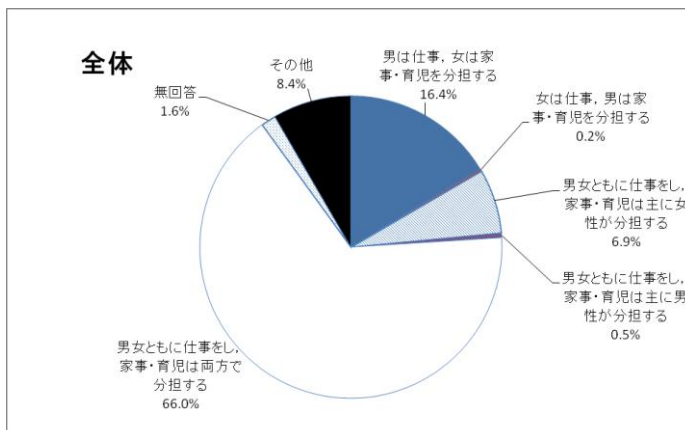
【地区別】

玉山区では「男女ともに仕事をし、家事・育児は主に女性が行う」が、他の地区より高くなっている。



【参考】

平成 15 年度市民意識調査の同設問の結果



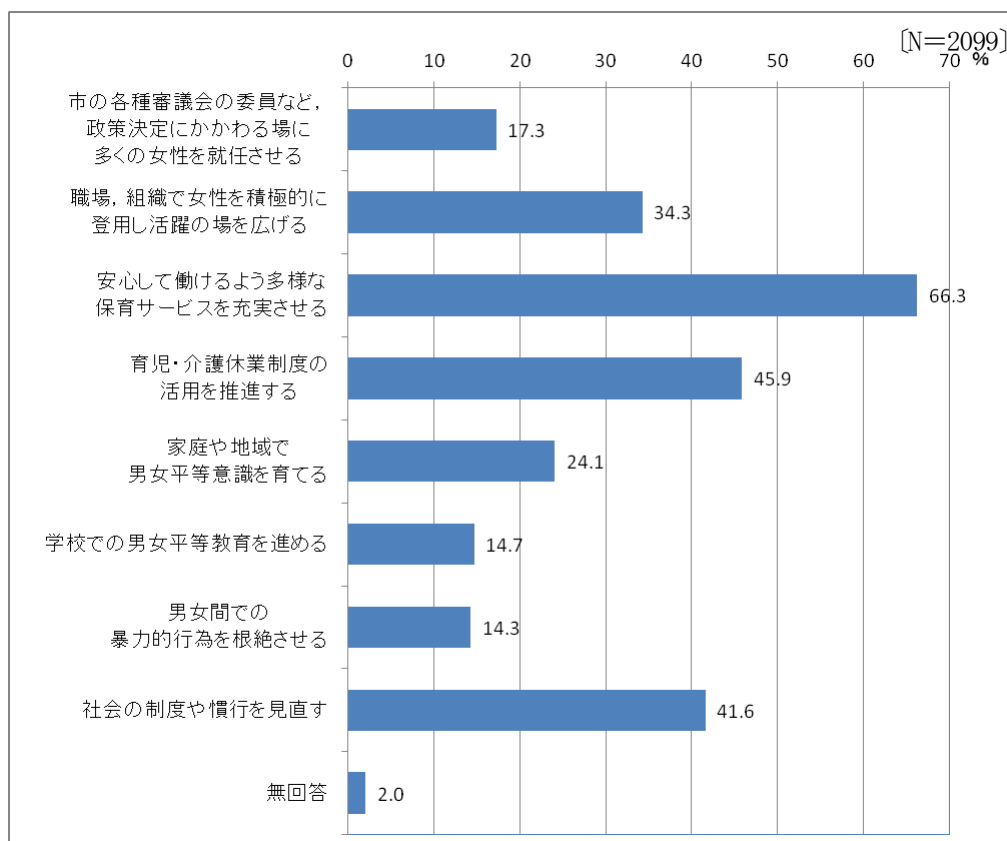
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人)	男は仕事、 女は家事・育児を行う	女は仕事、 男は家事・育児を行う	男女ともに仕事をし、 家事・育児は主に女性が 行う	男女ともに仕事をし、 家事・育児は主に男性が 行う	男女ともに仕事をし、 家事・育児は両方で分担する	無回答
全 体		2099	249	2	121	4	1678	45
地 区	河北	649	86	1	28	0	516	18
	河南	284	24	0	16	0	236	8
	盛南	274	23	0	8	1	237	5
	厨川	462	65	1	29	2	361	4
	都南	339	39	0	25	1	266	8
	玉山	91	12	0	15	0	62	2
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
性 別	男	877	123	2	72	2	660	18
	女	1181	118	0	48	2	990	23
	無回答	41	8	0	1	0	28	4
年 齢	20～29 歳	153	17	0	14	0	120	2
	30～39 歳	288	29	0	16	0	240	3
	40～49 歳	297	30	1	14	0	250	2
	50～59 歳	376	35	0	29	1	300	11
	60～69 歳	442	49	1	15	1	369	7
	70 歳以上	520	85	0	32	2	384	17
	無回答	23	4	0	1	0	15	3

問 12 男女が対等・平等な立場で協力しあう社会を築くために何が大切だと思いますか。最も当てはまるものから3つまで○を付けてください。

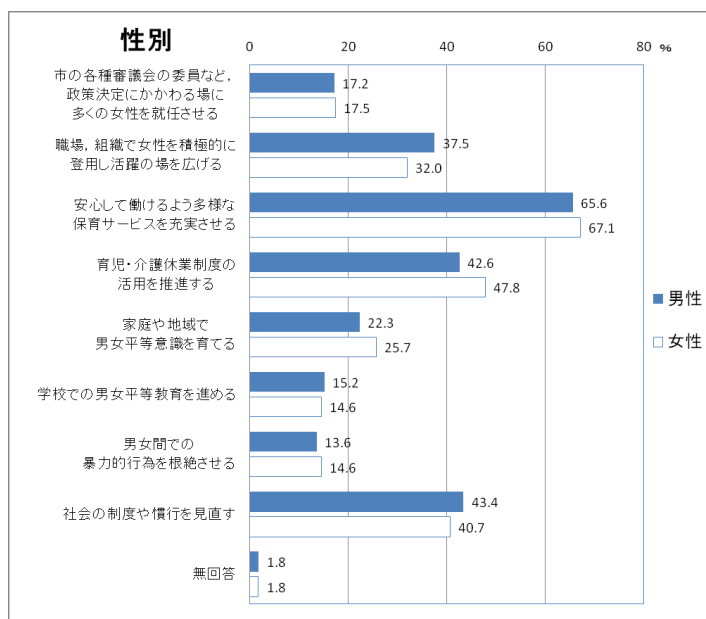
- 1 市の各種審議会の委員など、政策決定にかかわる場に多くの女性を就任させる
- 2 職場、組織で女性を積極的に登用し活躍の場を広げる
- 3 安心して働けるよう多様な保育サービスを充実させる
- 4 育児・介護休業制度の活用を推進する
- 5 家庭や地域で男女平等意識を育てる
- 6 学校での男女平等教育を進める
- 7 男女間での暴力的行為を根絶させる
- 8 社会の制度や慣行を見直す

【集計結果】



「安心して働けるよう多様な保育サービスを充実させる」が 66.3%、「育児・介護休業制度の活用を推進する」が 45.9%、「社会の制度や慣行を見直す」が 41.6%の順になっている。

また、平成 15 年度の調査と比べ、「安心して働けるよう多様な保育サービスを充実させる」が 12.8 ポイント増加し、「育児・介護休業制度の活用を推進する」が 9.3 ポイント増加している。



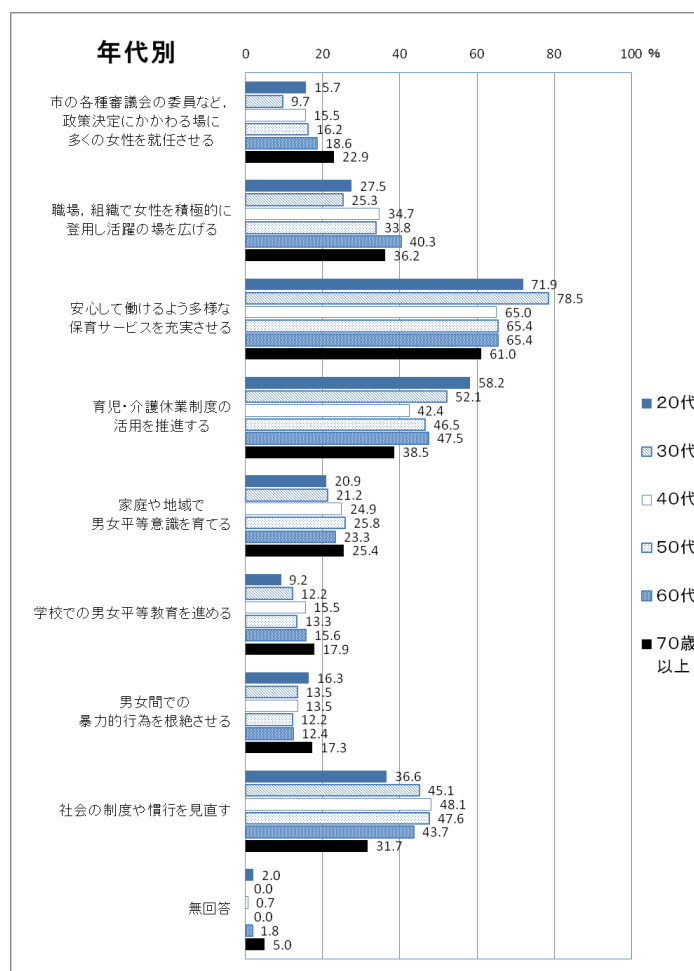
【性別】

男性は「職場、組織で女性を積極的に登用し活躍の場を広げる」が女性より比較的高く、女性は「育児・介護休業制度の活用を推進する」が男性より比較的高くなっている。

【年代別】

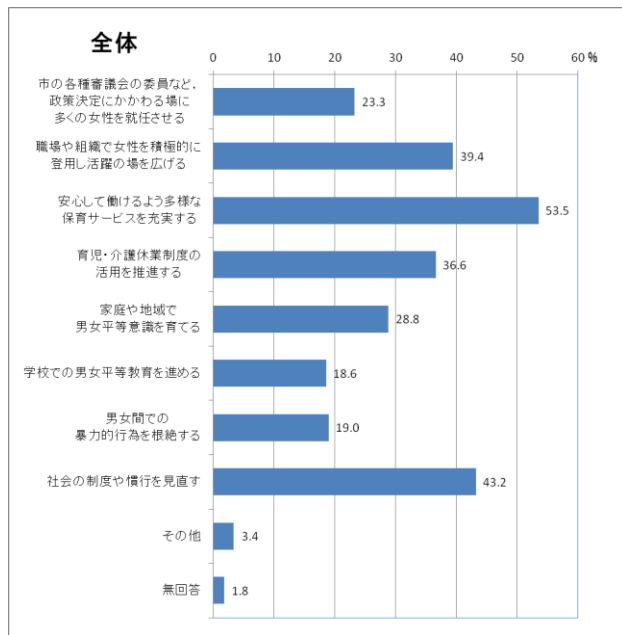
「安心して働けるよう多様な保育サービスを充実させる」や「育児・介護休業制度の活用を推進する」は20代、30代が高い。

子育て世代は、対等・平等な立場で協力し合う社会を築くためには保育サービスや制度の充実が必要と考えていることがわかる。



【参考】

平成 15 年度市民意識調査の同設問の結果



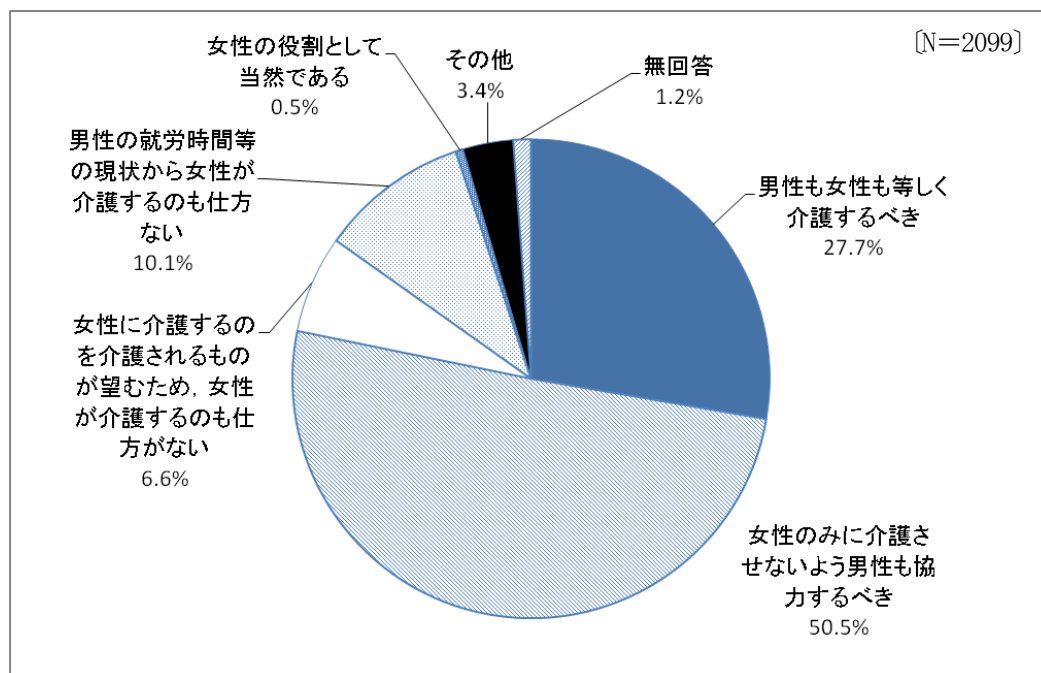
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人数)	市の各種審議会の委員など、政策決定にかかわる場に多くの女性を就任させる	職場、組織で女性を積極的に登用し活躍の場を広げる	安心して働けるよう多様な保育サービスを充実させる	育児・介護休業制度の活用を推進する	家庭や地域で男女平等意識を育てる	学校での男女平等教育を進める	男女間での暴力的行為を根絶させる	社会の制度や慣行を見直す	無回答
全 体		2099	364	719	1392	963	505	309	300	873	42
地 区	河北	649	120	232	433	280	156	96	81	284	15
	河南	284	46	99	195	124	65	46	35	121	10
	盛南	274	44	87	183	128	75	36	33	119	6
	厨川	462	75	154	296	218	118	76	88	181	6
	都南	339	64	116	231	166	67	45	46	133	4
	玉山	91	15	31	54	47	24	10	17	35	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性 別	男	877	151	329	575	374	196	133	119	381	16
	女	1181	207	378	793	564	303	173	172	481	21
	無回答	41	6	12	24	25	6	3	9	11	5
年 齢	20～29 歳	153	24	42	110	89	32	14	25	56	3
	30～39 歳	288	28	73	226	150	61	35	39	130	0
	40～49 歳	297	46	103	193	126	74	46	40	143	2
	50～59 歳	376	61	127	246	175	97	50	46	179	0
	60～69 歳	442	82	178	289	210	103	69	55	193	8
	70 歳以上	520	119	188	317	200	132	93	90	165	26
	無回答	23	4	8	11	13	6	2	5	7	3

問 13 家庭での介護を、主として女性（妻、嫁、娘など）が担っていることをどう思いますか。最も当てはまるもの1つに○を付けてください。

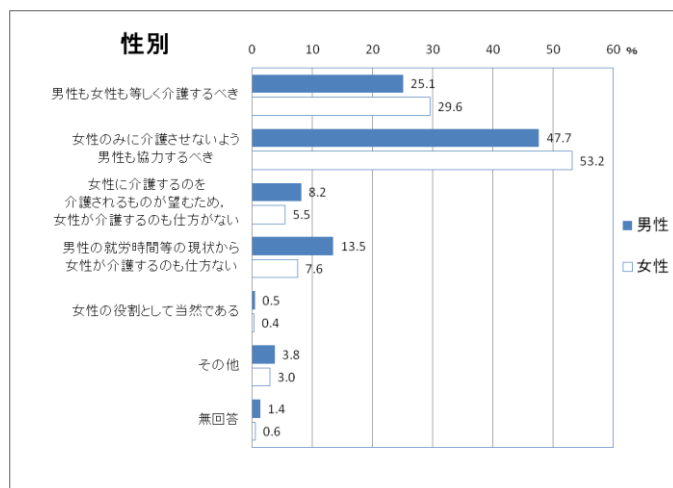
- 1 男性も女性も等しく介護すべき
- 2 女性のみ介護させないよう男性も協力すべき
- 3 女性に介護されるのを介護される者が望むため、女性が介護するのも仕方ない
- 4 男性の就労時間等の現状から女性が介護するのも仕方ない
- 5 女性の役割として当然である
- 6 その他（ ）

【集計結果】



「女性のみ介護させないよう男性も協力すべき」が50.5%と最も高く、次いで「男性も女性も等しく介護すべき」が27.7%となっており、2つの項目を合わせると78.2%となっている。

家庭での介護は、男性も女性も協力し合うべきと考えている割合が高いことがわかる。



【性別】

女性は「女性のみ介護させないよう男性も協力すべき」、「男性も女性も等しく介護すべき」が男性より高くなっている。

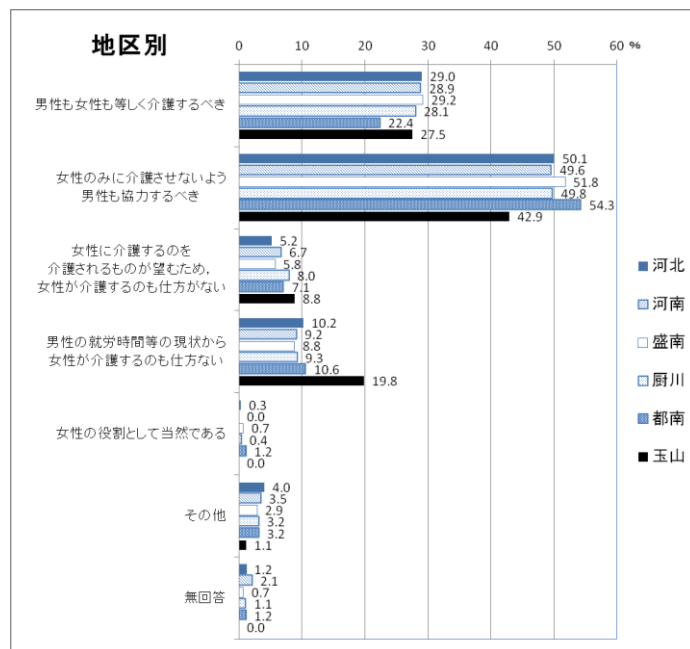
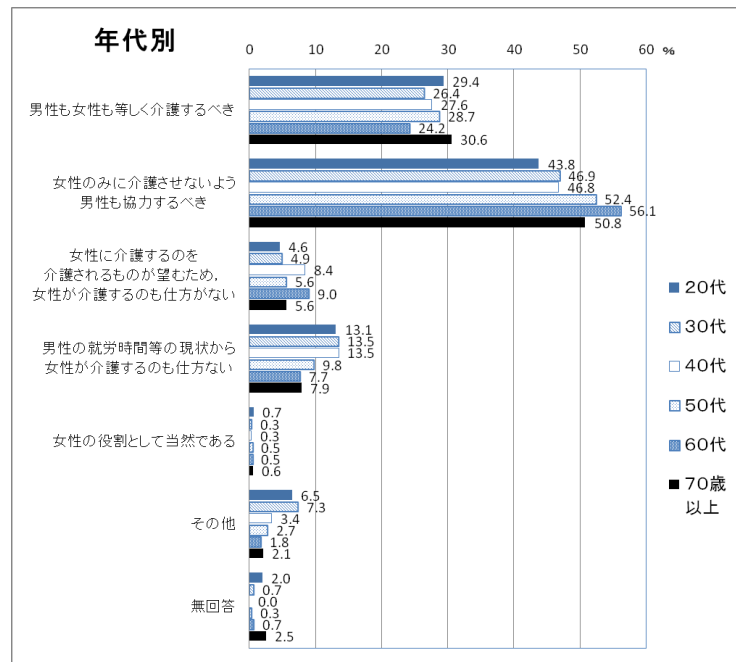
また、「男性の就労時間等の現状から女性が介護するのも仕方ない」と回答した男性は女性の約2倍となっている。

男性の方が、性別により役割を分担せざるを得ない現状があると考えられる。

【年代別】

「男性の就労時間等の現状から女性が介護するのも仕方ない」は20代から40代が他の年代より高くなっている。

また、「女性のみ介護させないよう男性も協力すべき」は50代以降が他の年代より高くなっている。



【地区別】

「男性の就労時間等の現状から女性が介護するのも仕方ない」は、玉山区が他の地区の約2倍となっている。これは設問9でも、平等になっていない原因を「男女の役割のちがひ」と回答しており、性別による役割を分担する意識が強いいためと考えられる。

※「その他」に記載された主なもの

- ・各家庭の個別の問題、ひとくくりにはできない。
- ・女性が働きやすい社会になっていない現状においてはやむをえない。
- ・男性側の就労時間の見直し、介護時間を実際に取得できる体制作りが必要。
- ・男女関係なく、体力的にも就業上からも介護できる人がすべき。
- ・社会的資源、介護サービスをもっと有効に利用すべき。
- ・公的介護施設を充実させるべき。

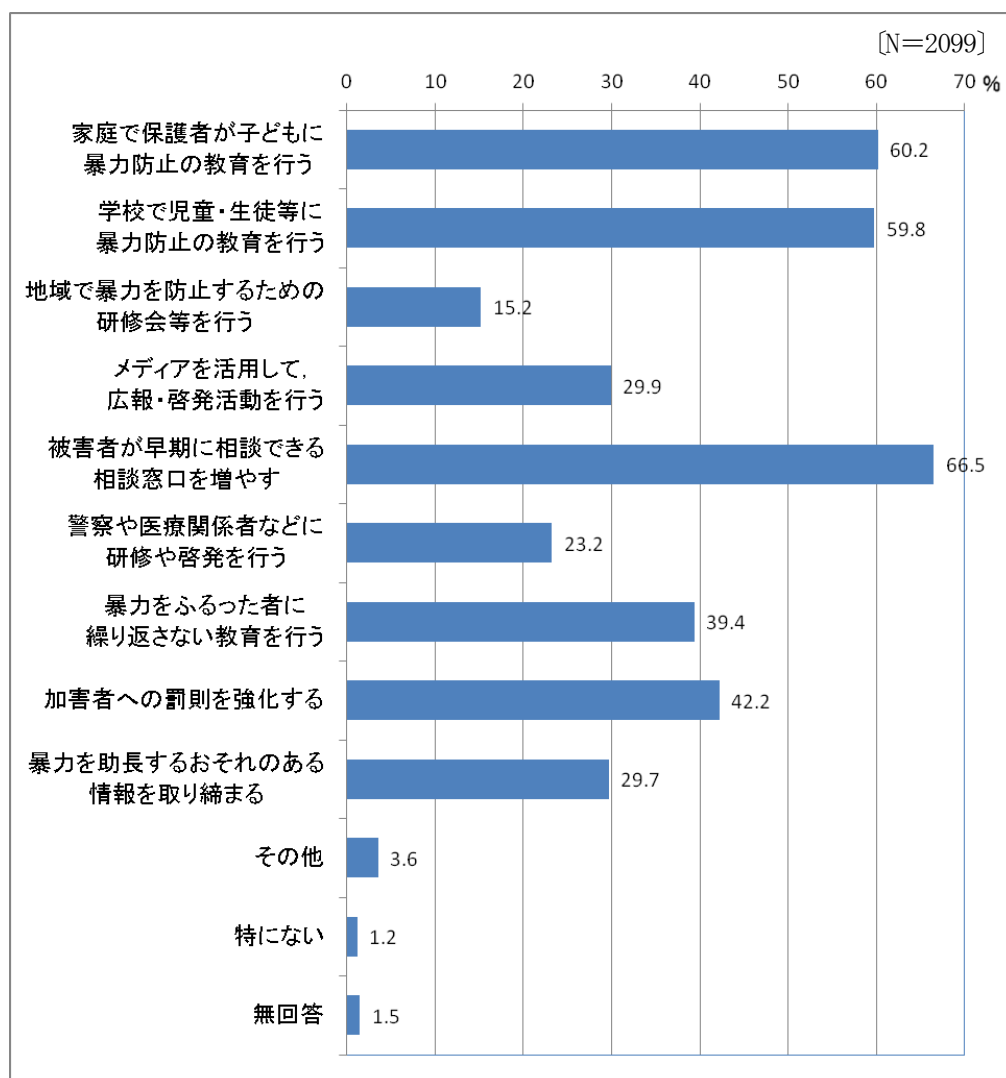
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人)	男性も女性も等しく介護するべき	女性のみ介護させないよう男性も協力するべき	女性に介護されるのを介護される者が望むため、 女性が介護するのも仕方がない	男性の就労時間等の現状から女性が介護するのも 仕方がない	女性の役割として当然である	その他	無回答
全 体		2099	581	1061	138	213	10	71	25
地 区	河北	649	188	325	34	66	2	26	8
	河南	284	82	141	19	26	0	10	6
	盛南	274	80	142	16	24	2	8	2
	厨川	462	130	230	37	43	2	15	5
	都南	339	76	184	24	36	4	11	4
	玉山	91	25	39	8	18	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
性 別	男	877	220	418	72	118	4	33	12
	女	1181	350	628	65	90	5	36	7
	無回答	41	11	15	1	5	1	2	6
年 齢	20～29 歳	153	45	67	7	20	1	10	3
	30～39 歳	288	76	135	14	39	1	21	2
	40～49 歳	297	82	139	25	40	1	10	0
	50～59 歳	376	108	197	21	37	2	10	1
	60～69 歳	442	107	248	40	34	2	8	3
	70 歳以上	520	159	264	29	41	3	11	13
	無回答	23	4	11	2	2	0	1	3

問 14 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。当てはまるものすべてに○を付けてください。

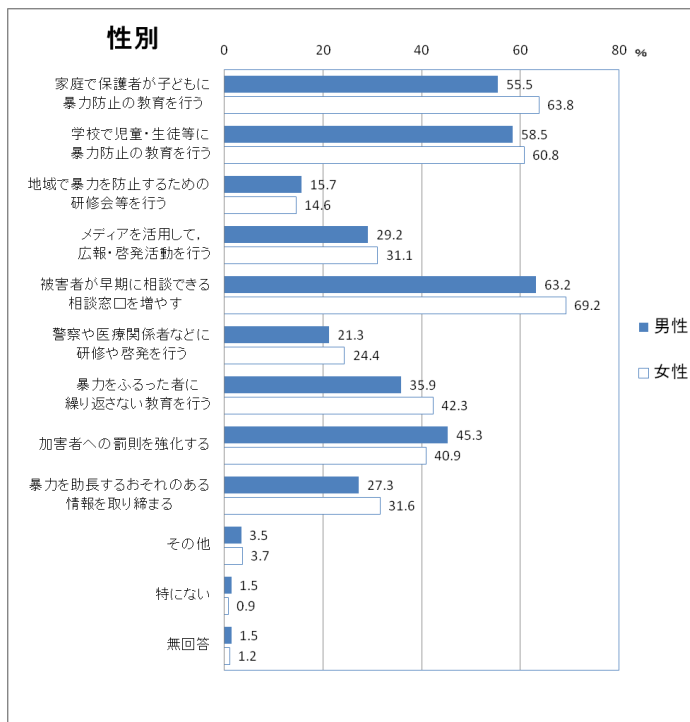
- 1 家庭で保護者が子どもに暴力防止の教育を行う
- 2 学校で児童・生徒等に暴力防止の教育を行う
- 3 地域で暴力を防止するための研修会等を行う
- 4 メディアを活用して、広報・啓発活動を行う
- 5 被害者が早期に相談できる相談窓口を増やす
- 6 警察や医療関係者などに研修や啓発を行う
- 7 暴力をふるった者に繰り返さない教育を行う
- 8 加害者への罰則を強化する
- 9 暴力を助長するおそれのある情報を取り締まる
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

【集計結果】



「被害者が早期に相談できる相談窓口を増やす」が 66.5%、「家庭で保護者が子どもに暴力防止の教育を行う」が 60.2%、「学校で児童・生徒等に暴力防止の教育を行う」が 59.8%、「加害者への罰則を強化する」が 42.2%、「暴力をふるった者に繰り返さない教育を行う」が 39.4%の順となっている。

男女間における暴力を防止するために、家庭や学校での予防教育、被害者が相談しやすい環境づくり、加害者への罰則強化や更生への施策が求められている。また、性別や年代により、必要と考えているものに差が見られる。



【性別】

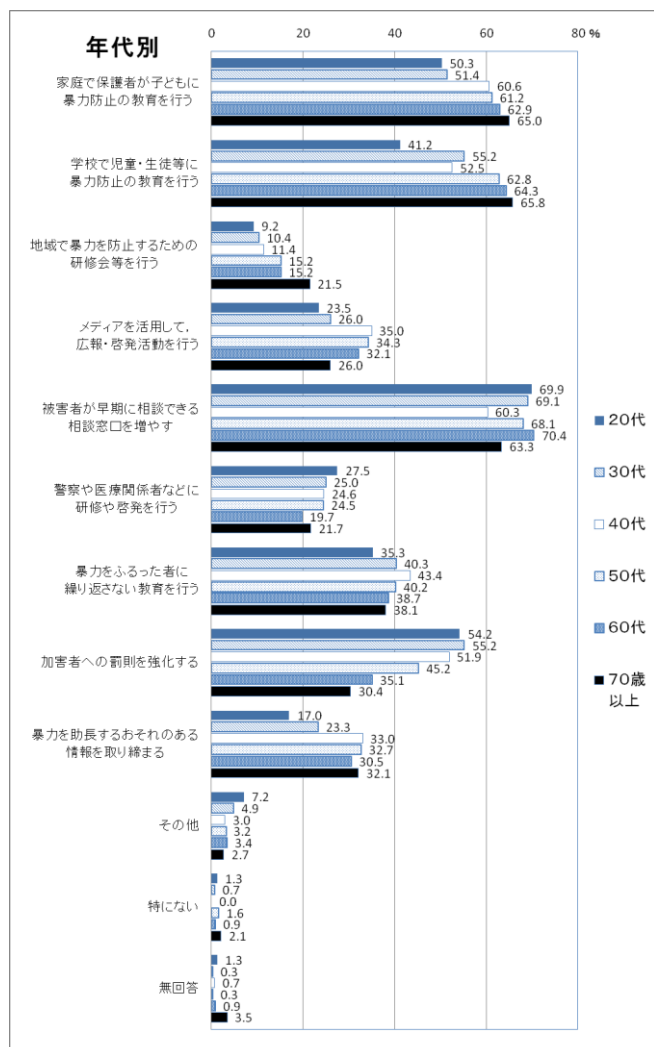
女性は「被害者が早期に相談できる相談窓口を増やす」、「家庭で保護者が子どもに暴力防止の教育を行う」、「暴力をふるった者に繰り返さない教育を行う」が、男性より比較的高くなっている。

一方、男性は「加害者への罰則を強化する」が、女性より高くなっている。

【年代別】

「家庭で保護者が子どもに暴力防止の教育を行う」「学校で児童・生徒等に暴力防止の教育を行う」は、20代が最も低くなり、「被害者が早期に相談できる相談窓口を増やす」は、40代が最も低くなっている。

一方、「加害者への罰則を強化する」は、20代から40代の若い世代が高くなっている。



※「その他」に記載された主なもの

- ・周囲の人が日頃から声をかけてあげられるような地域づくりを行えたら良い。
- ・生活や収入の向上が必要。
- ・第三者が介入できるシステムを作る。
- ・被害者が泣き寝入りや二次被害を受けないよう法整備，支援制度の見直し。

【地区別，性別，年齢別の回答数】

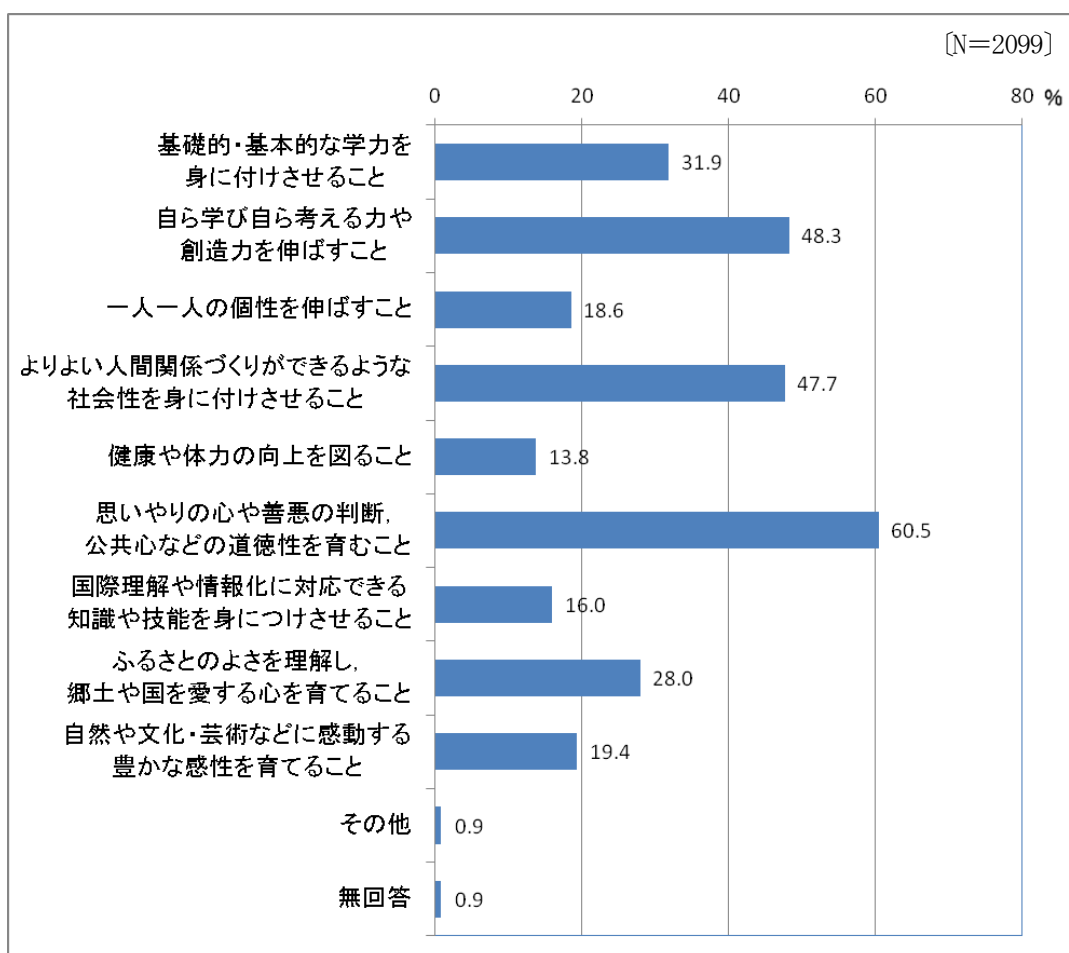
		実数（人）	家庭で保護者が子どもに暴力防止の教育を行う	学校で児童・生徒等に暴力防止の教育を行う	地域で暴力を防止するための研修会等を行う	メディアを活用して，広報・啓発活動を行う	被害者が早期に相談できる相談窓口を増やす	警察や医療関係者などに研修や啓発を行う	暴力を振るった者に繰り返さない教育を行う	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報を取り締まる	その他	特にない	無回答
全 体		2099	1263	1255	320	628	1395	486	826	886	624	75	25	32
地区	河北	649	389	398	86	191	437	145	260	275	203	32	3	8
	河南	284	180	170	46	83	185	68	115	124	72	10	4	7
	盛南	274	159	155	49	96	178	67	103	134	92	10	4	5
	厨川	462	291	276	72	134	307	115	185	185	145	8	8	7
	都南	339	198	207	49	99	231	72	132	142	85	10	4	4
	玉山	91	46	49	18	25	57	19	31	26	27	5	2	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性別	男	877	487	513	138	256	554	187	315	397	239	31	13	13
	女	1181	753	718	173	367	817	288	500	483	373	44	11	14
	無回答	41	23	24	9	5	24	11	11	6	12	0	1	5
年齢	20～29 歳	153	77	63	14	36	107	42	54	83	26	11	2	2
	30～39 歳	288	148	159	30	75	199	72	116	159	67	14	2	1
	40～49 歳	297	180	156	34	104	179	73	129	154	98	9	0	2
	50～59 歳	376	230	236	57	129	256	92	151	170	123	12	6	1
	60～69 歳	442	278	284	67	142	311	87	171	155	135	15	4	4
	70 歳以上	520	338	342	112	135	329	113	198	158	167	14	11	18
	無回答	23	12	15	6	7	14	7	7	7	8	0	0	4

テーマ4 盛岡の教育について

問15 これからの盛岡を担う人材を育成する教育で、どのようなことを大切にすべきと考えますか。
最も当てはまるものから3つまで○を付けてください。

- 1 基礎的・基本的な学力を身に付けさせること
- 2 自ら学び自ら考える力や創造力を伸ばすこと
- 3 一人一人の個性を伸ばすこと
- 4 よりよい人間関係づくりができるような社会性を身に付けさせること
- 5 健康や体力の向上を図ること
- 6 思いやりの心や善悪の判断、公共心などの道徳性を育むこと
- 7 国際理解や情報化に対応できる知識や技能を身に付けさせること
- 8 ふるさとのよさを理解し、郷土や国を愛する心を育てること
- 9 自然や文化・芸術などに感動する豊かな感性を育てること
- 10 その他 ()

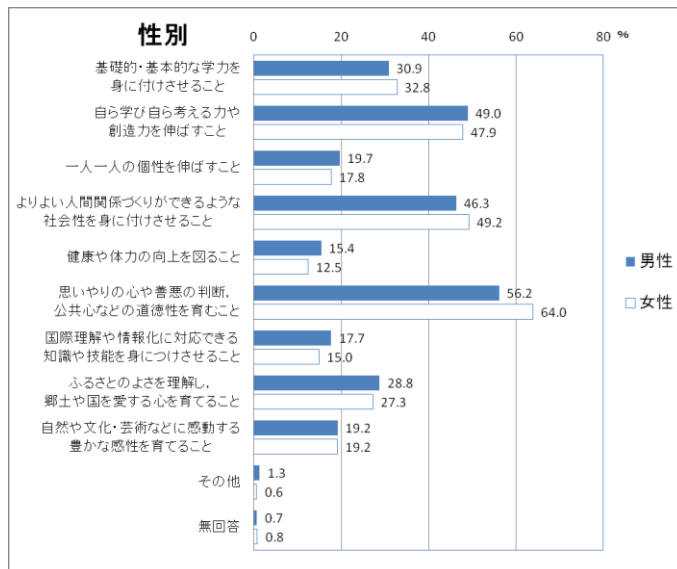
【集計結果】



「思いやりの心や善悪の判断、公共心などの道徳性を育むこと」が 60.5%と最も高く、「自ら学び自ら考える力や創造力を伸ばすこと」が 48.3%、「よりよい人間関係づくりができるような社会性を身に付けさせること」が 47.7%と続く。

学力や知識等を身に付けさせることよりも、人間性を育むための教育を求めていると考えられる。

また、平成 15 年度の同調査と比べて大きな変化はないが、「ふるさとのよさを理解し、郷土や国を愛する心を育てること」が 11 ポイント増加した。盛岡の先人教育に期待する声が増えたと考えられる。

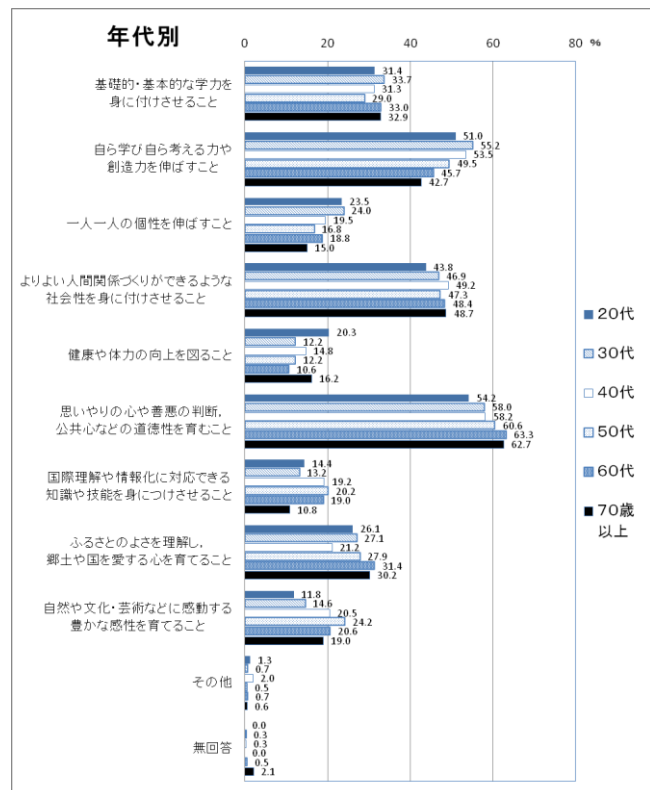


【性別】

女性の「思いやりの心や善悪の判断、公共心などの道徳性を育むこと」が64.0%と、男性の56.2%よりも高い。他の選択肢で男女の差は少ない。

【年代別】

「思いやりの心や善悪の判断、公共心などの道徳性を育むこと」や「よりよい人間関係づくりができるような社会性を身に付けさせること」といった人間性を育むための教育に関することが、年代が高くなるにつれて、割合が高くなる傾向がある。

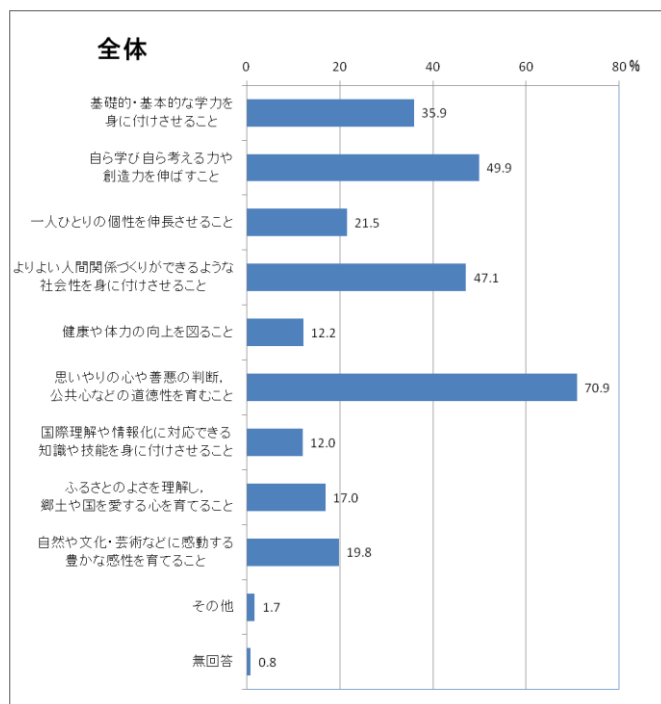


※「その他」に記載された主なもの

- ・縦のつながりを大切にする。
- ・スポーツにも力を入れる。
- ・しっかりした学ぶ施設が必要。
- ・発達障がいを受け入れられる教育の体制。
- ・社会・政治への関心を持つこと。
- ・経済的理由のために能力が発揮できない子供に、能力を伸ばす機会を与える。

【参考】

平成 15 年度市民意識調査の同設問の結果



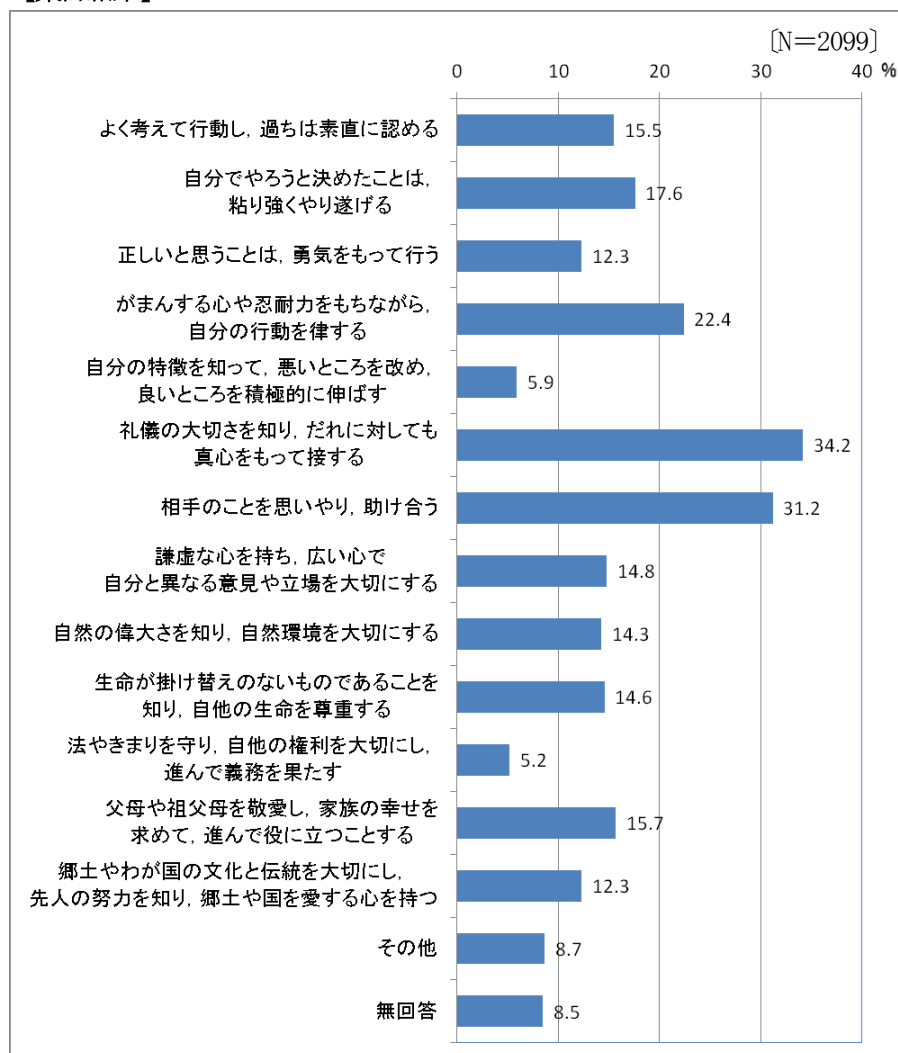
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数（人）	基礎的・基本的な学力を身に付けさせること	自ら学び自ら考える力や創造力を伸ばすこと	一人一人の個性を伸ばすこと	よりよい人間関係づくりができるような社会性を身に付けさせること	健康や体力の向上を図ること	道徳性を育むこと	思いやりの心や善悪の判断、公共心などの	国際理解や情報化に対応できる知識や技能を身に付けさせること	ふるさとのよさを理解し、郷土や国を愛する心を育てること	自然や文化・芸術などに感動する豊かな感性を育てること	その他	無回答
全 体		2099	669	1014	391	1002	289	1270	336	587	408	18	18	
地区	河北	649	205	315	122	312	87	382	118	178	126	5	7	
	河南	284	101	133	46	123	41	165	45	84	68	5	2	
	盛南	274	89	150	48	121	32	158	44	81	52	4	1	
	厨川	462	146	216	78	236	68	293	76	123	87	2	4	
	都南	339	96	167	73	168	49	212	37	94	62	1	4	
	玉山	91	32	33	24	42	12	60	16	27	13	1	0	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
性別	男	877	271	430	173	406	135	493	155	253	168	11	6	
	女	1181	387	566	210	581	148	756	177	323	227	7	9	
	無回答	41	11	18	8	15	6	21	4	11	13	0	3	
年齢	20～29 歳	153	48	78	36	67	31	83	22	40	18	2	0	
	30～39 歳	288	97	159	69	135	35	167	38	78	42	2	1	
	40～49 歳	297	93	159	58	146	44	173	57	63	61	6	1	
	50～59 歳	376	109	186	63	178	46	228	76	105	91	2	0	
	60～69 歳	442	146	202	83	214	47	280	84	139	91	3	2	
	70 歳以上	520	171	222	78	253	84	326	56	157	99	3	11	
	無回答	23	5	8	4	9	2	13	3	5	6	0	3	

問 16 子どもの「心の教育」についてお尋ねします。盛岡の子どもたちのよいと思われる点は何ですか。最も当てはまるものから3つまで○を付けてください。

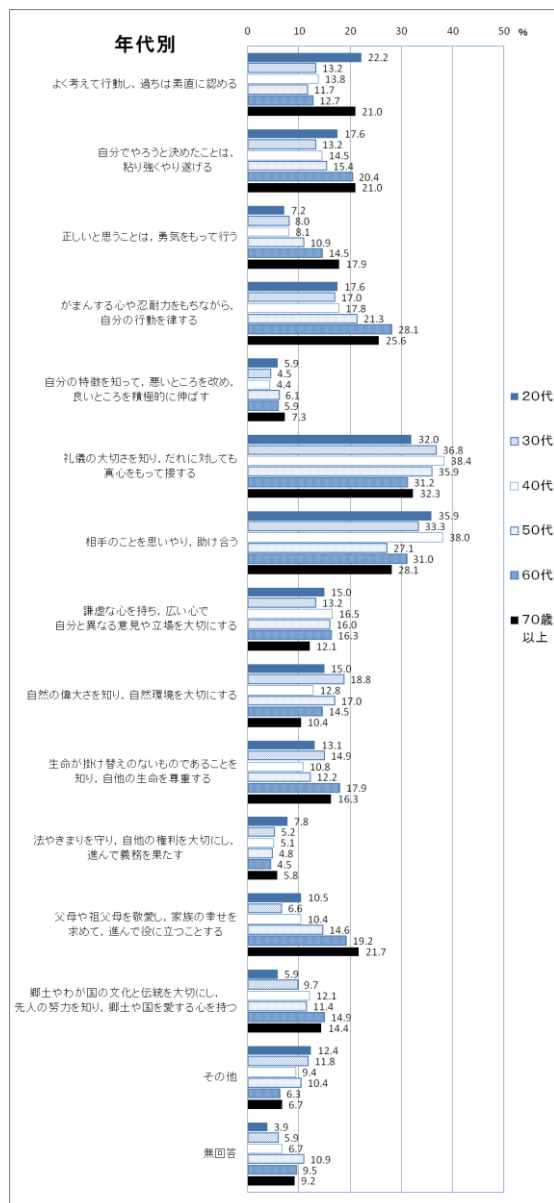
- 1 よく考えて行動し、過ちは素直に認める
- 2 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる
- 3 正しいと思うことは、勇気をもって行う
- 4 がまんする心や忍耐力をもちながら、自分の行動を律する
- 5 自分の特徴を知って、悪いところを改め、良いところを積極的に伸ばす
- 6 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する
- 7 相手のことを思いやり、助け合う
- 8 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする
- 9 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする
- 10 生命が掛け替えのないものであることを知り、自他の生命を尊重する
- 11 法やきまりを守り、自他の権利を大切にし、進んで義務を果たす
- 12 父母や祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする
- 13 郷土やわが国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心を持つ
- 14 その他（ ）

【集計結果】



「礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する」が 34.2%と最も高く、「相手のことを思いやり、助け合う」が 31.2%と続く。

他者との関わり方に関する項目が、盛岡の子どもたちのよいところと認識されている。



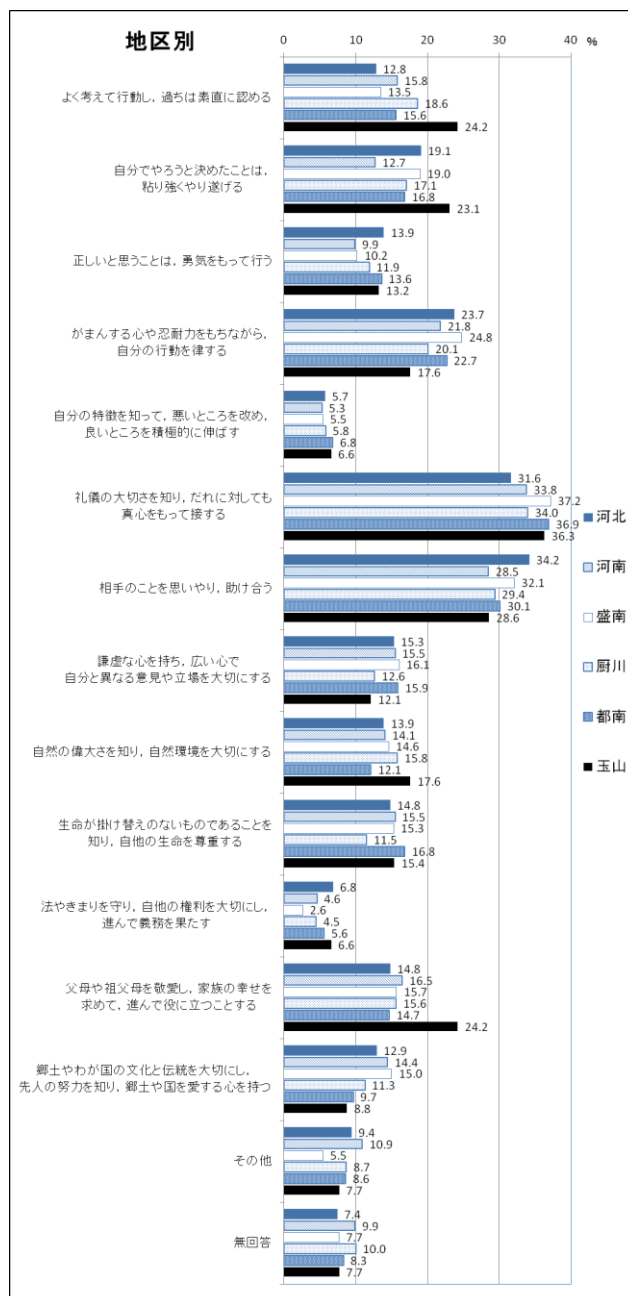
【地区別】

玉山区において、「父母や祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つこととする」が24.2%で、他の地区よりも7ポイント以上高い。

玉山区は、世帯当たりの人数が多く、祖父母同居世帯が多いと考えられるため、他の地区よりも当該選択肢を実感していると考えられる。

【年代別】

「父母や祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つこととする」、「がまんする心や忍耐力をもちながら、自分の行動を律する」、「正しいと思うことは、勇気をもって行う」が、年代が高くなるにつれて、割合が高くなる傾向がある。



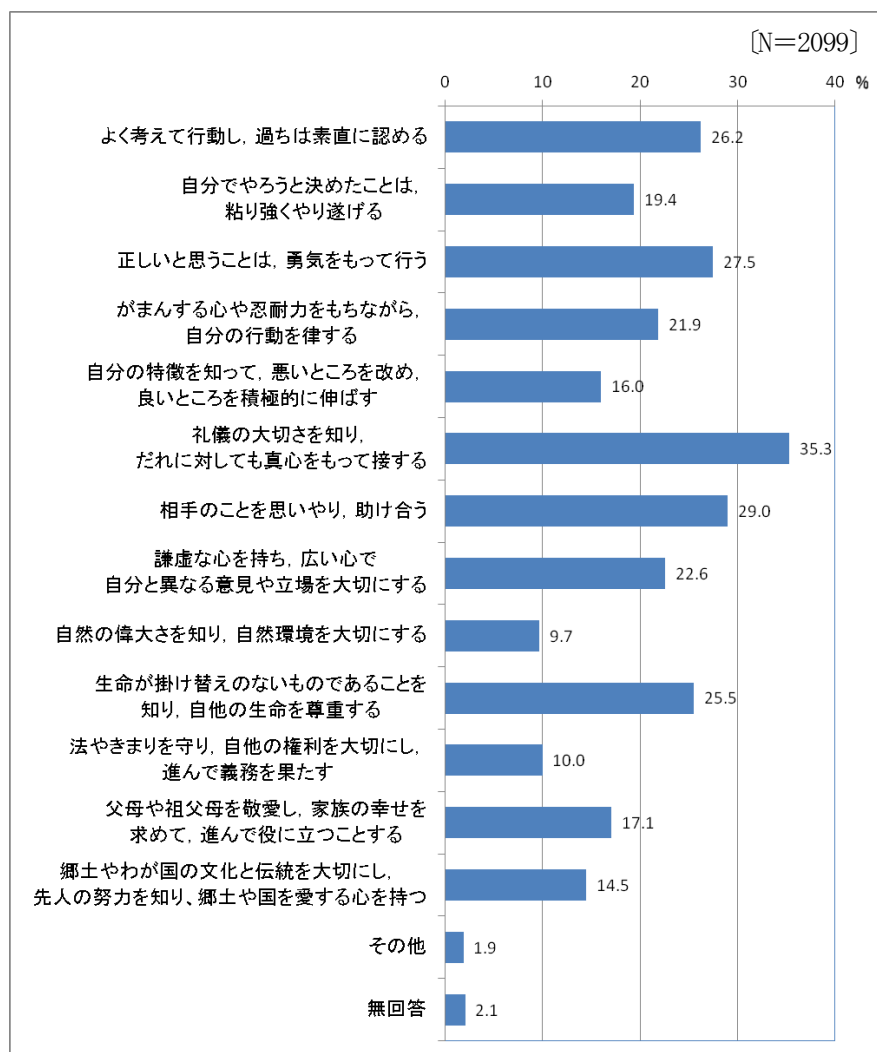
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数（人）	よく考えて行動し、過ちは素直に認める	粘り強くやり遂げる	自分でやろうと決めたことは、	正しいと思うことは、勇気をもって行う	自分の行動を律する	がまんする心や忍耐力をもちながら、	良いところを積極的に伸ばす	自分の特徴を知って、悪いところを改め、	もって接する	礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する	相手のことを思いやり、助け合う	謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切に	自然の偉大さを知り、自然環境を大切に	自他の生命を尊重する	生命が掛け替えのないものであることを知り、自他の生命を尊重する	進んで義務を果たす	法やきまりを守り、自他の権利を大切に、進んで役に立つことを	父母や祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、	郷土やわが国の文化と伝統を大切に、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心を持つ	その他	無回答
全 体		2099	326	369	259	470	123	718	655	310	300	306	110	330	259	183	178						
地区	河北	649	83	124	90	154	37	205	222	99	90	96	44	96	84	61	48						
	河南	284	45	36	28	62	15	96	81	44	40	44	13	47	41	31	28						
	盛南	274	37	52	28	68	15	102	88	44	40	42	7	43	41	15	21						
	厨川	462	86	79	55	93	27	157	136	58	73	53	21	72	52	40	46						
	都南	339	53	57	46	77	23	125	102	54	41	57	19	50	33	29	28						
	玉山	91	22	21	12	16	6	33	26	11	16	14	6	22	8	7	7						
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
性別	男	877	133	160	117	213	52	298	272	141	116	121	61	119	105	84	71						
	女	1181	185	202	140	245	69	406	375	161	176	182	49	197	149	98	100						
	無回答	41	8	7	2	12	2	14	8	8	8	3	0	14	5	1	7						
年齢	20～29 歳	153	34	27	11	27	9	49	55	23	23	20	12	16	9	19	6						
	30～39 歳	288	38	38	23	49	13	106	96	38	54	43	15	19	28	34	17						
	40～49 歳	297	41	43	24	53	13	114	113	49	38	32	15	31	36	28	20						
	50～59 歳	376	44	58	41	80	23	135	102	60	64	46	18	55	43	39	41						
	60～69 歳	442	56	90	64	124	26	138	137	72	64	79	20	85	66	28	42						
	70 歳以上	520	109	109	93	133	38	168	146	63	54	85	30	113	75	35	48						
	無回答	23	4	4	3	4	1	8	6	5	3	1	0	11	2	0	4						

問 17 盛岡の子どもたちに身に付けさせたいと思われる点は何ですか。最も当てはまるものから3つまで○を付けてください。

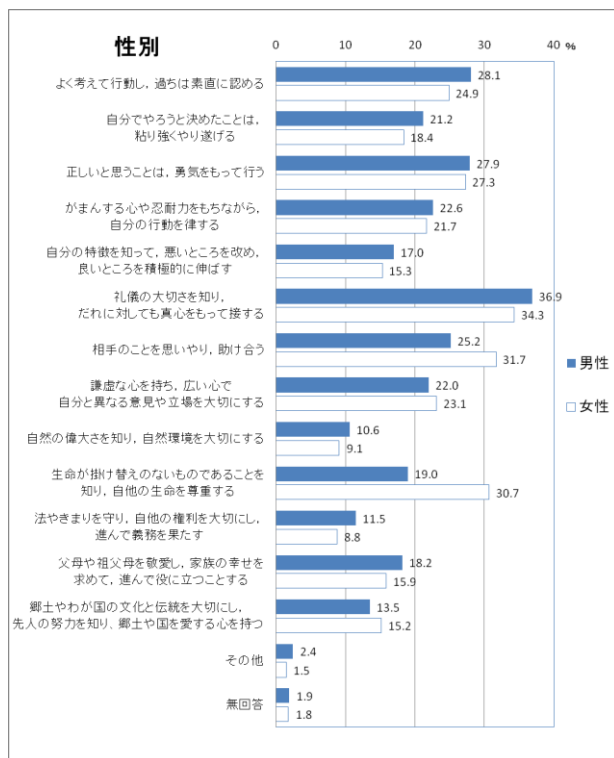
- 1 よく考えて行動し、過ちは素直に認める
- 2 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる
- 3 正しいと思うことは、勇気をもって行う
- 4 がまんする心や忍耐力をもちながら、自分の行動を律する
- 5 自分の特徴を知って、悪いところを改め、良いところを積極的に伸ばす
- 6 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する
- 7 相手のことを思いやり、助け合う
- 8 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする
- 9 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする
- 10 生命が掛け替えのないものであることを知り、自他の生命を尊重する
- 11 法やきまりを守り、自他の権利を大切にし、進んで義務を果たす
- 12 父母や祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする
- 13 郷土やわが国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心を持つ
- 14 その他（ ）

【集計結果】



「礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する」が 35.3%と最も高く、「相手のことを思いやり、助け合う」が 29.0%と続く。

全体的に設問 16 と同様の結果になっており、盛岡の子どもたちのよいところを好意的に捉え、今後も身に付けさせたいと考えていると言える。

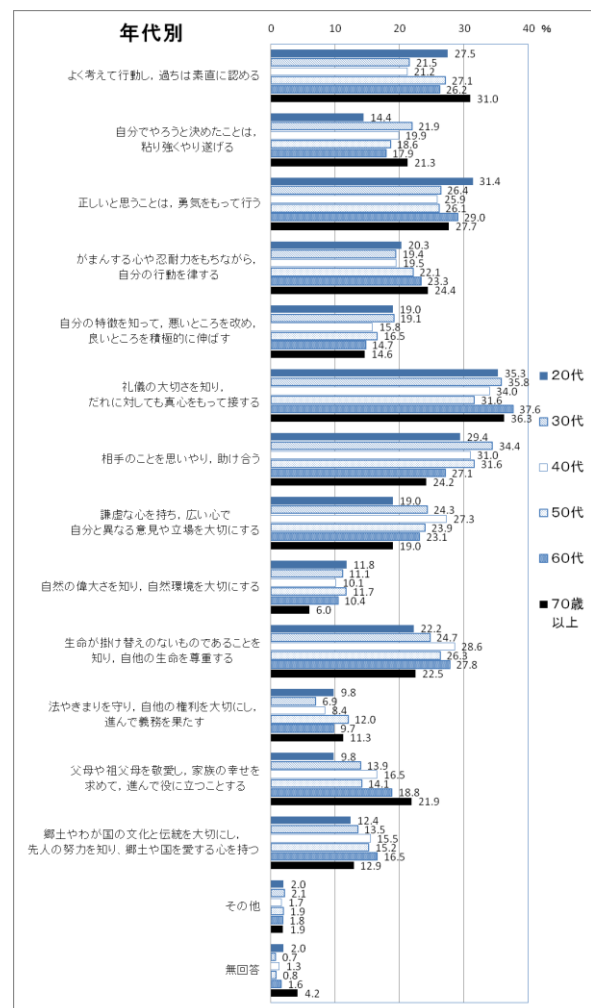


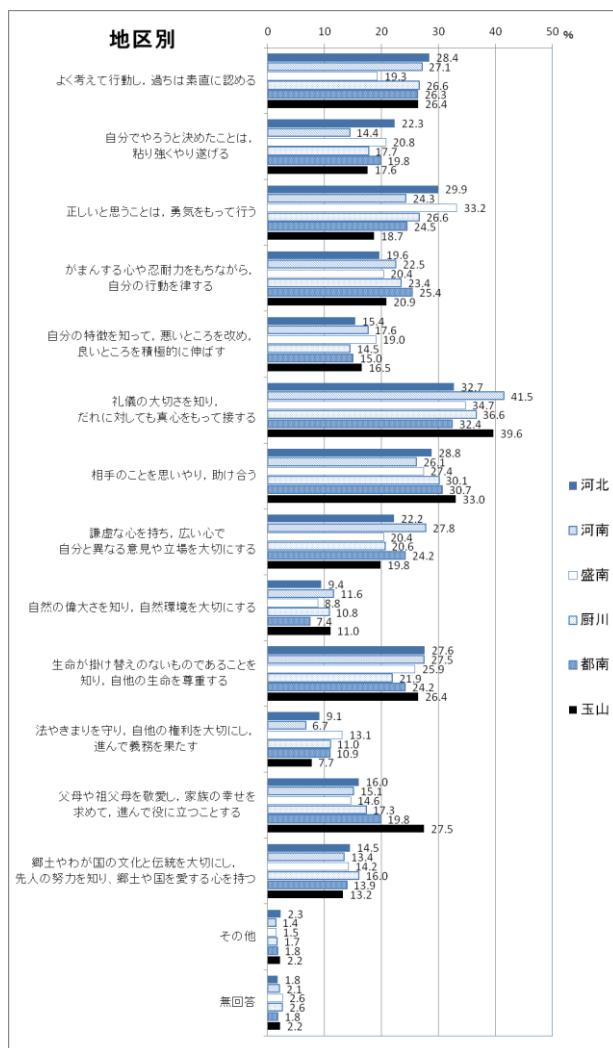
【性別】

男女間で、「生命が掛け替えのないものであることを知り、自他の生命を尊重する」が 11.7 ポイント、「相手のことを思いやり、助け合う」が 6.5 ポイントと開きがあり、いずれも女性の割合が高い。

【年代別】

「父母や祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つこととする」、「がまんする心や忍耐力をもちながら、自分の行動を律する」が、年代が高くなるにつれて、割合が高くなる傾向があり、設問 16 と同様の結果になった。





【地区別】

玉山区において、「父母や祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つこととする」が27.5%で、他の地区に比べて7ポイント以上高く、設問16と同様の結果になった。

※「その他」に記載された主なもの

- ・柔軟な思考。
- ・国際的視野に立てる経験。
- ・基礎的な学力や幅広い知識。

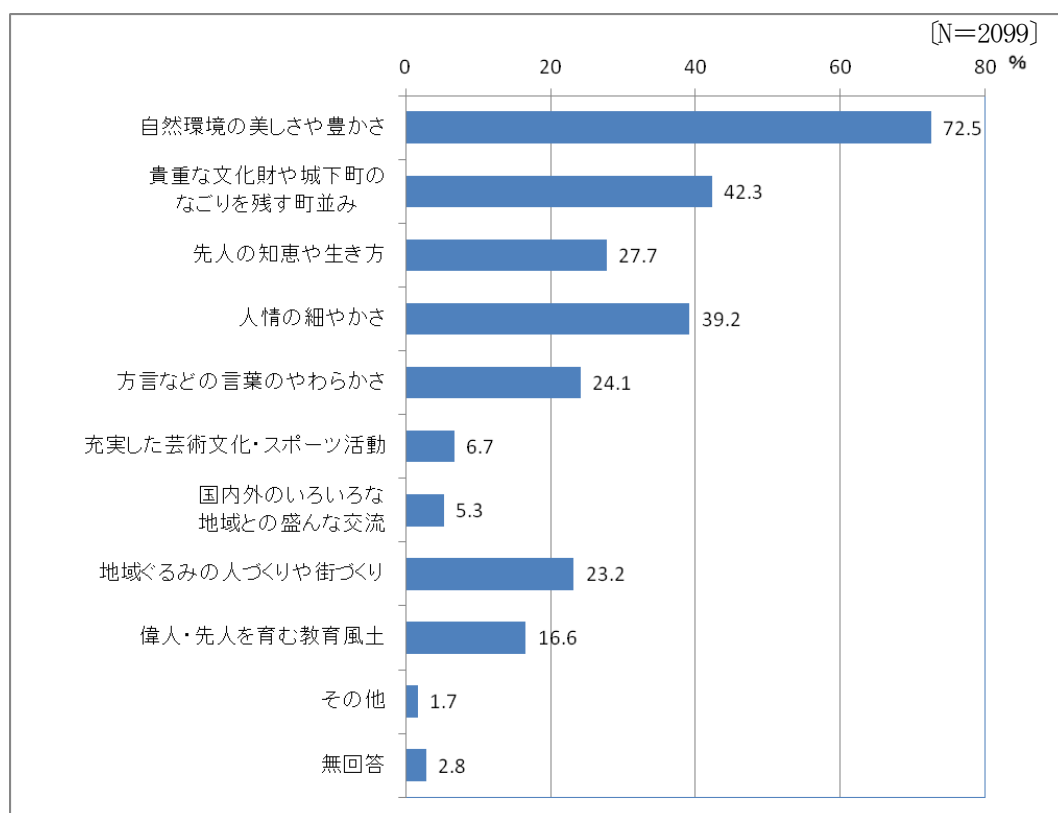
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数（人）	よく考えて行動し、過ちは素直に認める	粘り強くやり遂げる	自分でやろうと決めたことは、正しいと思うことは、勇気をもって行う	がまんする心や忍耐力をもちながら、自分の行動を律する	良いところを積極的に伸ばす	真心をもって接する	礼儀の大切さを知り、だれに対しても	相手のことを思いやり、助け合う	立場を大切にする	謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や	自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする	生命が掛け替えのないものであることを知り、自他の生命を尊重する	法やきまりを守り、自他の権利を大切にし、進んで義務を果たす	進んで役に立つことをする	父母や祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、	先人の努力を知り、郷土や国を愛する心を持つ	郷土やわが国の文化と伝統を大切にし、	その他	無回答
全	体	2099	550	408	577	460	335	740	609	474	203	535	209	359	304	39	45				
地区	河北	649	184	145	194	127	100	212	187	144	61	179	59	104	94	15	12				
	河南	284	77	41	69	64	50	118	74	79	33	78	19	43	38	4	6				
	盛南	274	53	57	91	56	52	95	75	56	24	71	36	40	39	4	7				
	厨川	462	123	82	123	108	67	169	139	95	50	101	51	80	74	8	12				
	都南	339	89	67	83	86	51	110	104	82	25	82	37	67	47	6	6				
	玉山	91	24	16	17	19	15	36	30	18	10	24	7	25	12	2	2				
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
性別	男	877	246	186	245	198	149	324	221	193	93	167	101	160	118	21	17				
	女	1181	294	217	322	256	181	405	374	273	108	362	104	188	179	18	21				
	無回答	41	10	5	10	6	5	11	14	8	2	6	4	11	7	0	7				
年齢	20～29 歳	153	42	22	48	31	29	54	45	29	18	34	15	15	19	3	3				
	30～39 歳	288	62	63	76	56	55	103	99	70	32	71	20	40	39	6	2				
	40～49 歳	297	63	59	77	58	47	101	92	81	30	85	25	49	46	5	4				
	50～59 歳	376	102	70	98	83	62	119	119	90	44	99	45	53	57	7	3				
	60～69 歳	442	116	79	128	103	65	166	120	102	46	123	43	83	73	8	7				
	70 歳以上	520	161	111	144	127	76	189	126	99	31	117	59	114	67	10	22				
	無回答	23	4	4	6	2	1	8	8	3	2	6	2	5	3	0	4				

問18 子どもに伝えたい「盛岡のよさや誇り」は何ですか。最も当てはまるものから
3つまで○を付けてください。

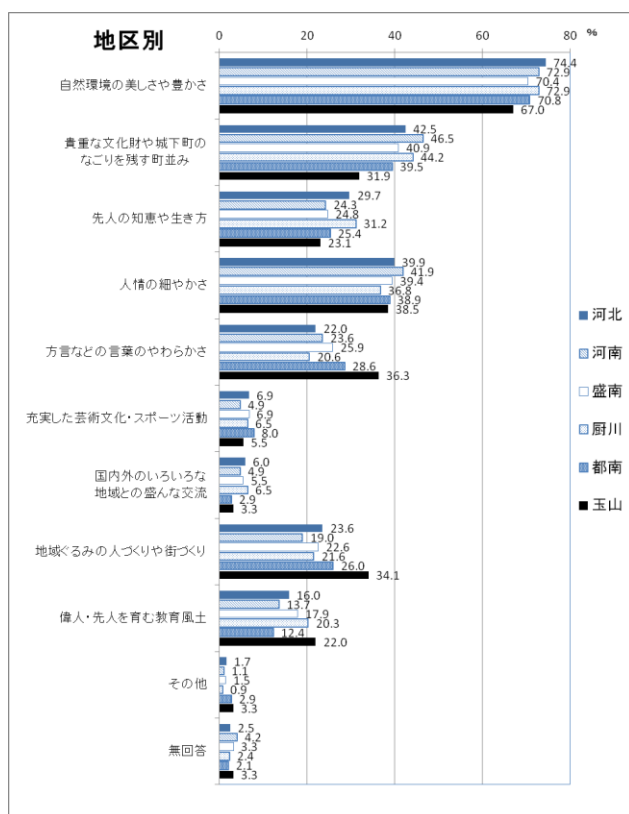
- 1 自然環境の美しさや豊かさ
- 2 貴重な文化財や城下町のなごりを残す街並み
- 3 先人の知恵や生き方
- 4 人情の細やかさ
- 5 方言などの言葉のやわらかさ
- 6 充実した芸術文化・スポーツ活動
- 7 国内外のいろいろな地域との盛んな交流
- 8 地域ぐるみの人づくりや街づくり
- 9 偉人・先人を育む教育風土
- 10 その他 ()

【集計結果】



「自然環境の美しさや豊かさ」が 72.5%で最も高く、「貴重な文化財や城下町のなごりを残す街並み」が 42.3%、「人情の細やかさ」が 39.2%と続き、平成 15 年度の調査と同じ傾向となった。

「盛岡のよさや誇り」を何と考えるかについては、10 年経っても変わっていないことがわかる。



【地区別】

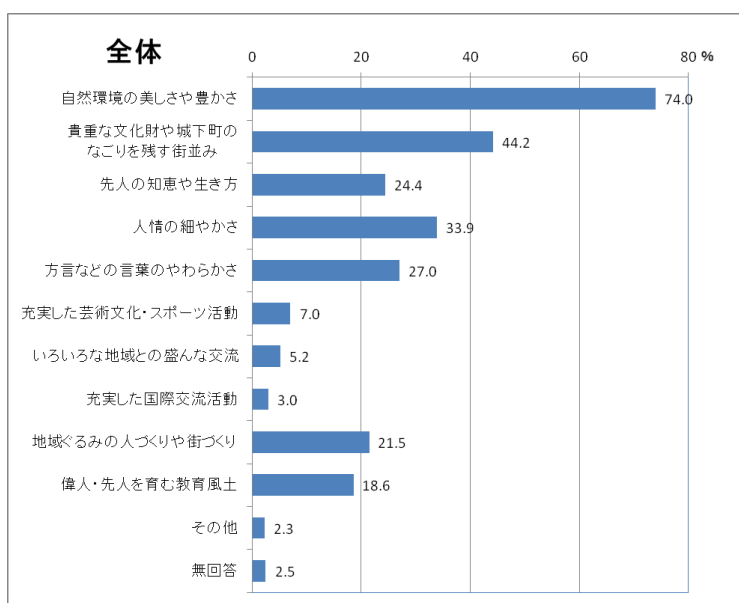
玉山区において「地域ぐるみの人づくりや街づくり」が34.1%と他の地区よりも8ポイント以上高い。玉山区の地域のつながりの強さがうかがわれる。

※「その他」に記載された主なもの

- ・地域のお祭り。
- ・食文化。
- ・自然との調和。

【参考】

平成 15 年度市民意識調査の同設問の結果



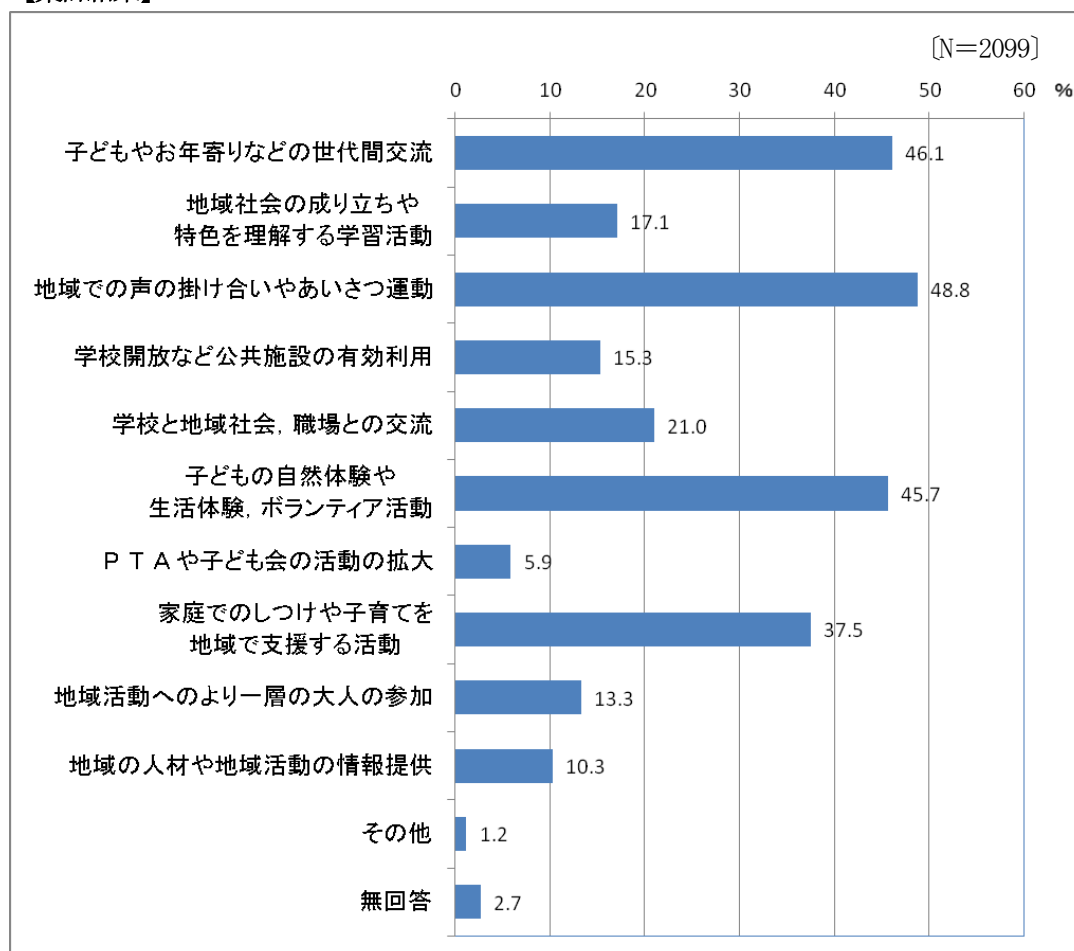
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人数)	自然環境の美しさや豊かさ	貴重な文化財や城下町のなごりを残す街並み	先人の知恵や生き方	人情の細やかさ	方言などの言葉のやわらかさ	充実した芸術文化・スポーツ活動	国内外のいろいろな地域との盛んな交流	地域ぐるみの人づくりや街づくり	偉人・先人を育む教育風土	その他	無回答
全 体		2099	1521	887	581	823	506	140	111	488	348	35	58
地 区	河北	649	483	276	193	259	143	45	39	153	104	11	16
	河南	284	207	132	69	119	67	14	14	54	39	3	12
	盛南	274	193	112	68	108	71	19	15	62	49	4	9
	厨川	462	337	204	144	170	95	30	30	100	94	4	11
	都南	339	240	134	86	132	97	27	10	88	42	10	7
	玉山	91	61	29	21	35	33	5	3	31	20	3	3
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性 別	男	877	640	344	251	354	226	59	37	178	153	19	25
	女	1181	857	522	320	456	273	79	71	297	186	16	28
	無回答	41	24	21	10	13	7	2	3	13	9	0	5
年 齢	20～29 歳	153	99	61	27	77	32	15	7	28	20	4	2
	30～39 歳	288	217	124	57	108	82	17	10	45	34	10	5
	40～49 歳	297	229	122	90	121	60	15	6	50	31	9	6
	50～59 歳	376	280	155	106	146	106	21	19	90	61	5	3
	60～69 歳	442	320	190	124	173	111	28	23	126	87	7	17
	70 歳以上	520	367	220	173	194	107	42	43	145	109	0	22
	無回答	23	9	15	4	4	8	2	3	4	6	0	3

問 19 地域と学校との結び付きや地域での子育て支援などがますます大切になっています。地域の教育力を高めていくため、今後、取組が必要だと思うことは何ですか。
最も当てはまるものから3つまで○を付けてください。

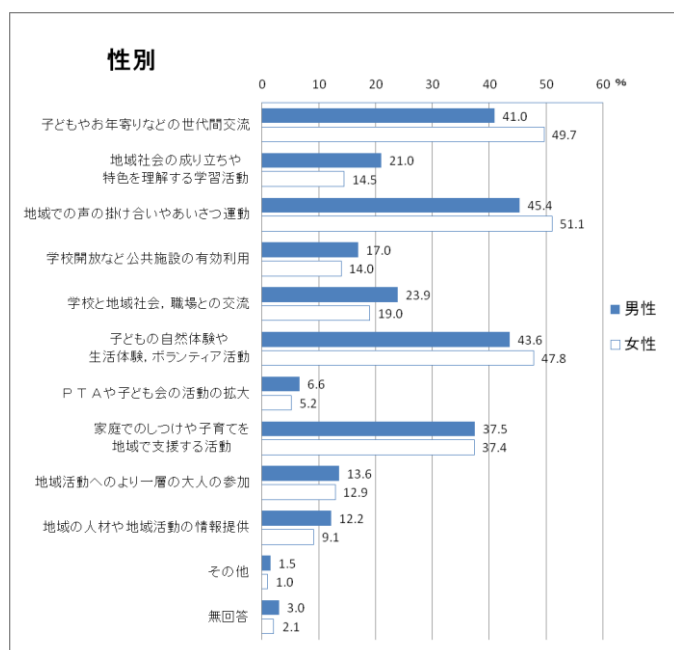
- 1 子どもやお年寄りなどの世代間交流
- 2 地域社会の成り立ちや特色を理解する学習活動
- 3 地域での声の掛け合いやあいさつ運動
- 4 学校開放など公共施設の有効利用
- 5 学校と地域社会、職場との交流
- 6 子どもの自然体験や生活体験、ボランティア活動
- 7 PTAや子ども会の活動の拡大
- 8 家庭でのしつけや子育てを地域で支援する活動
- 9 地域活動へのより一層の大人の参加
- 10 地域の人材や地域活動の情報提供
- 11 その他（ ）

【集計結果】



「地域での声の掛け合いやあいさつ運動」が48.8%と最も高く、「子どもやお年寄りなどの世代間交流」が46.1%と続くことから、普段からの地域の人々とのつながりを重要視する傾向がうかがわれる。

また、平成15年度の調査と比べ、「地域での声の掛け合いやあいさつ運動」が48.8%と5.5ポイント増加した。身近ですぐにできることから行おうとする意識が働いていると考えられる。



【性別】

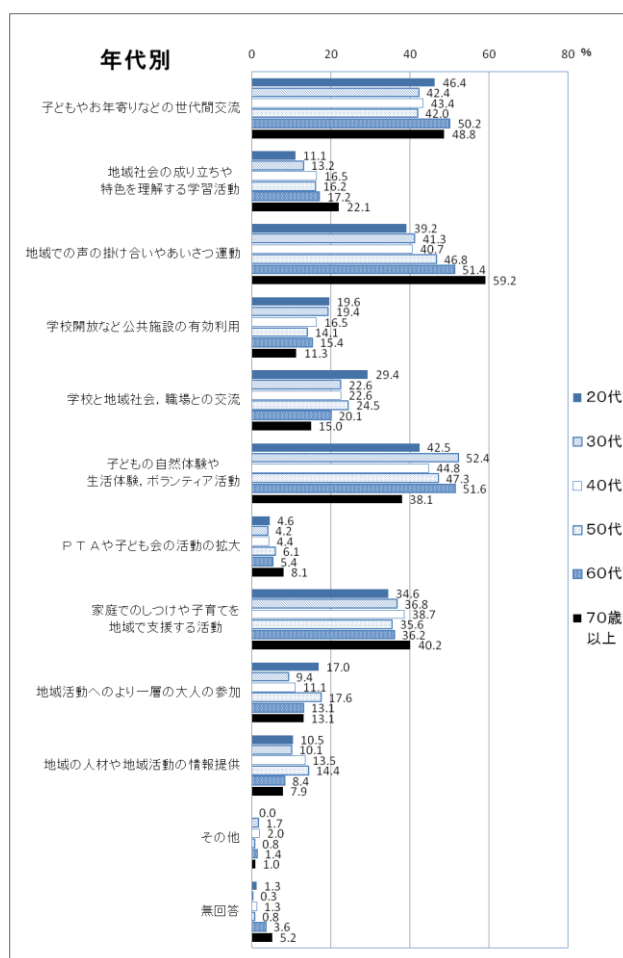
男性は「地域社会の成り立ちや特色を理解する学習活動」、「学校と地域社会、職場との交流」が女性よりも比較的高い。

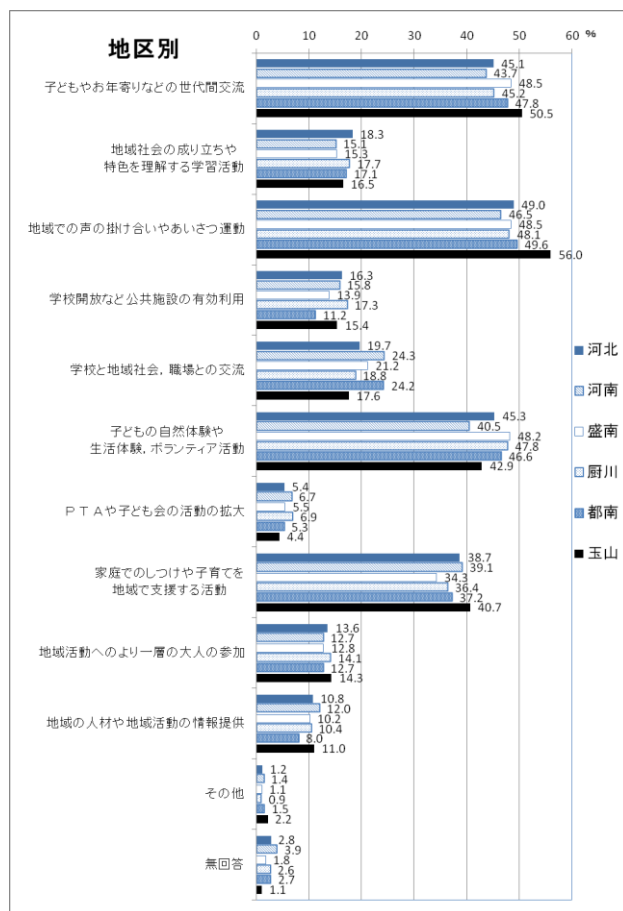
女性は「子どもやお年寄りなどの世代間交流」、「地域での声の掛け合いやあいさつ運動」が男性よりも比較的高い。

【年代別】

「地域での声の掛け合いやあいさつ運動」、「地域社会の成り立ちや特色を理解する学習活動」が、年代が高くなるにつれて、割合が高くなる傾向がある。

また「学校と地域社会、職場との交流」、「学校開放など公共施設の有効利用」は、年代が低くなるにつれて、割合が高くなる傾向がある。





【地区別】

玉山区において、「地域での声の掛け合いやあいさつ運動」が、56.0%と他の地区よりも6ポイント以上高い。

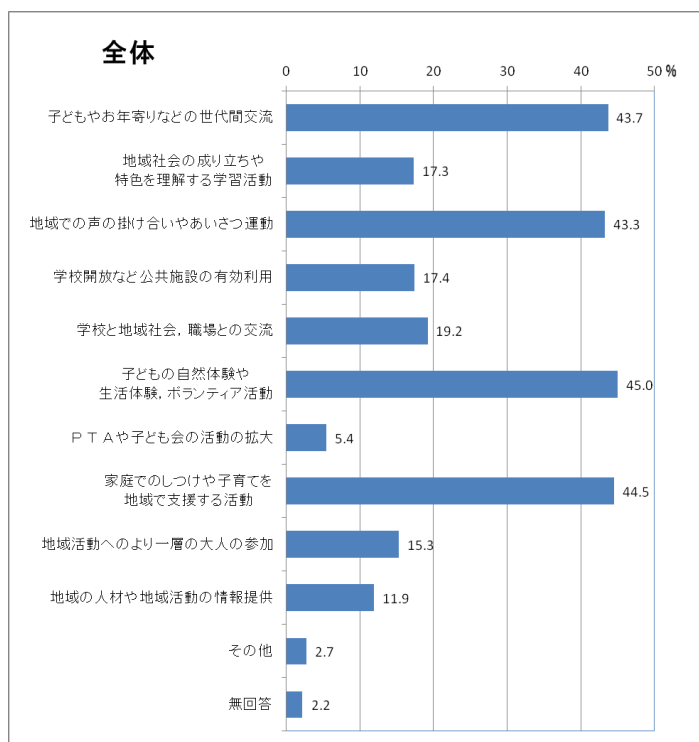
玉山区の地域のつながりの強さがうかがわれる。

※参考：「その他」に記載された主なもの

- ・親への教育が必要。
- ・子どもを持つ親たちの地域参加。

【参考】

平成 15 年度市民意識調査の同設問の結果



【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人)	子どもやお年寄りなどの世代間交流	地域社会の成り立ちや特色を理解する学習活動	地域での声の掛け合いやあいさつ運動	学校開放など公共施設の有効利用	学校と地域社会、職場との交流	子どもの自然体験や生活体験、ボランティア活動	P T Aや子ども会の活動の拡大	家庭でのしつけや子育てを地域で支援する活動	地域活動へのより一層の大人の参加	地域の人材や地域活動の情報提供	その他	無回答
全 体		2099	967	359	1024	321	440	959	123	787	280	217	26	56
地区	河北	649	293	119	318	106	128	294	35	251	88	70	8	18
	河南	284	124	43	132	45	69	115	19	111	36	34	4	11
	盛南	274	133	42	133	38	58	132	15	94	35	28	3	5
	尉川	462	209	82	222	80	87	221	32	168	65	48	4	12
	都南	339	162	58	168	38	82	158	18	126	43	27	5	9
	玉山	91	46	15	51	14	16	39	4	37	13	10	2	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性別	男	877	360	184	398	149	210	382	58	329	119	107	13	26
	女	1181	587	171	603	165	224	565	61	442	152	108	12	25
	無回答	41	20	4	23	7	6	12	4	16	9	2	1	5
年齢	20～29 歳	153	71	17	60	30	45	65	7	53	26	16	0	2
	30～39 歳	288	122	38	119	56	65	151	12	106	27	29	5	1
	40～49 歳	297	129	49	121	49	67	133	13	115	33	40	6	4
	50～59 歳	376	158	61	176	53	92	178	23	134	66	54	3	3
	60～69 歳	442	222	76	227	68	89	228	24	160	58	37	6	16
	70 歳以上	520	254	115	308	59	78	198	42	209	68	41	5	27
	無回答	23	11	3	13	6	4	6	2	10	2	0	1	3

テーマ5 生涯学習について

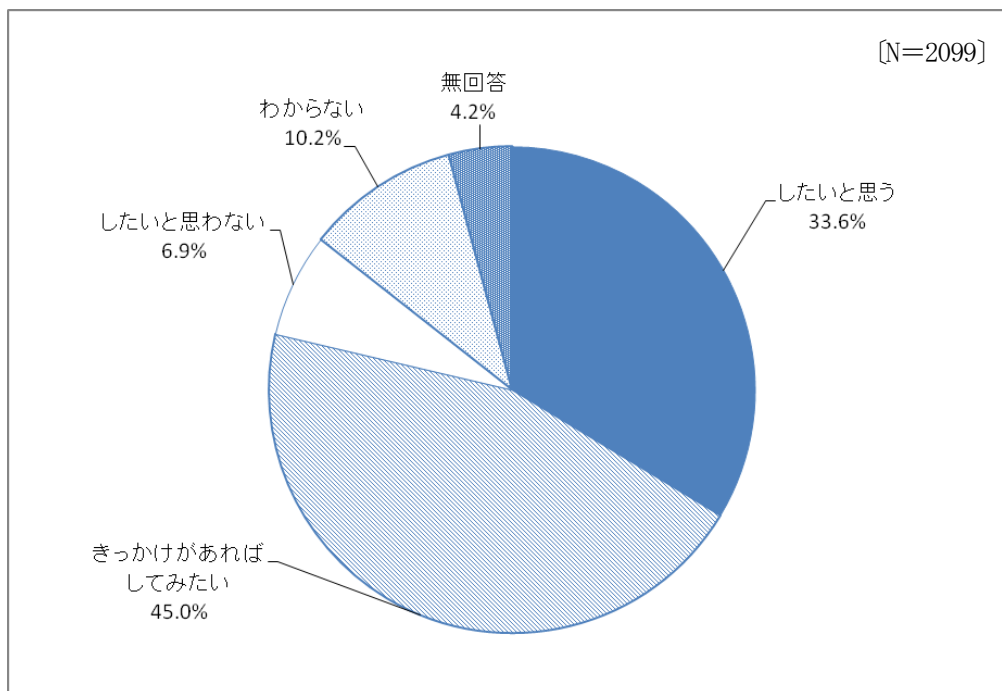
問20 機会があれば学習したいと考えていますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- 1 したいと思う
- 2 きっかけがあればしてみたい
- 3 したいと思わない
- 4 わからない

1か2を選んだ方は、問21へ進んでください

3か4を選んだ方は、問22へ進んでください

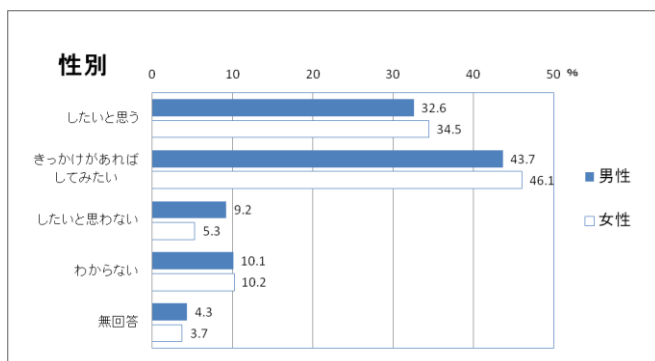
【集計結果】



「したいと思う」が33.6%、「きっかけがあればしてみたい」が45.0%であり、78.6%の人が学習について意欲や関心を持っている。

詳細なニーズを把握し、マッチングを行うことで、学習活動への参加を促進できると考えられる。

一方で「したいと思わない」が6.9%あり、一定数存在する学習への意思を持たない層に対しても意識啓発を考える必要がある。



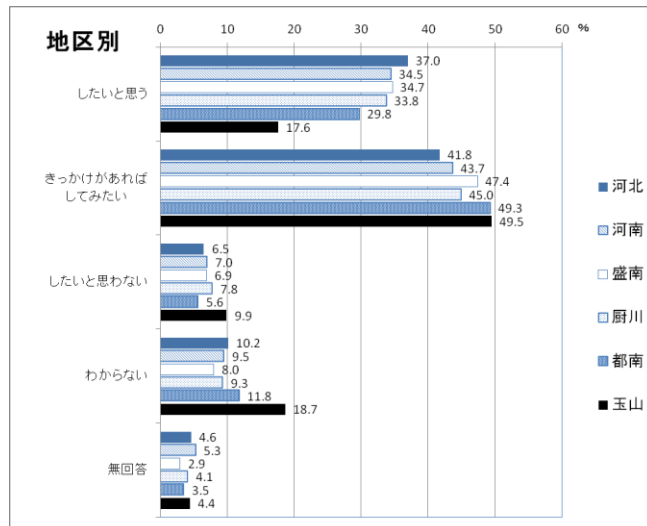
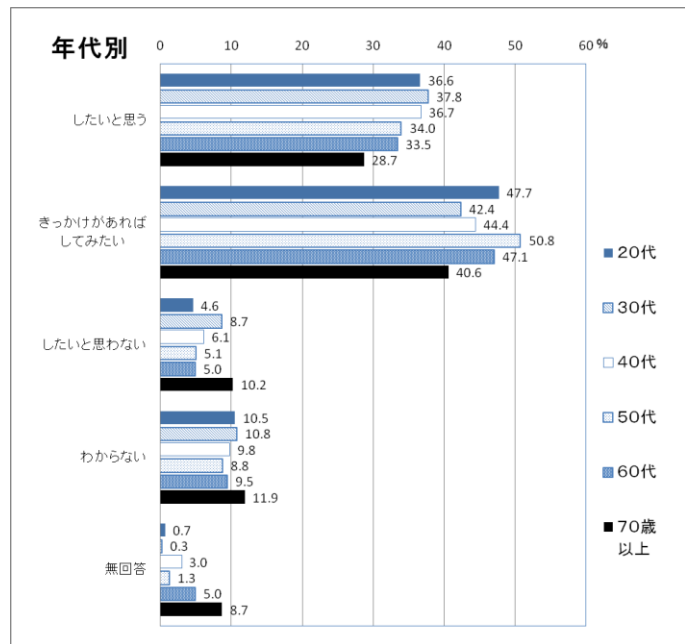
【性別】

男女における傾向はほぼ同じであるが、学習に対する関心は女性の方がやや高いと考えられる。

【年代別】

70歳以上の年齢層においては「したいと思う」「きっかけがあればしてみたい」は他の年代と比べて最も低く、「したいと思わない」が他の年代と比べて最も高い。

このことから、いわゆる高齢者層に向けた学習メニューの開発などの工夫が必要と考えられる。



【地区別】

玉山区において「したいと思う」が17.6%と顕著に低く、学習への関心が低かった。その一方で「わからない」の割合が比較的高い。

このことから、関心を高める工夫により意欲の向上が期待できると考えられる。

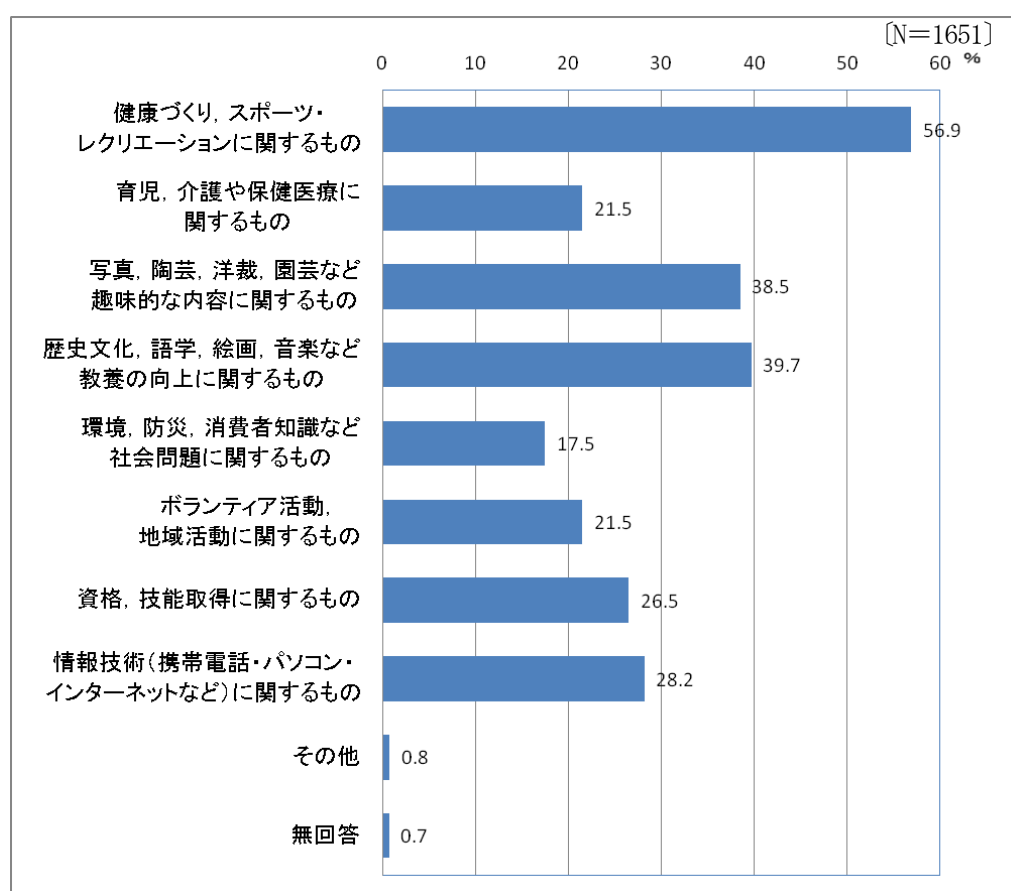
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人数)	したいと思う	きつかけがあればしてみたい	したいと思わない	わからない	無回答
全 体		2099	706	945	145	215	88
地 区	河北	649	240	271	42	66	30
	河南	284	98	124	20	27	15
	盛南	274	95	130	19	22	8
	厨川	462	156	208	36	43	19
	都南	339	101	167	19	40	12
	玉山	91	16	45	9	17	4
	無回答	0	0	0	0	0	0
性 別	男	877	286	383	81	89	38
	女	1181	408	545	63	121	44
	無回答	41	12	17	1	5	6
年 齢	20～29 歳	153	56	73	7	16	1
	30～39 歳	288	109	122	25	31	1
	40～49 歳	297	109	132	18	29	9
	50～59 歳	376	128	191	19	33	5
	60～69 歳	442	148	208	22	42	22
	70 歳以上	520	149	211	53	62	45
	無回答	23	7	8	1	2	5

問 21 問 20 で 1 か 2 を選んだ人にお聞きします，機会があれば学びたい分野にはどんなものがありますか。最も当てはまるものから 3 つまで ○ を付けてください。

- 1 健康づくり，スポーツ・レクリエーションに関するもの
- 2 育児，介護や保健医療に関するもの
- 3 写真，陶芸，洋裁，園芸など趣味的な内容に関するもの
- 4 歴史文化，語学，絵画，音楽など教養の向上に関するもの
- 5 環境，防災，消費者知識など社会問題に関するもの
- 6 ボランティア活動，地域活動に関するもの
- 7 資格，技能取得に関するもの
- 8 情報技術（携帯電話・パソコン・インターネットなど）に関するもの
- 9 その他（ ）

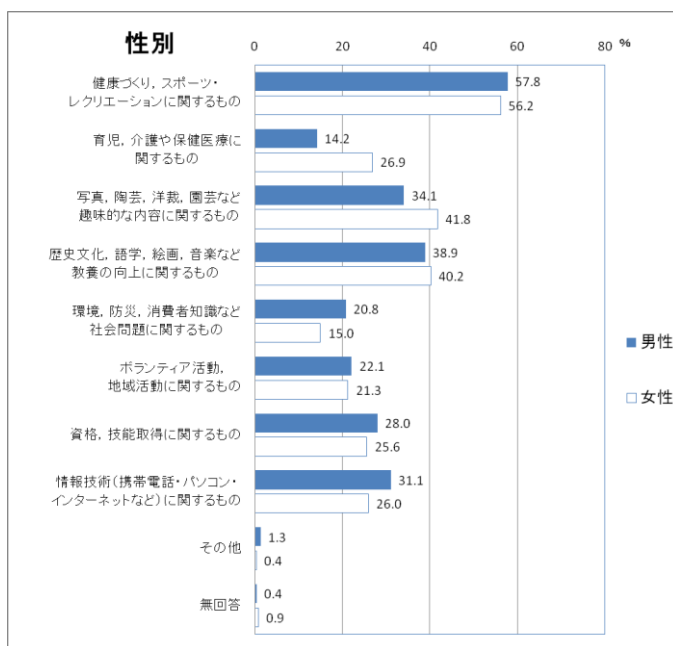
【集計結果】



「健康づくり，スポーツ・レクリエーションに関するもの」が 56.9%と最も高く，「歴史文化，語学，絵画，音楽などの教養の向上に関するもの」が 39.7%，「写真，陶芸，洋裁，園芸など趣味的な内容に関するもの」が 38.5%と続く。

その一方で「環境，防災，消費者知識など社会問題に関するもの」は 17.5%と最も低かった。

防災，消費者知識など，比較的関心が高いと考えられるものを例示したが，低い数値となり，全体として個人的な学習についての関心が高いことがうかがわれる。



【性別】

顕著な差異が認められるものとしては、「環境、防災、消費者知識など社会問題に関するもの」や「情報技術（携帯電話・パソコン・インターネットなど）に関するもの」は男性の関心が高く、「育児、介護や保健医療に関するもの」と「写真、陶芸、洋裁、園芸など趣味的な内容に関するもの」は女性の関心が高い。

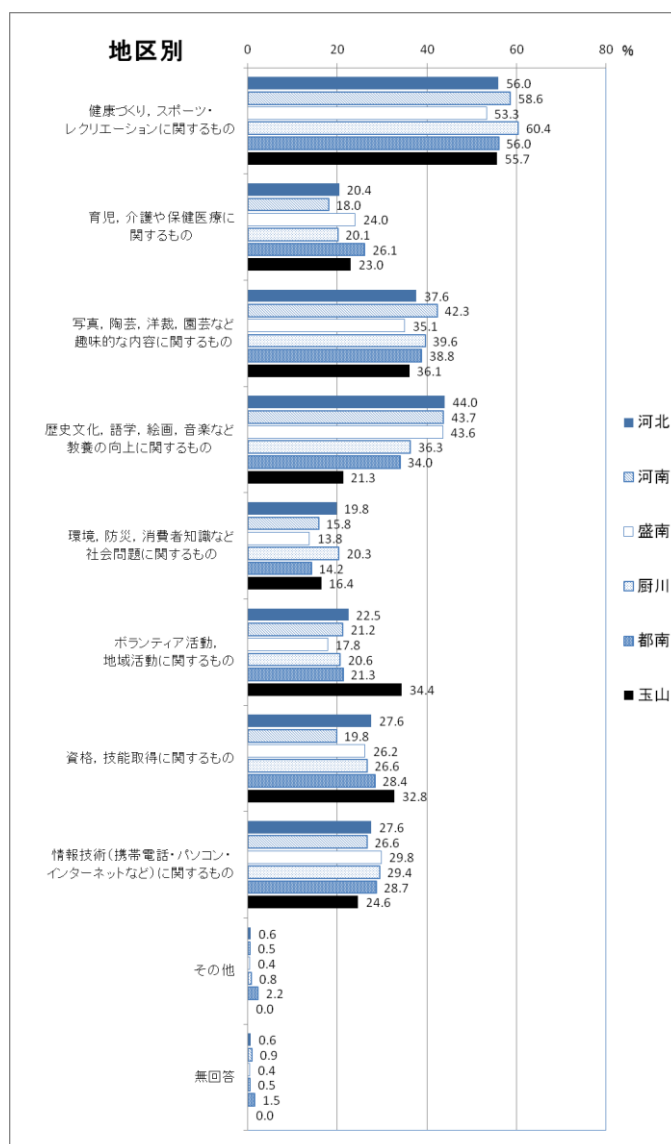
このことから男性は社会的な内容への関心が比較的高く、女性は身の回りや個人的学習についての関心が比較的高いと考えられる。

【地区別】

河南地区と玉山区で特徴的な傾向が見られた。

河南地区では「写真、陶芸、洋裁、園芸など趣味的な内容に関するもの」が42.3%と、他の地区に比べて高くなったが、「資格、技能取得に関するもの」については19.8%と他の地区を大きく下回った。

玉山区では「歴史文化、語学、絵画、音楽など教養の向上に関するもの」について他の地区を大きく下回ったが、「ボランティア活動、地域活動に関するもの」において他の地区を大きく上回った。玉山区では地域・社会に対する関心が高いことがうかがわれる。



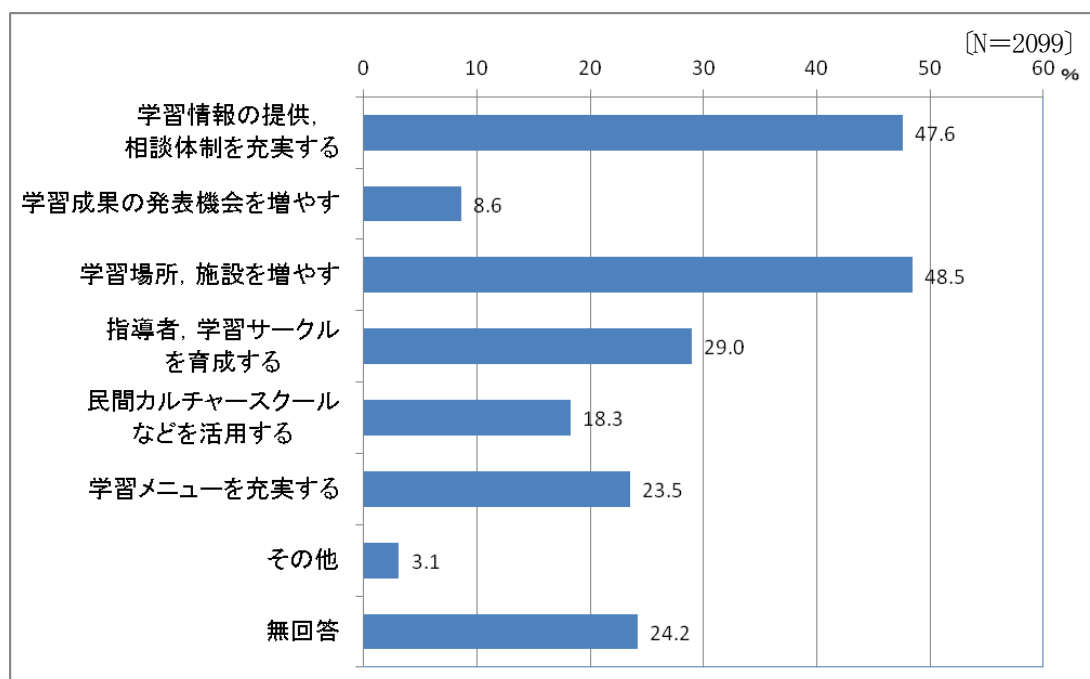
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人数)	健康づくり、スポーツ・レクリエーションに関するもの	育児、介護や保健医療に関するもの	写真、陶芸、洋裁、園芸など趣味的な内容に関するもの	歴史文化、語学、絵画、音楽など教養の向上に関するもの	環境、防災、消費者知識など社会問題に関するもの	ボランティア活動、地域活動に関するもの	資格、技能取得に関するもの	情報技術（携帯電話・パソコン・インターネットなど）に関するもの	その他	無回答
全 体		1651	940	355	635	656	289	355	437	466	14	12
地区	河北	511	286	104	192	225	101	115	141	141	3	3
	河南	222	130	40	94	97	35	47	44	59	1	2
	盛南	225	120	54	79	98	31	40	59	67	1	1
	厨川	364	220	73	144	132	74	75	97	107	3	2
	都南	268	150	70	104	91	38	57	76	77	6	4
	玉山	61	34	14	22	13	10	21	20	15	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性別	男	669	387	95	228	260	139	148	187	208	9	3
	女	953	536	256	398	383	143	203	244	248	4	9
	無回答	29	17	4	9	13	7	4	6	10	1	0
年齢	20～29 歳	129	49	44	43	51	13	22	73	20	0	0
	30～39 歳	231	107	64	83	89	30	35	120	62	4	2
	40～49 歳	241	125	56	95	95	39	38	101	65	3	2
	50～59 歳	319	191	49	128	124	59	75	76	107	2	3
	60～69 歳	356	220	61	158	134	69	98	37	108	4	1
	70 歳以上	360	240	78	123	154	76	84	25	99	0	4
	無回答	15	8	3	5	9	3	3	5	5	1	0

問 22 生涯学習を広めるためにどのような取組が必要だと思いますか。最も当てはまるものから3つまで○を付けてください。

- 1 学習情報の提供, 相談体制を充実する
- 2 学習成果の発表機会を増やす
- 3 学習場所, 施設を増やす
- 4 指導者, 学習サークルを育成する
- 5 民間カルチャースクールなどを活用する
- 6 学習メニューを充実する
- 7 その他 ()

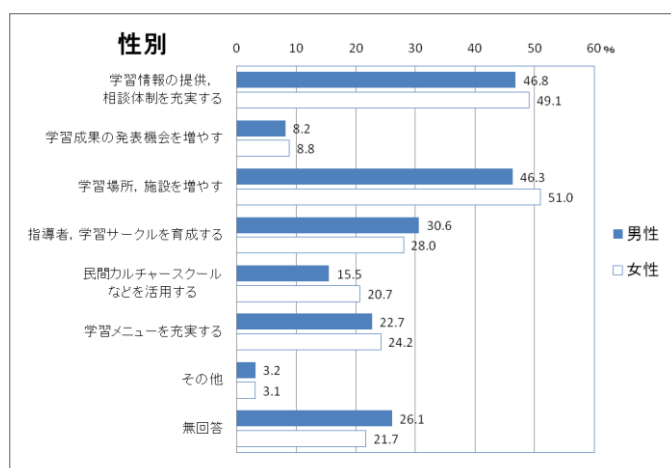
【集計結果】



「学習場所, 施設を増やす」が48.5%で最も高く, 「学習情報の提供, 相談体制の充実する」が47.6%, 「指導者, 学習サークルを育成する」が29.0%と続く。「学習成果の発表機会を増やす」は8.6%と最も低く, 関心はあまり高くはないと考えられる。

また, その他の記載において, 「仕事や子育てのため学習できない」という意見が散見された。現代のライフスタイルに応じた講座の開設時間の工夫など, 講座内容や対象者の分析による学習機会の提供方法をさらに検討していく必要がある。

上位項目については, 施設整備を除き, 従来から取り組んでいるものであるが, より充実を目指すために, 新たな方策を工夫し取り組む必要がある。



【性別】

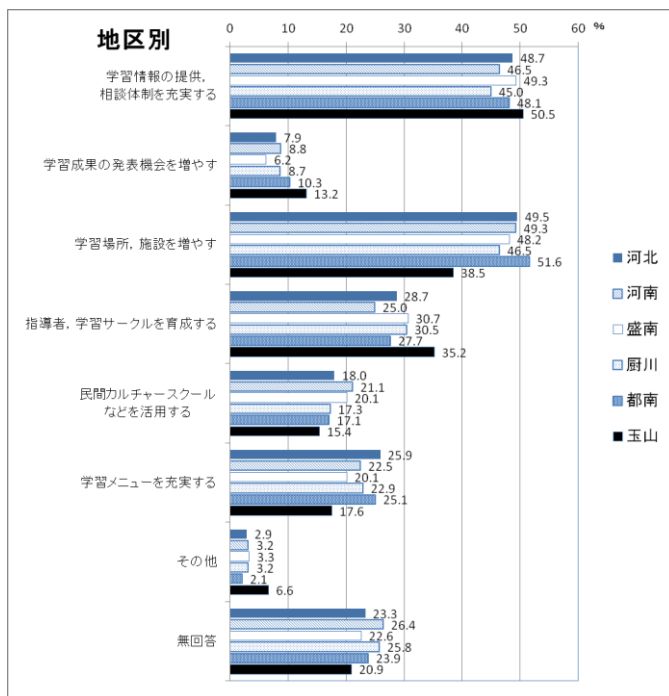
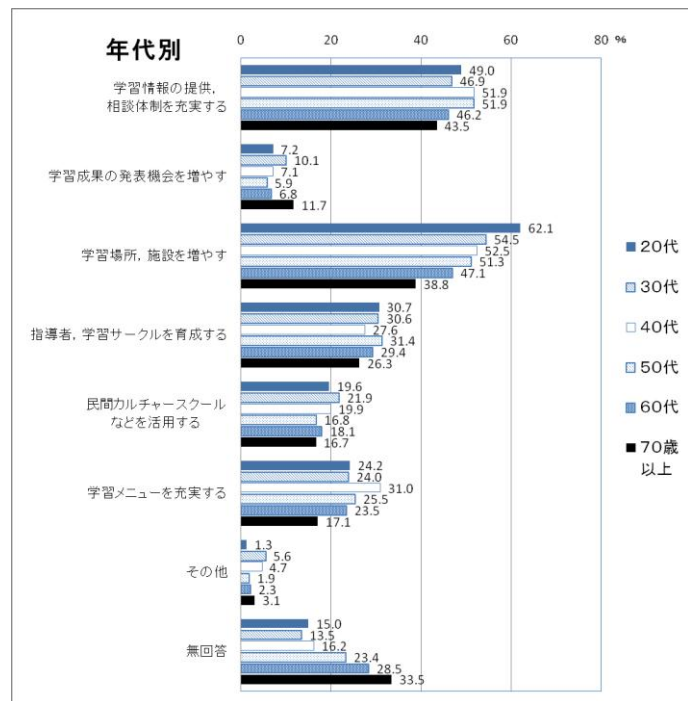
「学習場所, 施設を増やす」, 「民間カルチャースクールなどを活用する」と「学習メニューを充実する」について女性の割合が比較的高くなった。

このことから, 女性は活動の場所に対する関心や多様な学習メニューなどへの関心が比較的高いと考えられる。

民間カルチャースクールとの効果的な連携の方策を検討する余地がある。

【年代別】

「学習場所、施設を増やす」の20代が62.1%と突出しているが、この項目は年代が高くなるにつれて減少している。



【地区別】

特徴的な傾向が玉山区に見られる。

「学習場所、施設を増やす」「学習メニューを充実する」は他の地区に比べて低く、「指導者、学習サークルを育成する」「学習成果の発表機会を増やす」が比較的高い。

今後は、こうした地域ごとの傾向を把握し、ニーズに応じた取組を検討していく必要がある。

【上記以外の考察】

※「その他」に記載された主なもの

- ・小さな子供がいても学べる環境。
- ・助成金制度。
- ・夜間も学べる講座の増加など、働いている世代への機会の提供。
- ・広めるための取組はしなくてもいい。

【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人数)	学習情報の提供、 相談体制を充実する	学習成果の発表機会を増やす	学習場所、 施設を増やす	指導者、学習サークルを育成する	民間カルチャースクールなどを活用する	学習メニューを充実する	その他	無回答
全 体		2099	1000	180	1018	608	384	494	65	507
地区	河北	649	316	51	321	186	117	168	19	151
	河南	284	132	25	140	71	60	64	9	75
	盛南	274	135	17	132	84	55	55	9	62
	厨川	462	208	40	215	141	80	106	15	119
	都南	339	163	35	175	94	58	85	7	81
	玉山	91	46	12	35	32	14	16	6	19
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性別	男	877	410	72	406	268	136	199	28	229
	女	1181	580	104	602	331	245	286	37	256
	無回答	41	10	4	10	9	3	9	0	22
年齢	20～29 歳	153	75	11	95	47	30	37	2	23
	30～39 歳	288	135	29	157	88	63	69	16	39
	40～49 歳	297	154	21	156	82	59	92	14	48
	50～59 歳	376	195	22	193	118	63	96	7	88
	60～69 歳	442	204	30	208	130	80	104	10	126
	70 歳以上	520	226	61	202	137	87	89	16	174
	無回答	23	11	6	7	6	2	7	0	9

テーマ6 お墓について

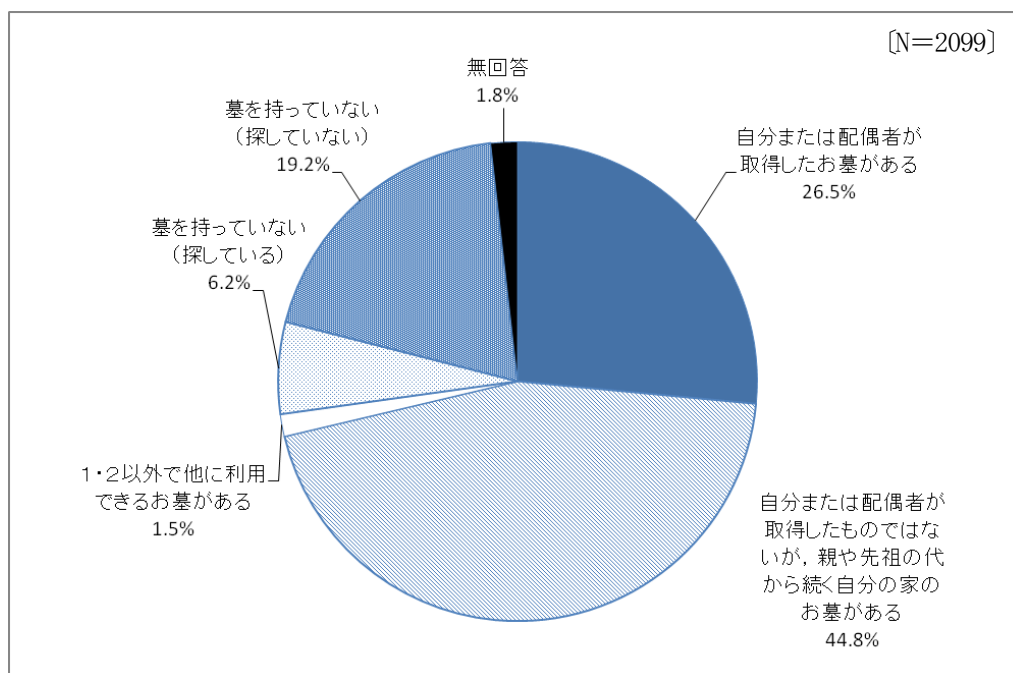
問 23 あなたは将来自分が入る予定のお墓をお持ちですか。当てはまるもの 1つ に○を付けてください。

- 1 自分または配偶者が取得したお墓がある
- 2 自分または配偶者が取得したものではないが、親や先祖の代から続く自分の家のお墓がある
- 3 1・2以外で他に利用できるお墓がある
- 4 墓を持っていない（探している）
- 5 墓を持っていない（探していない）

1から3を選んだ方は、問24へ進んでください

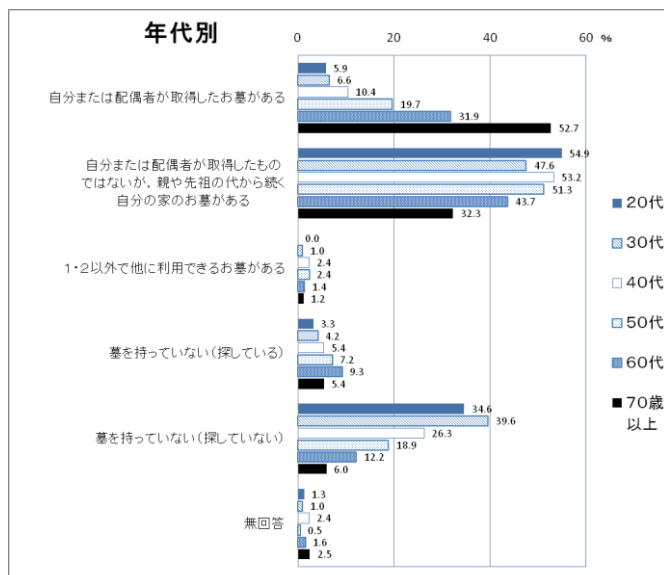
4か5を選んだ方は、問25へ進んでください

【集計結果】



「自分または配偶者が取得したものではないが、親や先祖の代から続く自分の家のお墓がある」が44.8%で最も高く、次に「自分または配偶者が取得したお墓がある」が26.5%であった。

その一方で「墓を持っていない」が合計で25.4%であることから、墓地の需給バランスを見極めながら、今後も市営墓地の拡張（整備）が必要になってくると考えられる。

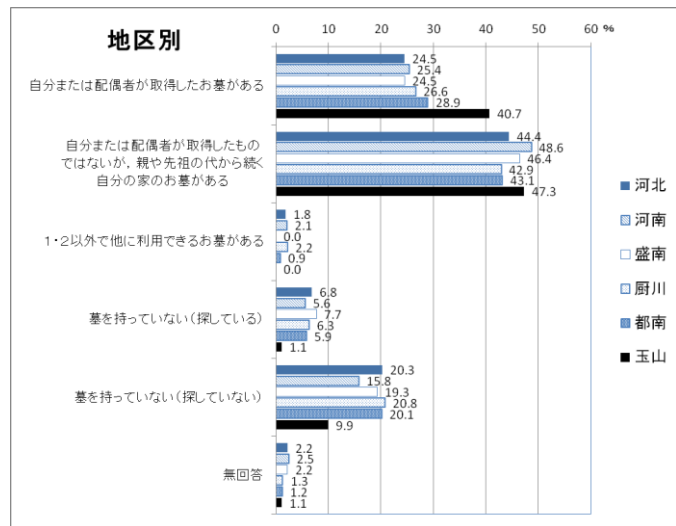


【年代別】

「自分または配偶者が取得したお墓がある」と「自分または配偶者が取得したものではないが、親や先祖の代から続く自分の家のお墓がある」の合計から、年代が高くなるにつれて墓地の所有率が高くなる傾向にあることがわかる。

【地区別】

玉山区では88.0%が墓地を持っており、他の地区に比べても突出していることがうかがわれる。



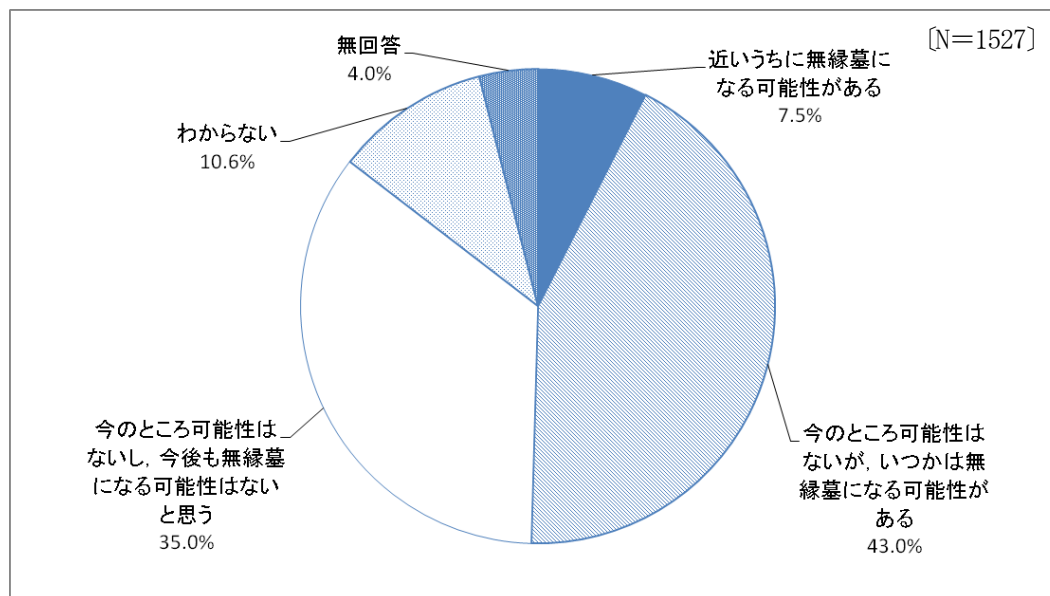
【地区別，性別，年齢別の回答数】

		実数(人)	自分または配偶者が取得したお墓がある	自分または配偶者が取得したものではないが、親や先祖の代から続く自分の家のお墓がある	1・2以外で他に利用できるお墓がある	墓を持っていない(探している)	墓を持っていない(探していない)	無回答
全 体		2099	556	940	31	131	403	38
地 区	河北	649	159	288	12	44	132	14
	河南	284	72	138	6	16	45	7
	盛南	274	67	127	0	21	53	6
	厨川	462	123	198	10	29	96	6
	都南	339	98	146	3	20	68	4
	玉山	91	37	43	0	1	9	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
性 別	男	877	236	397	14	51	165	14
	女	1181	307	527	15	77	237	18
	無回答	41	13	16	2	3	1	6
年 齢	20～29 歳	153	9	84	0	5	53	2
	30～39 歳	288	19	137	3	12	114	3
	40～49 歳	297	31	158	7	16	78	7
	50～59 歳	376	74	193	9	27	71	2
	60～69 歳	442	141	193	6	41	54	7
	70 歳以上	520	274	168	6	28	31	13
	無回答	23	8	7	0	2	2	4

問 24 問 23 で 1 から 3 を選んだ方にお聞きします。将来あなたが入る予定のお墓は無縁墓（継ぐ人がいないお墓）になると思いますか。当てはまるもの 1 つ に○を付けてください。

- 1 近いうちに無縁墓になる可能性がある
- 2 今のところ可能性はないが、いつかは無縁墓になる可能性がある
- 3 今のところ可能性はないし、今後も無縁墓になる可能性はないと思う
- 4 わからない

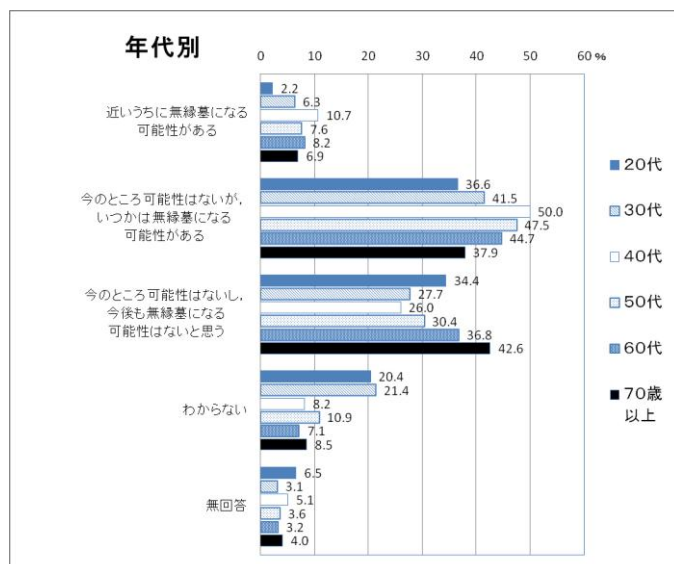
【集計結果】



「今のところ可能性はないが、いつかは無縁墓になる可能性がある」が 43.0% で最も高く、「近いうちに無縁墓になる可能性がある」の 7.5% と合わせると、50.5% が無縁墓化すると考えている。

「今のところ可能性はないし、今後も無縁墓になる可能性はないと思う」は 35.0% になっており、晩婚化、少子化、非婚化などの社会背景もあり、子孫が墓地を承継していくことは難しいと考えている人が多いためと考えられる。

無縁墓にならないための予防策や無縁墓になった場合の対策を講じていく必要があると考えられる。



【年代別】

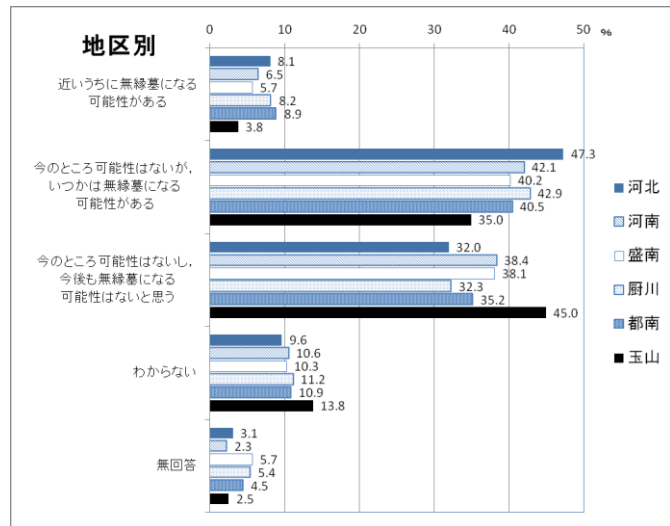
40代は、設問 23 で「親や先祖代々のお墓がある」が高い一方で、「近いうちに無縁墓になる可能性がある」「今のところ可能性はないが、いつかは無縁墓になる可能性がある」が最も高くなっている。

未婚者が増加し、自分が入れるお墓はあるものの、子孫がいないため将来的に自分の墓が無縁墓化することへの不安を抱えていることがうかがわれる。

【地区別】

玉山区は墓地の所有率と同様に、「今のところ可能性はないし、今後也无縁墓になる可能性はないと思う」も高い。

玉山区以外では「可能性がある」(※1 参照)と考えている割合が高い。



※1 「可能性がある」とは「近いうちに無縁墓になる可能性がある」と「今のところ可能性はないが、いつかは無縁墓になる可能性がある」の合計。

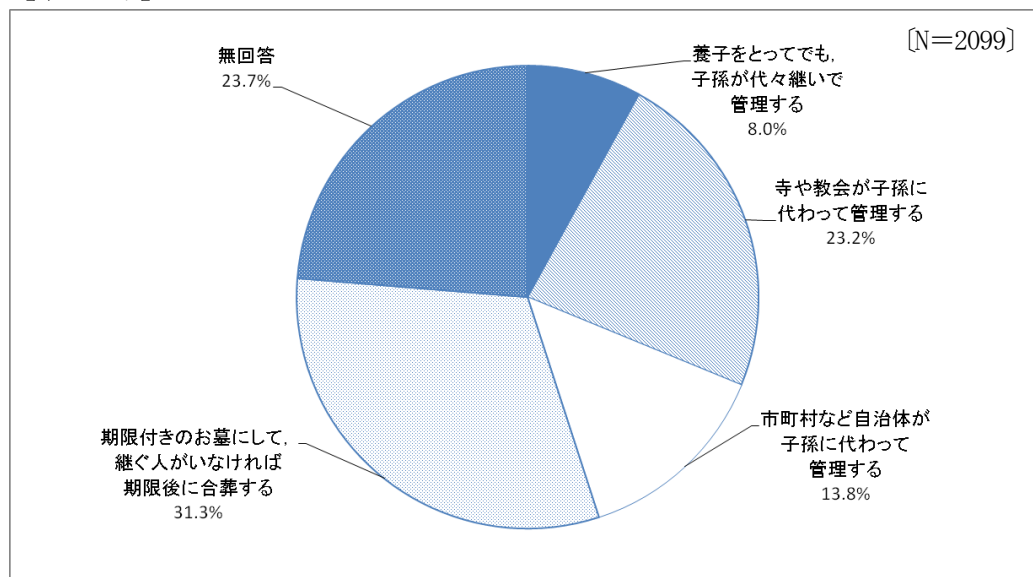
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数(人)	近いうちに無縁墓になる可能性がある	今のところ可能性はないが、いつかは無縁墓になる可能性がある	今のところ可能性はないし、今後也无縁墓になる可能性はないと思う	わからない	無回答
全 体		1527	114	656	534	162	61
地区	河北	459	37	217	147	44	14
	河南	216	14	91	83	23	5
	盛南	194	11	78	74	20	11
	厨川	331	27	142	107	37	18
	都南	247	22	100	87	27	11
	玉山	80	3	28	36	11	2
	無回答	0	0	0	0	0	0
性別	男	647	48	277	237	60	25
	女	849	65	370	283	99	32
	無回答	31	1	9	14	3	4
年齢	20～29 歳	93	2	34	32	19	6
	30～39 歳	159	10	66	44	34	5
	40～49 歳	196	21	98	51	16	10
	50～59 歳	276	21	131	84	30	10
	60～69 歳	340	28	152	125	24	11
	70 歳以上	448	31	170	191	38	18
	無回答	15	1	5	7	1	1

問 25 無縁墓にならないためにどのようにしていくことが最も望ましいと思いますか。
 当てはまるもの 1つに○を付けてください。

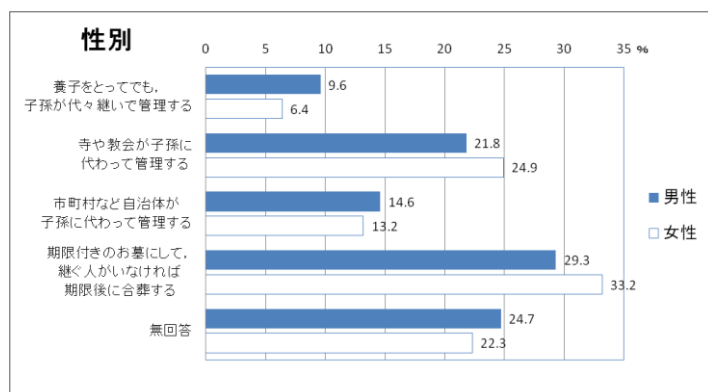
- 1 養子をとってでも、子孫が代々継いで管理する
- 2 寺や教会が子孫に代わって管理する
- 3 市町村など自治体が子孫に代わって管理する
- 4 期限付きのお墓にして、継ぐ人がいなければ期限後に合葬する

【集計結果】



「期限付きのお墓にして、継ぐ人がなければ期限後に合葬する」が 31.3%で最も高い。

現在、盛岡市内でも寺院墓地などにおいては、期限付きのお墓などが整備されつつあるが、無縁墓化の予防策として、市営墓園においてもお墓を継ぐ人がいない人のニーズに応えられる墓地形態を整えていく必要があると考えられる。



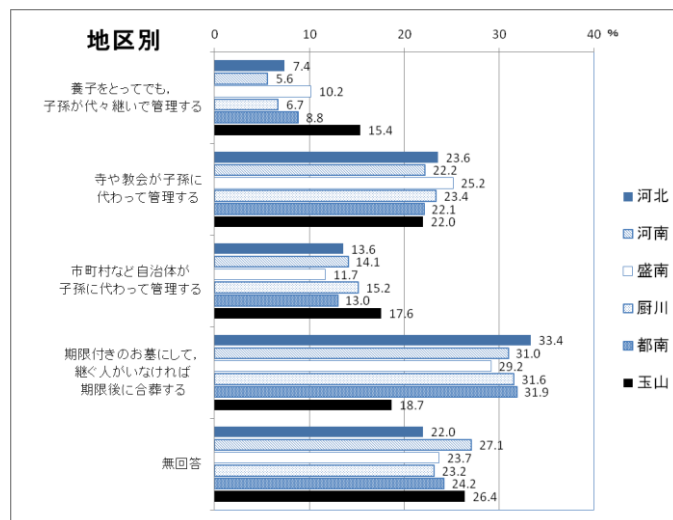
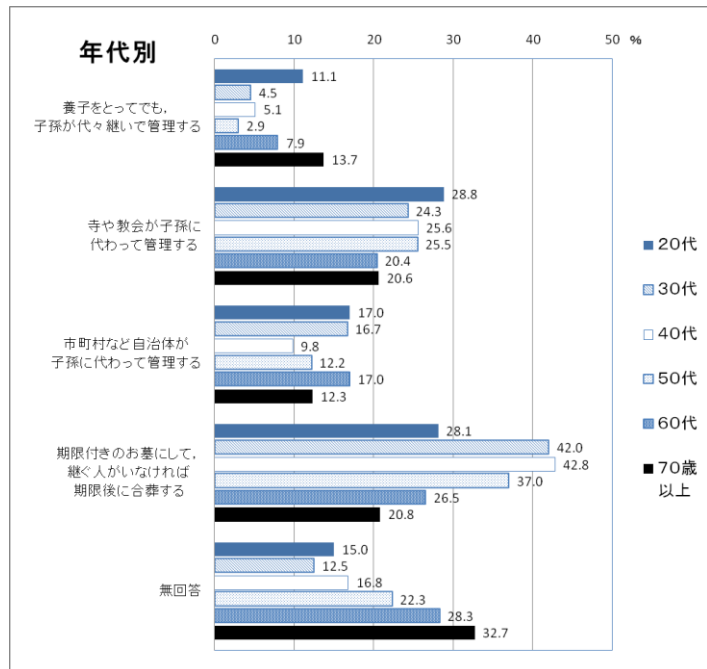
【性別】

女性は男性と比較すると「期限付きのお墓にして、継ぐ人がいなければ期限後に合葬する」とした割合が高く、男性よりも合葬することへの抵抗感が少ないことがうかがわれる。

【年代別】

60代と70歳以上では、「期限付きのお墓にして、継ぐ人がいなければ期限後に合葬する」が低い。

20代では、「寺や教会が子孫に代わって管理する」が高く、「期限付きのお墓にして、継ぐ人がいなければ期限後に合葬する」が低い。



【地区別】

玉山区では、他の地区と比較すると、「養子をとってでも、子孫が代々継いで管理する」が高く、「期限付きのお墓にして、継ぐ人がいなければ期限後に合葬する」が低い。

設問 23 の地区別の結果から、墓地の所有率が高い玉山区では特にその傾向が顕著である。

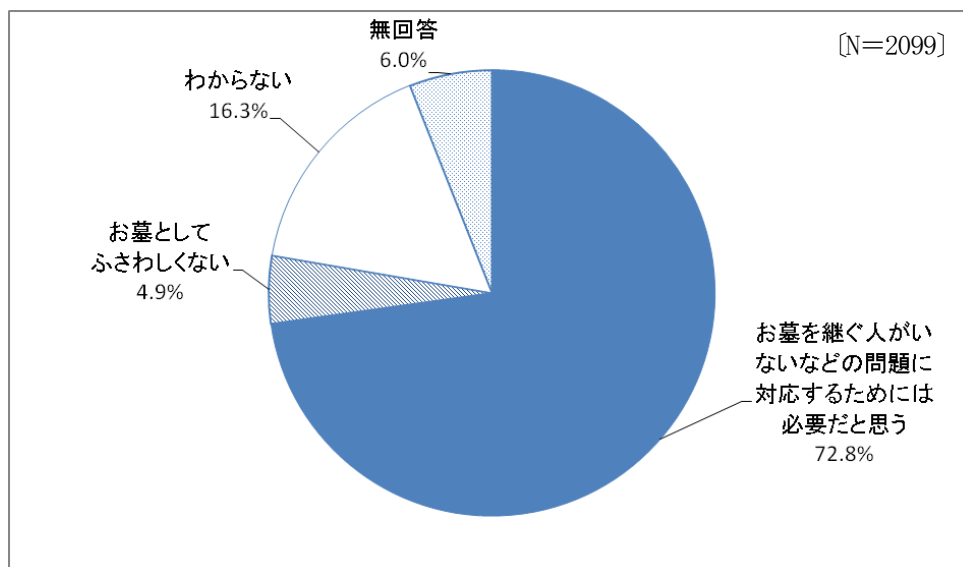
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人)	養子をとつても、 子孫が代々継いで管理する	寺や教会が子孫に代わつて管理する	市町村など自治体 が子孫に代わつて管理する	期限付きのお墓にして、 継ぐ人がいなければ 期限後に合葬する	無回答
全 体		2099	167	488	290	656	498
地 区	河北	649	48	153	88	217	143
	河南	284	16	63	40	88	77
	盛南	274	28	69	32	80	65
	厨川	462	31	108	70	146	107
	都南	339	30	75	44	108	82
	玉山	91	14	20	16	17	24
	無回答	0	0	0	0	0	0
性 別	男	877	84	191	128	257	217
	女	1181	76	294	156	392	263
	無回答	41	7	3	6	7	18
年 齢	20～29 歳	153	17	44	26	43	23
	30～39 歳	288	13	70	48	121	36
	40～49 歳	297	15	76	29	127	50
	50～59 歳	376	11	96	46	139	84
	60～69 歳	442	35	90	75	117	125
	70 歳以上	520	71	107	64	108	170
	無回答	23	5	5	2	1	10

問 26 お墓を継いでくれる人がいない人のために、一つの墓を共同で利用する合葬式の共同墓や納骨堂などの施設もありますが、あなたはそのような施設についてどのように考えますか。当てはまるもの 1つに○ を付けてください。

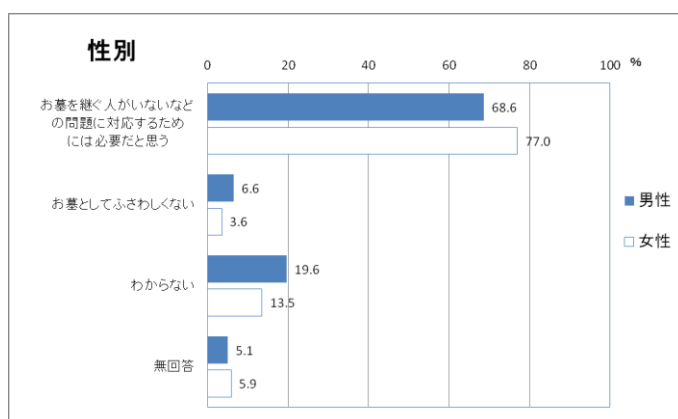
- 1 お墓を継ぐ人がいないなどの問題に対応するためには必要だと思う
- 2 お墓としてふさわしくない
- 3 わからない

【集計結果】



「お墓を継ぐ人がいないなどの問題に対応するためには必要だと思う」は 72.8%であり、「お墓としてふさわしくない」は 4.9%にとどまっている。

このことから、合葬式の共同墓や納骨堂などの必要性が認識されており、今後、無縁墓化を防ぐ手段として、共同墓や納骨堂などの整備は有効と考えられる。



【性別】

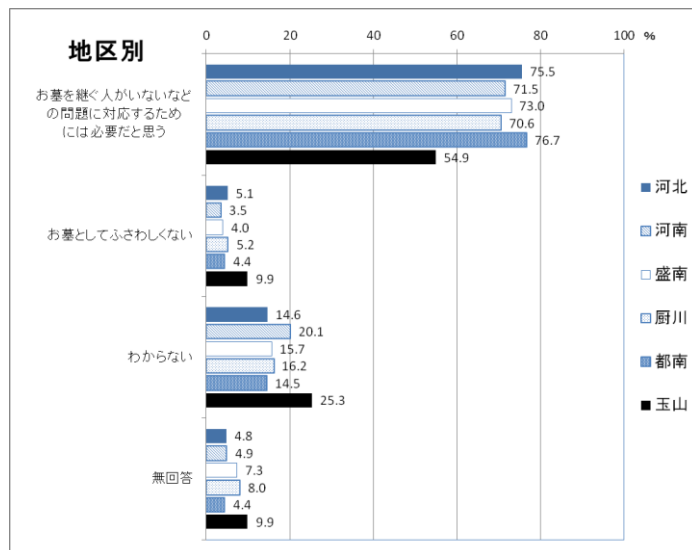
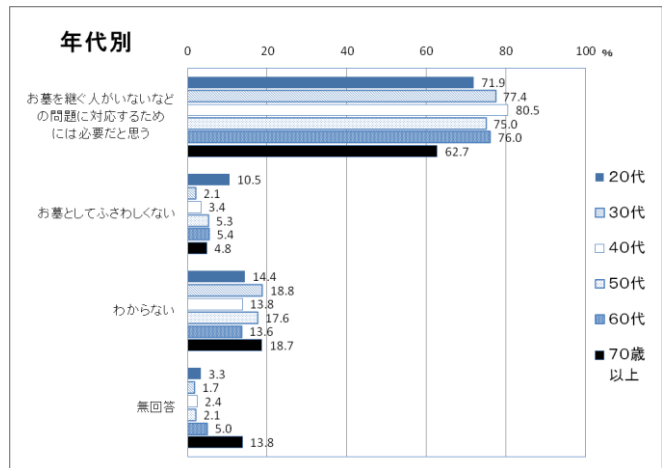
「お墓を継ぐ人がいないなどの問題に対応するためには必要だと思う」は女性の方が男性よりも高く、女性の方が従来の墓地形態にとらわれない考えを持っていることがわかる。

【年代別】

70 歳以上では「お墓を継ぐ人がいないなどの問題に対応するためには必要だと思う」が他の年代よりも低い。

40 代は、設問 24 で「今のところ可能性はないが、いつかは無縁墓になる可能性がある」が高かったが、本設問では「必要だと思う」が 80.5% で最も高い。

「お墓としてふさわしくない」は 20 代が最も高い。



【地区別】

玉山区では「お墓としてふさわしくない」が他の地区より高い。

設問 23, 設問 24 の結果から、玉山区は墓地の所有率が高く、自分の墓が無縁墓化する可能性は少ないと感じている割合が高いなど、子孫などが墓地を代々受け継いでいくという従来の墓地形態を維持できている地区であることがうかがわれる。

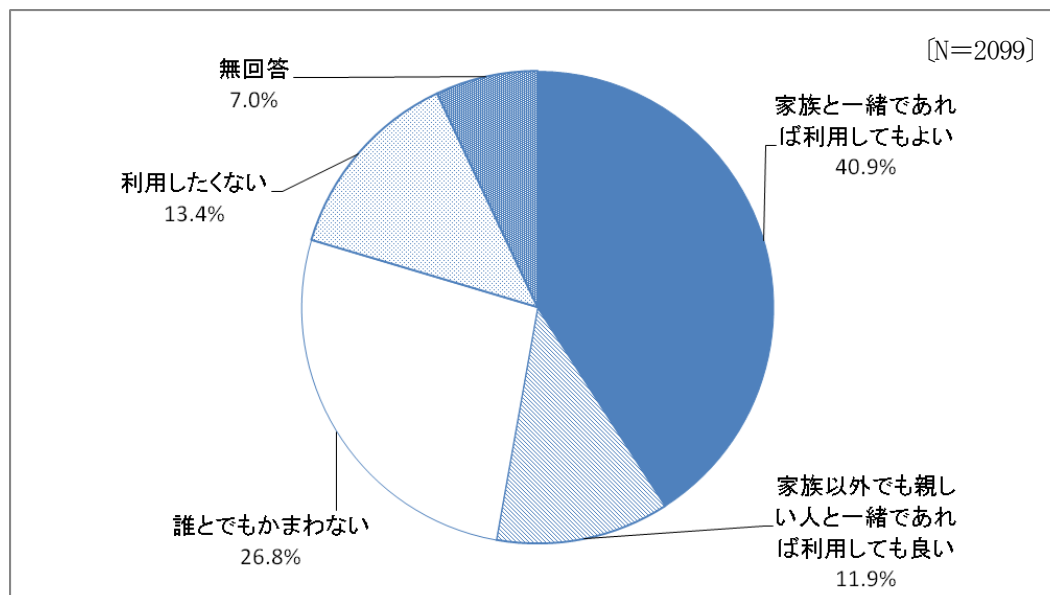
【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人)	お墓を継ぐ人がいないなどの問題に 対応するためには必要だと思ふ	お墓としてふさわしくない	わからない	無回答
全 体		2099	1529	102	342	126
地 区	河北	649	490	33	95	31
	河南	284	203	10	57	14
	盛南	274	200	11	43	20
	厨川	462	326	24	75	37
	都南	339	260	15	49	15
	玉山	91	50	9	23	9
	無回答	0	0	0	0	0
性 別	男	877	602	58	172	45
	女	1181	909	42	160	70
	無回答	41	18	2	10	11
年 齢	20～29 歳	153	110	16	22	5
	30～39 歳	288	223	6	54	5
	40～49 歳	297	239	10	41	7
	50～59 歳	376	282	20	66	8
	60～69 歳	442	336	24	60	22
	70 歳以上	520	326	25	97	72
	無回答	23	13	1	2	7

問 27 合葬式の共同墓や納骨堂などを利用するとすれば、誰と一緒にあれば利用しても良いと思いますか。当てはまるもの 1つに○ を付けてください。

- 1 家族と一緒にあれば利用してもよい
- 2 家族以外でも親しい人と一緒にあれば利用してもよい
- 3 誰とでもかまわない
- 4 利用したくない

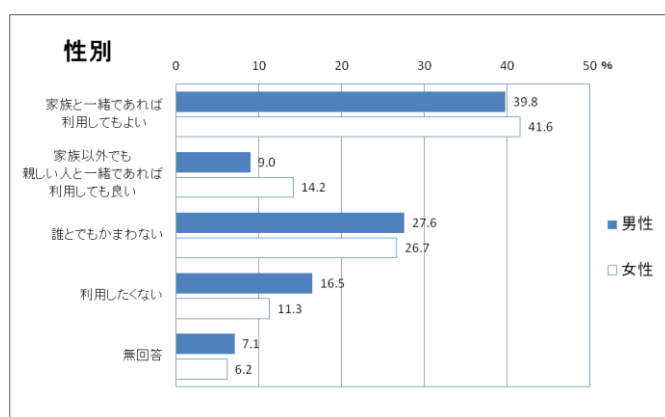
【集計結果】



「利用したくない」は13.4%であり、「利用してもよい」（※1参照）は79.6%であった。

その中で、「家族と一緒にあれば利用してもよい」が40.9%で最も高いが、「家族以外でもよい」（※2参照）が38.7%である。

墓地に対する多様な意識があることから、合葬式の共同墓や納骨堂などの施設を新たに整備する際は、多様な意識に合わせた検討が必要と考えられる。

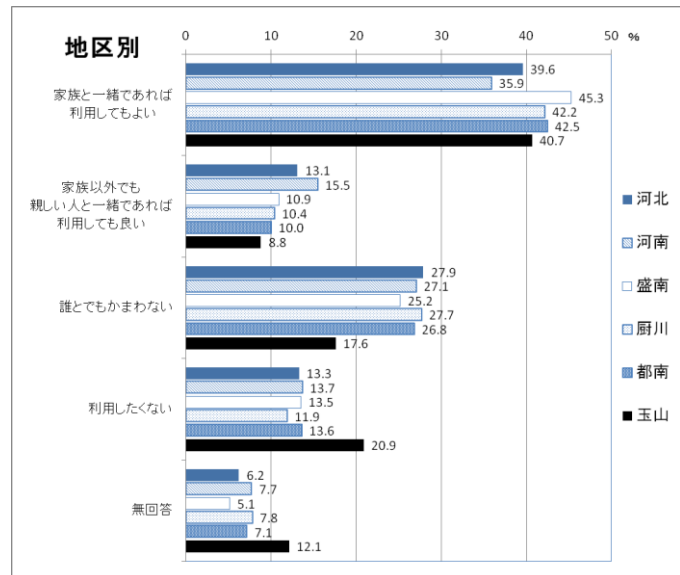


【性別】

「利用したくない」は男性より女性の方が低く、男性よりも墓地に対する多様な意識があることがうかがわれる。

【地区別】

「利用したくない」は玉山区が最も高く、本設問においても子孫が墓地を代々受け継いでいくという従来の墓地形態の意識の高さがうかがわれる。



※1 「利用してもよい」とは「家族と一緒にあれば利用してもよい」、「家族以外でも親しい人と一緒にあれば利用してもよい」と「誰とでもかまわない」の合計。

※2 「家族以外でもよい」とは「家族以外でも親しい人と一緒にあれば利用してもよい」と「誰とでもかまわない」の合計。

【地区別、性別、年齢別の回答数】

		実数 (人)	よい 家族と一緒にあれば利用しても	家族以外でも親しい人と一緒にあれば利用してもよい	誰とでもかまわない	利用したくない	無回答
全 体		2099	859	249	562	282	147
地 区	河北	649	257	85	181	86	40
	河南	284	102	44	77	39	22
	盛南	274	124	30	69	37	14
	厨川	462	195	48	128	55	36
	都南	339	144	34	91	46	24
	玉山	91	37	8	16	19	11
	無回答	0	0	0	0	0	0
性 別	男	877	349	79	242	145	62
	女	1181	491	168	315	134	73
	無回答	41	19	2	5	3	12
年 齢	20～29 歳	153	57	30	34	26	6
	30～39 歳	288	120	48	80	33	7
	40～49 歳	297	108	36	100	39	14
	50～59 歳	376	138	47	120	56	15
	60～69 歳	442	202	49	105	60	26
	70 歳以上	520	228	38	115	65	74
	無回答	23	6	1	8	3	5

第 20 回市民意識調査報告書
平成 26 年 3 月発行

発行・編集 盛岡市市長公室広聴広報課
〒020-8530 盛岡市内丸 12 番 2 号
電話 (019) 626-7517 (直通)

この報告書は再生紙を使用しています。